



Welcome to

SAITAMA

》 伸びゆく埼玉県

埼玉県は首都圏の中央に位置し、東北・関越・圏央道をはじめとした6つの高速道路や、東北・上越など6つの新幹線により東日本の主要都市と結ばれるなど、全国屈指の交通の要衝です。また、荒川や利根川などの豊かな河川、秩父の美しい山並み、見沼たんぼや武蔵野の雑木林をはじめとする自然にも恵まれています。

都市の賑わいと、ゆとりある自然の魅力を併せ持つ埼玉県は、医学の研鑽の場としても、生活の場としても、とても魅力あふれる県です。

》 高度医療を提供する、魅力ある医療機関

埼玉県内には、現在342の病院があります。(令和2年4月1日現在)

このガイドブックで紹介する臨床研修病院をはじめ、各地域ごとに、救命救急センター、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院など高度医療を提供する中核的な医療機関が整備されています。

》 「埼玉県総合医局機構」が医師をバックアップ

埼玉県では、埼玉県医師会、県内医療機関、大学などとともに「埼玉県総合医局機構」を創設し、医師の確保・派遣と、キャリアステージに応じた医師支援に取り組んでいます。

また、さいたま新都心にある「埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター」では、高機能のシミュレータ機器などを備えた高度な教育・研修環境を医療従事者の皆さまに提供するとともに、各種教育研修会を開催しています。

》 埼玉県の臨床研修は人気上昇中

県内の臨床研修医の増加数は、平成15年度の臨床研修制度開始からの数では全国1位、増加率においても全国2位など、埼玉県の臨床研修は人気上昇中です。多くの先輩が選んでいる埼玉県で、医師としての第一歩を踏み出してみませんか。

表紙写真

中央：さいたまスーパーアリーナ（さいたま市）

右：時の鐘（川越市）

下：羊山公園の芝桜（秩父市）

INDEX 埼玉県臨床研修病院ガイドブック2021

	埼玉県総合医局機構～KOBATON.med～	1
	基幹型臨床研修病院 (保健医療圏別)		
	【南部保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ① 川口市立医療センター 5 ② 済生会川口総合病院 7 ③ 埼玉協同病院 9 ④ 戸田中央総合病院 11 	
	【南西部保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ TMGあさか医療センター 13 ⑥ 国立病院機構 埼玉病院 15 ⑦ 新座志木中央総合病院 17 	
	【東部保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 春日部市立医療センター 19 ⑨ 秀和総合病院 21 ⑩ 春日部中央総合病院 23 ⑪ 越谷市立病院 25 ⑫ 獨協医科大学埼玉医療センター 27 ⑬ 草加市立病院 29 ⑭ みさと健和病院 31 ⑮ 三郷中央総合病院 33 	
	【さいたま保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ⑯ 埼玉メディカルセンター 35 ⑰ さいたま市立病院 37 ⑱ さいたま赤十字病院 39 ⑲ 自治医科大学附属さいたま医療センター 41 ⑳ 彩の国東大宮メディカルセンター 43 ㉑ さいたま市民医療センター 45 	
	【県央保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ㉒ 上尾中央総合病院 47 ㉓ 北里大学メディカルセンター 49 	
	【川越比企保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ㉔ 小川赤十字病院 51 ㉕ 関越病院 53 ㉖ 埼玉医科大学病院 55 ㉗ 埼玉医科大学総合医療センター 57 	
	【西部保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ㉘ 国立病院機構 西埼玉中央病院 59 ㉙ 埼玉石心会病院 61 ㉚ 埼玉医科大学国際医療センター 63 	
	【利根保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ㉛ 行田総合病院 65 ㉜ 羽生総合病院 67 ㉝ 済生会栗橋病院 69 ㉞ 新久喜総合病院 71 	
	【北部保健医療圏】	<ul style="list-style-type: none"> ㉟ 熊谷総合病院 73 ㊱ 深谷赤十字病院 75 	
	防衛省訓令に基づく 臨床研修病院	【西部保健医療圏】	● 防衛医科大学校病院

※このガイドブックは、主として医学生の方に埼玉県内の臨床研修病院(防衛医科大学校病院を除く。)を紹介するため、各病院から提供のあった情報に基づき作成したものです。

※このガイドブックの「病院の概要」にある指導医とは、厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を修了した者です。
※各病院ページの「卒後臨床研修評価機構認定病院」については、令和3年1月1日時点の認定状況を掲載しています。

病院名	〒	所在地
1 川口市立医療センター	333-0833	川口市西新井宿180
2 済生会川口総合病院	332-8558	川口市西川口5-11-5
3 埼玉協同病院	333-0831	川口市木曾呂1317
4 戸田中央総合病院	335-0023	戸田市本町1-19-3
5 TMG あさか医療センター	351-0023	朝霞市溝沼1340-1
6 国立病院機構 埼玉病院	351-0102	和光市諏訪2-1
7 新座志木中央総合病院	352-0001	新座市東北1-7-2
8 春日部市立医療センター	344-8588	春日部市中央6-7-1
9 秀和総合病院	344-0035	春日部市谷原新田1200
10 春日部中央総合病院	344-0063	春日部市緑町5-9-4
11 越谷市立病院	343-8577	越谷市東越谷10-47-1
12 獨協医科大学埼玉医療センター	343-8555	越谷市南越谷2-1-50
13 草加市立病院	340-8560	草加市草加2-21-1
14 みさと健和病院	341-8555	三郷市鷹野4-494-1
15 三郷中央総合病院	341-8526	三郷市中央4-5-1
16 埼玉メディカルセンター	330-0074	さいたま市浦和区北浦和4-9-3
17 さいたま市立病院	336-8522	さいたま市緑区三室2460
18 さいたま赤十字病院	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5
19 自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503	さいたま市大宮区天沼町1-847
20 彩の国東大宮メディカルセンター	331-8577	さいたま市北区土呂町1522
21 さいたま市民医療センター	331-0054	さいたま市西区島根299-1
22 上尾中央総合病院	362-8588	上尾市柏座1-10-10
23 北里大学メディカルセンター	364-8501	北本市荒井6-100
24 小川赤十字病院	355-0397	比企郡小川町大字小川1525
25 関越病院	350-2213	鶴ヶ島市脚折145-1
26 埼玉医科大学病院	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38
27 埼玉医科大学総合医療センター	350-8550	川越市鴨田1981
28 国立病院機構 西埼玉中央病院	359-1151	所沢市若狭2-1671
29 埼玉石心会病院	350-1305	狭山市入間川2-37-20
30 埼玉医科大学国際医療センター	350-1298	日高市山根1397-1
31 行田総合病院	361-0056	行田市持田376
32 羽生総合病院	348-8505	羽生市下岩瀬446
33 済生会栗橋病院	349-1105	久喜市小右衛門714-6
34 新久喜総合病院	346-8530	久喜市上早見418-1
35 熊谷総合病院	360-8567	熊谷市中西4-5-1
36 深谷赤十字病院	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1
防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木3-2



MAP

埼玉県内の臨床研修病院 MAP



埼玉県総合医局機構

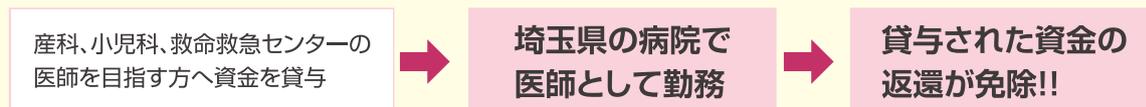
平成25年12月に創設された埼玉県総合医局機構は、「医師の確保・派遣」と「医師の支援」を二本柱として、県医師会や県内の医療機関等と一体となって総合的な取組を行うことにより県内全域の医療水準の向上を目指しています。



「医師の確保・派遣」のための取組

□ 「臨床・後期研修医研修資金」貸与事業

～産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援！～



	臨床研修医研修資金	後期研修医研修資金
対象者	埼玉県内の臨床研修病院の臨床研修医	埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る後期研修を受講している後期研修医
貸与金額	月額10万円以内	月額20万円以内
貸与期間	2年以内	3年以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の1.5倍勤務すること	

□ 「交流会」「病院見学会」事業

～埼玉県内での病院勤務に関心のある医学生はどなたでも参加できます！～

医学生と県内医療関係者が交流する機会を提供するため、「埼玉県総合医局機構交流会」を開催しています。交流会には、県内での勤務に関心のある医学生や県内医療機関で勤務する研修医などが参加し、県の医療現場の現状や県内で勤務する魅力などについて意見交換をしています。

また、医学生の皆さんに県内病院の魅力をより深く実感していただくための病院見学会を実施しています。



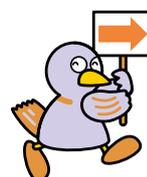
「医師の支援」のための取組

□ 「女性医師の支援」事業 ～埼玉県の女性医師を応援！～

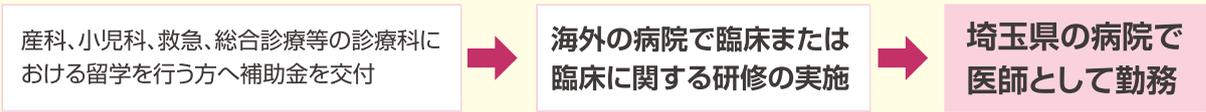
埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。また、短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

埼玉県女性医師支援センター

- ◎相談窓口 (受付時間 平日9:00～17:00)
埼玉県さいたま市浦和区仲町3-5-1 県民健康センター内
- ◎電話相談窓口 (受付時間 平日9:00～17:00)
TEL:048-815-7115 FAX:048-815-7175
- ◎電子メール info@saitama-joi.jp



□ 「トップランナー医師育成留学支援」事業 ～海外留学を行う医師の皆さんを支援！～



トップランナー医師育成留学支援事業補助金	
対象者	以下の全ての条件を満たす医師 ①臨床研修病院または専門研修基幹施設に勤務する者 ②専門医資格取得者 ③県内の地域医療に貢献する意欲のある者 ④留学後、埼玉県内の医療機関で勤務できる者
補助金額	最大1年・300万円
補助内容	小児科、産科、救急、総合診療等の診療科における臨床又は臨床に関する研修のための留学(以下の2コースから選択)に対し、渡航費及び研修・滞在費を補助 ①留学先自由選択コース…自身で海外医療機関と調整の上留学先を決定して応募 ②留学先斡旋コース…県が指定するオーストラリアの病院(Princess Alexandra Hospital, Queensland Children's Hospital)への留学を希望する者が応募

□ 地域医療教育センター ～県内の医師のスキルアップをサポートします！～

さいたま新都心にある「地域医療教育センター」は、医療手技トレーニング用の機器を各種取り揃えたシミュレーションセンターです。

埼玉県が事務局を担っており、県内医師のスキルアップを目的として、各種研修会を開催しています。

研修会は、特定の病院や大学に偏らずに、県内勤務の臨床研修医ならどなたでも参加できます。

埼玉県には、やる気さえあれば、臨床研修病院の外でもスキルアップを図ることができる環境があります。

センターが開催する臨床研修医向け研修会

医療手技ハンズオンセミナー

超音波検査、CV穿刺、内視鏡など様々な手技のハンズオンセミナーを定期的に開催しています。



日本救急医学会 ICLS 日本内科学会 JMCC

各学会認定ディレクターによるコースを定期的に開催しています。

また、受講者だけでなく、指導者側(アシスタント)も募集しますので、インストラクター資格を目指す方にもオススメです。



産科・小児科・救急科の魅力を学ぶ研修

特に医師が不足している産科・小児科・救急科について、各分野の第一線で活躍している医師を講師に招き、各科の魅力を伝えていただきます。

また、シミュレータを利用して各科の患者対応の模擬体験を行います。



その他のセンター主催研修

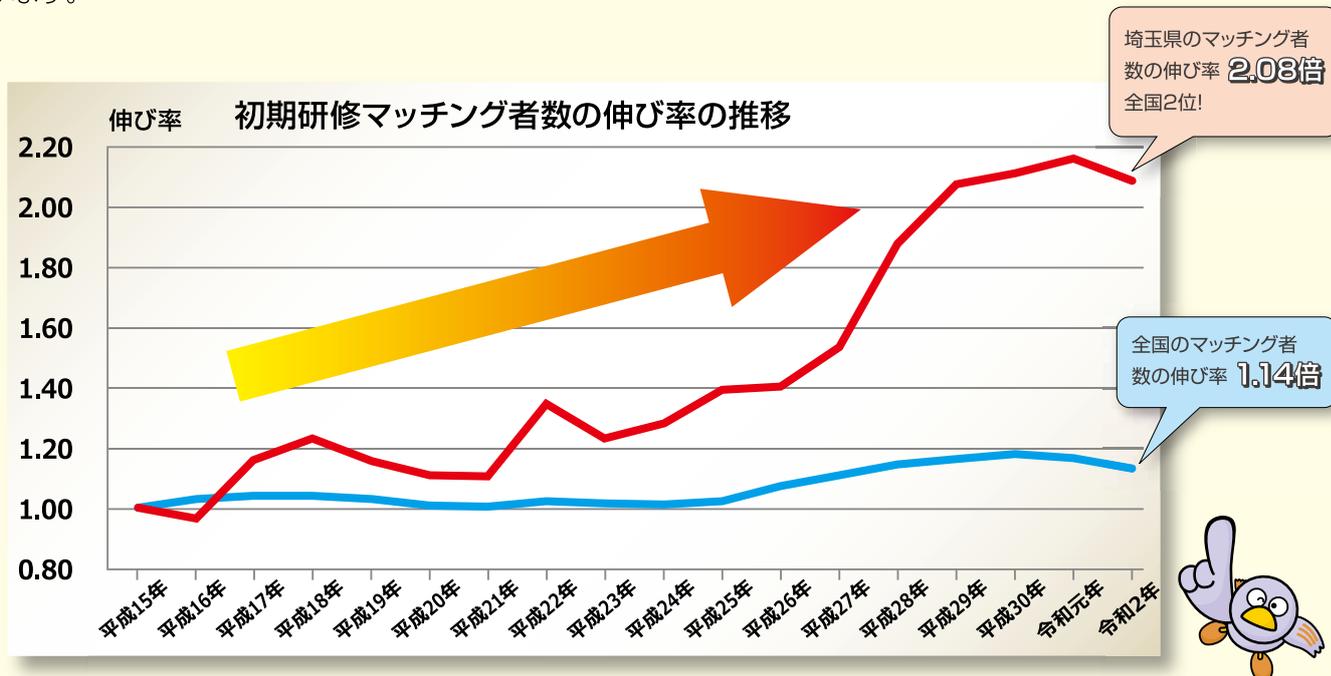
- ・1次救命処置研修(BLS)
- ・小児2次救命処置研修(PALS)
- ・小児救命処置研修(PEARS)
- ・母体救命研修(J-CIMELS)
- ・医療安全研修(チームSTEPPS)
- ・在宅医療研修
- ・急変患者対応研修



埼玉県での臨床研修

平成15年度の臨床研修制度開始から令和2年度までのマッチング者数の増加数は、全国の都道府県の中で1位となっており、多くの研修医の皆さんが埼玉県内で活躍しています。

また、埼玉県では、臨床研修病院の研修プログラムの質の向上・改善を図り、質の良い研修医の育成に資することを目的として、全ての臨床研修病院がNPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認定病院となることを目指しています。



過去5年間のマッチング者数の推移

年度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
マッチング者数	312人	342人	348人	357人	344人

研修医の皆さんを支援します！

埼玉県総合医局機構では、埼玉県で臨床研修を受ける医師の皆さんを支援する取組を行っています。県内の臨床研修病院に所属する研修医の皆さんを対象とした交流会や、各分野の第一線で活躍する医師による教育研修会の開催をはじめ、専門医へのキャリアアップの支援などの取組を通じ、研修医の皆さんをバックアップします。



詳しくはこちら → <http://kobaton-med.jp/>

【お問い合わせ先】

埼玉県総合医局機構(埼玉県医療人材課内)

TEL:048-601-4600 E-mail:a3560-03@pref.saitama.lg.jp



令和3年度開始専門研修プログラム 県内基幹施設の指定状況

新たな専門医制度における各診療科の基幹施設の指定状況は表のとおりとなっています。

二次医療圏	基幹施設名	臨床研修病院	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科
南部	済生会川口総合病院	●	○	○				○													
	埼玉協同病院	●	○											○							○
	川口市立医療センター	●	○	○											○			○			
	戸田中央総合病院	●	○												○	○					
	戸田病院						○														
南西部	TMGあさか医療センター	●													○						
	国立病院機構埼玉病院	●	○	○			○		○						○			○		○	○
	イムス富士見総合病院			○																	
東部	春日部市立医療センター	●	○																		
	獨協医科大学埼玉医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○
	みさと健和病院	●	○																		○
	草加市立病院	●	○												○						
	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院						○														
	南埼玉病院						○														
さいたま	自治医科大学附属さいたま医療センター	●	○	○	○		○		○	○	○			○	○	○		○			○
	さいたま市立病院	●	○	○			○								○						
	彩の国東大宮メディカルセンター	●	○																		○
	さいたま赤十字病院	●	○				○		○	○					○			○			○
	浦和神経サナトリウム						○														
	大宮厚生病院						○														
	さいたま北部医療センター																				○
	さいたま市民医療センター	●		○																	○
	埼玉県立小児医療センター			○																	
	埼玉メディカルセンター	●	○					○												○	
県央	上尾中央総合病院	●	○				○	○			○				○						○
	北里大学メディカルセンター	●	○					○			○				○						
	埼玉県立精神医療センター						○														
	済生会鴻巣病院						○														
川越比企	埼玉医科大学総合医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○		○	○		
	関越病院	●																			○
	埼玉医科大学病院	●	○	○	○	○		○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
西部	埼玉石心会病院	●	○																		○
	埼玉医科大学国際医療センター	●	○				○						○	○	○	○		○			
利根	久喜すずのき病院						○														
	国立病院機構 東埼玉病院		○																		
	羽生総合病院	●																			○
	済生会栗橋病院	●																			○
	新久喜総合病院	●	○				○														
北部	熊谷生協病院																				○
	深谷赤十字病院	●	○															○			○
秩父	秩父市立病院																				○

1 川口市立医療センター



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）102名（うち指導医数 59名）
- 研修医数 1年目 12名 2年目 12名
- 研修医の主な出身大学 日本大学・東京慈恵会医科大学・昭和大学・高知大学・東京医科大学・弘前大学・筑波大学・杏林大学・福島県立医科大学・山形大学・東京女子医科大学
- 診療科 内科 消化器内科 血液内科 神経内科 呼吸器内科 腎臓内科 糖尿病内分泌内科 循環器科 小児科 精神科 外科 消化器外科 乳腺外科 呼吸器外科 小児外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 心臓外科、産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 麻酔科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 1105.2名 ● 1日平均入院患者数 468.1名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院（基幹災害医療センター）、病院機能評価認定病院、エイズ診療協力医療機関、災害派遣医療チーム埼玉

研修プログラムの特色

- 各科・各部門にわたる医師として必要とされる基本的な姿勢・態度及び救急処置の初期治療等プライマリ・ケアを中心とした、医療知識・技能を習得するための内容で構成されています。
- 2020年のプログラム見直し以前より外科・産婦人科・小児科を必修としており、緊急時に必要な基本手技の充実を図っています。
- 地域医療は同じ埼玉秩父の国保町立小鹿野中央病院にて医療・保健・福祉が一体となった地域包括ケアの実践を学ぶことができます。
- 精神科研修は同じ埼玉南部の北辰病院または戸田病院での研修となります。



プログラム例 川口市立医療センター卒後臨床研修プログラム（総合コース）（募集人員12名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科						救急		外科		小児科		
2年目▶	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目									

内科28週・救急部門12週・地域医療4週・外科8週・産婦人科4週・小児科4週・精神科4週（北辰病院、戸田病院）・選択科目40週（一般外来は内科28週のうち4週を総合内科として研修）

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次約37.2万円、2年次約38.7万円
- 諸手当▶ 通勤手当、時間外手当、期末手当
- 保険▶ 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険適用、医師賠償責任保険（病院において加入なし）
- 勤務時間▶ 8時30分～17時15分
- 当直▶ あり（4回/月）
- 休暇▶ 2日/週、有給休暇、夏季休暇
- 宿舎▶ あり（使用者負担2万円/月）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 【協力型臨床研修病院】
 - ・医療法人秀峰会北辰病院
 - ・医療法人高仁会戸田病院
- 【研修協力施設】
 - ・医療法人刀水会齋藤記念病院
 - ・医療法人時任会ときとうクリニック
 - ・国保町立小鹿野中央病院
 - ・安行診療所



当院の魅力

プライマリ・ケアから高度専門医療まで！

当センターは昭和22年に開設され、平成6年5月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市民病院から川口市立医療センターに変更されました。同時に救命救急、周産期および画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフが丸くなって高度医療の充実に寄与しています。診療科数29科539床を有し、平成30年4月から地域医療支援病院となるなど、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。



研修責任者から



プログラム責任者・院長

國本 聡

初期研修を受ける施設として「豊富な症例、安心して働き学べる環境、厳しい指導医」が条件でしょう。当院は1日の外来患者数約1100名、入院患者数は約500名であり、全くの初診の一次患者から、救命救急センターでの治療を必要とする三次の患者まで幅広い症例を扱っています。また、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院災害拠点病院（基幹災害医療センター）も擁していることから、症例の豊富さは折り紙つきです。指導医は数が豊富なだけでなく極めて教育熱心であり、研修医のバックアップにも上級医が必ずついています。自主的かつ積極的に貪欲に学びたい若き国手にとっては、単なる臨床的な知識や技術の獲得のみならず、人間形成にも役立つ素晴らしい2年間が過ごせると確信しています。

先輩研修医から



研修医2年目

黒田 敬史

私は元々学生時代の実習でお世話になり、お会いした先生が生き生きと研修しているのを見て、自分も研修先として選びました。手技を率先して行うこともでき、また、臨床に必要な知識を先生方が熱心に教えてくださるため非常に恵まれた環境です。一般的な疾患から3次救急まで幅広く見ることができるため実臨床での応用力も身につけることができます。初級研修の病院を選ぶ際には、見学を通して雰囲気を見ることが重要だと思います。是非見学に来てみてください。

私は学生時代から産婦人科に興味があったため、産婦人科やNICUをはじめとした科が揃っている病院として川口市立医療センターを研修先として選びました。研修が始まってからは病棟や3次救急の初期対応などを通して多くの手技や知識を身につけていくことができ、医師として成長できると感じました。出身大学や医局にとらわれず多くの先生方や先輩方に熱心に指導していただき、非常に勉強になると感じます。是非一度見学を通して病院の雰囲気を見てみてください。



研修医1年目

高橋 沙椰



女性医師支援コーナー

- ・院内保育所の設置（時間外保育も対応）
- ・妊娠中、育児中の当直勤務免除あり
- ・育児短時間勤務も可能



連絡先 川口市立医療センター

病院総務課職員係

〒333-0833 川口市西新井宿180

TEL 048-287-2525 (代表) FAX 048-280-1566

E-mail 170.01005@city.kawaguchi.saitama.jp

URL <http://kawaguchi-mm.org/>

アクセス 埼玉高速鉄道線 新井宿駅から徒歩7分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学を随時受付しています。
ホームページ応募フォームよりお申し込みください。
【必要項目】・氏名・大学名・連絡先・見学希望日・見学希望診療科（1～2科）・レジナビフェアでのブース説明を受けたことの有無・当院での病院見学経験の有無



病院の概要



● 医師数（研修医を除く）117名（うち指導医数 49名）

● 研修医数 1年目 12名 2年目 11名

● 研修医の主な出身大学 愛知医科大学・秋田大学・旭川医科大学・岩手医科大学・金沢大学・北里大学・岐阜大学・杏林大学・群馬大学・高知大学・埼玉医科大学・佐賀大学・産業医科大学・滋賀医科大学・島根大学・順天堂大学・昭和大学・信州大学・聖マリアンナ医科大学・千葉大学・筑波大学・帝京大学・東海大学・東京医科大学・東京医科歯科大学・東京慈恵会医科大学・東京女子医科大学・東邦大学・東北大学・獨協医科大学・鳥取大学・名古屋市立大学・新潟大学・日本大学・日本医科大学・浜松医科大学・福井大学・福島県立医科大学・北海道大学・三重大学・宮崎大学・山形大学・山梨大学・琉球大学（五十音順）

● 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 腎臓内科 糖尿病・内分泌内科 神経内科 腫瘍内科 放射線科 外科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 血管外科 呼吸器外科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 麻酔科 小児科 精神科 リハビリテーション科 病理診断科 臨床検査科 心臓外科
※上記は標榜科であり研修科とは異なります。

● 1日平均外来患者数 1244.4名 ● 1日平均入院患者数 360.4名

● 主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院、ISO9001:2015認定 等



研修プログラムの特色

当院は424床の総合病院で、救急車受入台数は約4,500台となっています。当直においては内科系・外科系・循環器内科・ICU・小児科・産婦人科の6科体制となっています。救急外来でのファーストタッチは研修医が行うので、様々な症例（特に脳神経領域）を経験する事が可能です。また、地域医療研修に関しては救急車同乗研修や岩手県にある済生会岩泉病院での研修もできます。選択科は36週設定されており、年度内での選択科変更も可能となっています。1学年12名という過不足ない人数且つ、指導医数50余名の中で時間に追われる事なく豊富な症例経験が可能です。



プログラム 例 済生会川口総合病院臨床研修プログラム（募集定員12名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科(24週)						外科(8週)		麻酔科(8週)		産婦人科(4週) 救急(4週)	
2年目▶	小児科(8週)		救急(4週)		地域医療(4週)		精神科(4週)		選択科(36週)、一般外来(4週)			

・必修科目64週：内科24週（消化器内科・循環器内科各8週のほか、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科から8週選択）、救急8週（救急外来での8週の研修の他に、日当直業務および各診療科ローテーション時の救急当番での研修を加えて、合計12週の研修とします。）、地域医療4週、外科8週、小児科8週、産婦人科4週、精神科4週、一般外来4週
・病院必修：麻酔科8週
・選択科目36週：上記「病院の概要」の診療科目のほか、保健・医療行政から選択。ただし、精神科を選択した場合は、協力病院である順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院若しくは埼玉県済生会鴻巣病院での研修となります。



研修医の処遇

給与▶ 1年目：36万/月、2年目：40万/月（※医師手当含）
諸手当▶（準）夜勤手当、住宅手当、通勤手当等
保険▶ 組合健保（埼玉県医師会健康保険組合）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり
勤務時間▶ 労働基準法に準ずる
当直▶ あり（4回程度/月）
休暇▶ 2日/週、有給休暇（1年次：14日、2年次：15日）
宿舎▶ あり
その他▶ 賞与 1年目：10万円/年、2年目：20万円/年
健康診断2回/年、ワクチン接種等

主な臨床研修 協力病院・協力施設

・川口市消防局
・地域診療所
・訪問看護ステーションきゅうばら
・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
・埼玉県済生会鴻巣病院
・岩手県済生会岩泉病院
・川口市保健所
・済生会特別養護老人ホーム彩光苑



当院の魅力

～基本的診療能力と医師としてのプロ意識を培う～

済生会川口総合病院は埼玉県南部にあり、東京からは荒川をはさんだ川口市に位置しており社会福祉法人恩賜財団済生会に所属する病院です。社会福祉法人恩賜財団済生会は、明治44年明治天皇により恵まれない人々に手をさしのべて救うようにとの「済生勅語（さいせいちよくご）」に基づき、生活困窮者支援の精神のもと創立されました。現在全国82病院をはじめ、診療所、福祉施設など約390の施設により構成されている日本最大の社会福祉法人で、日本の保健・医療・福祉において重要な役割を担っています。当院は現在424床の病床と専門学会から指導施設としての認定を受けている26の標榜診療科を有する総合病院で、職員数は常勤医師、看護師、派遣 業務委託をあわせて約1400名を抱える病院です。手術室は7室、ICU14床、NICU6床、GCU6床に加え放射線部門ではPET・CT・MRI・DSA・RIなどの最新の医療機器を導入し、救急車搬送数は年に5000台、手術は年に4800件をおこない、臨床研修病院・救急指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター・地域医療支援病院などの認定を受ける、まさに人口60万の川口市、隣接する戸田・蕨を含めて80万人の地域の医療を担う急性期型の中核病院です。



<LINE公式アカウントを開設しました>

当院の診療情報やイベント開催等を定期的に発信しておりますので、友だち登録の上ご利用下さい。

研修責任者から



プログラム責任者、
救急・総合内科主任部長

笠井 英裕

当院は、荒川をはさんで東京都と接する埼玉県川口市に位置する病院です。そして、地域中核型の急性期病院としての使命を果たしています。医療の質向上への終わりなき挑戦を日々続け、次世代に継承しうる病院創りを確実に進めています。本館の改築とICU14床の開設により、救急と周産期部門が充実しました。また、東館のオープンにより、健診、透析、リハビリ部門が拡充されました。常勤医117名中49名が厚生労働省の指針による講習会を受講した指導医で、十分な指導体制が確保され医療人育成強化を推進しています。当院での患者中心の医療を経験することにより、優れた技術、メディカルスタッフとのチーム医療、患者との信頼関係、プロ意識等を体験し、臨床研修の2年間で、プライマリ・ケアを中心とした医師として最低必要な態度、知識、技術を体得できるよう研鑽を積んでください。研修医個人々の立てた目標に向けた取り組みを継続的に支援し、できる限りの協力をおしませぬ。

先輩研修医から

- ・研修医は都内、地方出身者と色々
- ・小児科はNICU有
(小児・産婦志望ならお薦め)
- ・自身が望めば色々とやらせてもらえる
- ・手技が取り合いにならない
- ・指導医が充実
- ・先輩研修医が優しい
- ・食堂が安くてヘルシー（雑穀米）



初期臨床研修医
第16期研修医

私は関東の市中病院で研修病院を探していました。当院の、①経験できる症例数や手技が豊富である事②上級医の先生からのご指導が手厚い事③雰囲気がよく活気がある事に惹かれたため研修先として選びました。どの科の先生方もとても優しく、研修医に対して熱心に指導してください。また、自分が希望すれば多くの手技も経験させてもらえます。内科を中心に自分でローテート科を調整できる点もよかったです。そして日々助け合える同期が12人いるので、とても心強いです。



修了研修医



女性医師支援コーナー

- ・産前産後休暇 ・育児休業
- ・母性の保護のための業務従事制限（妊娠中または出産後1年を経過しない女子職員が深夜に労働しない事等を希望する時は、時間外・休日・当直帯での勤務等について制限する事が可能です）

連絡先 済生会川口総合病院

臨床研修室

〒332-8558 川口市西川口5-11-5

TEL 048-253-1551 (代表) FAX 048-256-5703

E-mail kensyu@saiseikai.gr.jp

URL http://www.saiseikai.gr.jp

アクセス JR京浜東北線西川口駅から徒歩10分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付
(申し込みは当院HPより)



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）73名（うち指導医数 47名）
- 研修医数 1年目 8名 2年目 8名
- 研修医の主な出身大学 福島県立医科大学・東京女子医科大学・秋田大学・山形大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・岐阜大学・杏林大学・群馬大学・筑波大学・セグド大学・新潟大学・獨協医科大学・大阪医科大学・埼玉医科大学
- 診療科 内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 緩和ケア内科 神経内科 小児科 外科 呼吸器外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 産婦人科 泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 精神科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 病理診断科 リウマチ科 臨床検査科 腎臓内科 血液内科 糖尿病内科 救急科 泌尿器科（人工透析） 緩和ケア外科
- 1日平均外来患者数 970名 ● 1日平均入院患者数 291名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本消化器病学会認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本プライマリケア学会認定医研修施設 等



研修プログラムの特色

当院の研修の特徴は2年間でその後の医師人生の土台となる一般診療能力を身につけられることです。内科を中心として救急、小児科、麻酔科、外科、産婦人科、精神科、地域医療、選択科をローテーション研修します。ローテート内容は自由度があり、3年目の専攻を見据えて選択科やローテート順などの希望に柔軟に対応します。研修を開始した最初の16週間は内科病棟で一貫した指導を受け入院してから退院するまでの基本的な診療を主体的に行うことで覚えます。2年間の研修でどの科を回っていても看護師、医療相談員、薬剤師、セラピストなどのメディカルスタッフとともにカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添ったチーム医療を行う姿勢を身につけます。一般診療能力に必要な初期診療対応はどの科をローテート中でも救急当直に入ること学ぶことができます。地域医療研修は同法人の中小規模病院または診療所で行いますので、一貫した研修として地域包括ケアを学び実践できます。



プログラム 例 埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科		内科			救急(麻酔科4週含む)			外科		産婦人科	
2年目▶	内科		地域医療		小児科		精神科		選択			

- ・必修 内科(32週)、救急(救急12週:麻酔科での4週間の研修を加えて合計12週の研修とします)、地域医療(8週)、外科(8週)、小児科(8週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週・並行研修)
- ・選択(20週) 内科、救急科、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科、麻酔科



研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次：約35万円/月（賞与約89万円/年）、
2年次：約39万円/月（賞与約135万円/年） ※賞与は2019年実績
- 諸 手 当▶ 住宅手当、家族手当、当直・日直手当、年末年始勤務手当
- 保 険▶ 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、
厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険 病院において加入
- 勤務時間▶ 平日8時30分～17時00分 土曜日8時30分～13時00分
- 当 直▶ あり（3～4回/月）
- 休 暇▶ 4週6休、夏期休暇、年末年始休暇、特別休暇（結婚、忌引きなど）、
有給休暇（1年次10日、2年次12日）
- 宿 舎▶ なし（住宅手当：家賃の半額、上限5万円）
- そ の 他▶ 常勤採用 学会・研修会参加補助 院内保育所（病児保育）あり
健康診断2回/年 ワクチン接種

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- 臨床研修協力病院
 - ・みさと協立病院
 - ・北辰病院
- 研修協力施設
 - ・熊谷生協病院
 - ・秩父生協病院
 - ・浦和民主診療所
 - ・大井協同診療所
 - ・埼玉西協同病院
 - ・さいわい診療所
 - ・川口診療所



当院の魅力

Kyoudo PRIDE

当院は1978年の開院以来、地域医療を支える医師を育成してきました。内科病棟で受け持つ症例はバラエティに富んでおり、特に高齢の方は複数の慢性疾患を抱えながら急性期疾患で入院するケースが多いので急性期疾患にだけ着目するのではなく総合的に診療することが必要になります。当院は総合医局になっているので診療の相談をどの科の医師にも相談しやすく、指導体制としても屋根瓦方式をとっており、3～6年目の医師が研修医の相談にも乗ってくれます。手技は始め指導医の下で行い、指導医が認めれば自主的に行えるので十分な経験を積むことができます。医療知識や技術を磨くために病気を診るだけではなく、その病気を抱えた患者さんの生活背景（経済状況・住居・家族関係等）や労働環境（労働による疾病への影響）からも理解し診療を行うことで医師として患者さんに寄り添う姿勢を学んでいきます。

当院の研修を通して知識・技術・姿勢といった医師としての重要な土台を築くことで、その後どのような場所で働くことになっても埼玉協同病院で研修を行ったというKyoudo PRIDEをもって働き続けることのできる医師を養成します。



研修責任者から



研修管理委員長（病院長）

増田 剛

医師人生にとって初めての2年間をどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創っていただきます。当院は1978年の開院以来、一貫して地域住民の医療ニーズに応える医療を行いながら、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。

先輩研修医から



研修医2年目

富山 桃子

研修医全員が内科から研修をスタートし、専門科の垣根を超えて、総合力を持った上級医の下で、その患者さんの生活背景を含めて病気を診ることで、総合的な内科力を身に付けられることが魅力の一つです。研修医はとても仲が良く、レジデントカンファレンスでは自分が得た知識の共有をしたり、研修の感想や改善点を話し合い、日々の研修がより良いものとなるよう皆で高め合っています。ぜひ一緒に、人口あたり日本一医師の少ない埼玉の医療を盛り上げていきましょう！



研修医1年目

渡辺 稔

最初の総合内科病棟では右も左も分からない状態から担当患者さんを持ちます。しかし、指導医の先生を始め、多職種の方が優しく熱心にフォローして下さるため、できることが少しずつ増えて行き、医師人生の大切なスタートを切るにはとても安心です。また、しっかり事前準備をすれば手技や病状説明なども任せてもらえます。研修ローテーションも最初にどの科をいつ回るか希望を言えたり、選択科を途中変更できるのも有難いです。研修医を育てようとする雰囲気病院全体にあることを実感し、感謝する毎日です。



女性医師支援コーナー

当院では『誰もが安心して働ける職場』を目指して様々なライフイベントに合わせた働き方を応援しています。出産・育児へのサポートとして院内保育所を併設しており、病児保育にも対応しています。保育所を利用しつつ、短時間勤務制度や直当免除制度を使い育児と仕事を両立させながら自分のライフプラン・キャリアプランを考えることができます。当院常勤医師の約30%は女性医師で出産・育児をしながら活躍しています。（写真は院内保育所）



連絡先

埼玉協同病院

教育研修センター 千葉翔太

〒333-0831 川口市木曾呂1317

TEL 048-296-5822(直通) FAX 048-296-8247

E-mail skymet@mcp-saitama.or.jp

URL https://www.skymet.jp/

アクセス JR武蔵野線東浦和駅から徒歩15分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・受験を希望する場合は見学を一度はすることをお勧めします。（必須ではありません）
- ・病院見学はホームページの見学申し込みフォームより見学希望日の1週間前までにお申し込みください。
- ・大学授業などの関係上見学ができない場合はオンラインでの研修説明も可能です。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）117名（うち指導医数 36名）
- 研修医数 1年目 8名 2年目 8名
- 研修医の主な出身大学 東京医科大学・東京女子医科大学・順天堂大学・
獨協医科大学・日本大学・福島県立医科大学・
愛知医科大学・岩手医科大学・東京医科歯科大学・
浜松医科大学 等
- 診療科 内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 脳神経内科 腎臓内科
アレルギー科 リウマチ科 小児科 外科 消化器外科 呼吸器外科
心臓血管外科 乳腺外科 婦人科 脳神経外科 整形外科 形成外科
泌尿器科 移植外科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 麻酔科 救急科
放射線科 緩和ケア内科 精神科 病理診断科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 1169.0名 ● 1日平均入院患者数 429.2名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本内科学会認定医制度教育病院、
日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本麻酔科学会認定病院 等



研修プログラムの特色

病院理念と特徴に沿った指導体制を基本に、厚生労働省が指定する必修科目（内科系6ヶ月・救急3ヶ月・外科、小児、産科、精神、地域各1ヶ月）に加え、外科系2ヶ月・麻酔1ヶ月を必修とすることにより研修の到達目標の達成を図り、後期研修への移行が円滑に進む様なプログラムとなっています。

また、募集する研修医数を8名とすることで、指導医と研修医が直接的な臨床現場での教育を行っています。

更に、2020年4月にE館が稼働し、より充実した研修が可能となりました。



プログラム 例 戸田中央総合病院初期臨床研修プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科系(6ヶ月)						外科系(3ヶ月)			救急科(3ヶ月)		
2年目▶	産婦人科(1ヶ月)	精神科(1ヶ月)	小児科(1ヶ月)	麻酔科(1ヶ月)	地域医療(1ヶ月)	自由選択(7ヶ月)						

※当院は月単位での研修となります。

内科6ヶ月(一般、消化器、循環器、脳神経、腎臓+消化器or循環器)、外科3ヶ月(外科2ヶ月+外科or整形外科)、救急科3ヶ月、小児・麻酔・産科・精神・地域各1ヶ月
自由選択7ヶ月

一般内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、救急科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、緩和医療科、小児科、眼科、心臓血管外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科、呼吸器外科、病理診断科、産婦人科(外部研修)、精神科(外部研修)、地域医療(外部研修)



研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次36万円/月・2年次40万円/月
- 諸 手 当▶ 時間外・当直手当等※その他当院規程による
- 保 険▶ 組合健保(TMG健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、
厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険(個人加入)
- 勤務時間▶ 9時~17時30分
- 当 直▶ あり、義務当直(2回/月)・手当当直(救急車初療・救急外来・CCU等)
- 休 暇▶ 4週8休相当・年次有給休暇・特別有給休暇等
- 宿 舎▶ あり

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・ 戸田中央産院(戸田市)
- ・ 佐々総合病院(西東京市)
※産婦人科領域
- ・ 戸田病院(戸田市)
※精神科領域
- ・ 永尾醫院(戸田市)
- ・ 辻川ホームクリニック(蕨市)
- ・ 熱海所記念病院(熱海市)
※地域医療領域



当院の魅力

戸田中央総合病院の初期研修とは・・・

救急ベッド、ICU、CCUを有し24時間体制で救急疾患に対応するだけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療にも積極的に取り組んでおり、緩和ケア病棟も有しています。救急件数も約19.0件/日、約570件/月で大変忙しい病院ですが、Common Diseaseも非常に多く、初期研修には大変適した病院です。また、当院では研修医も「一人の医師」として接します。その為、「研修医だから・・・」という制限を設けず、やる気と知識さえあれば、責任者許可の下、治療計画や手術、検査なども実践できます。更に、腎移植をはじめ県内初のダ・ヴィンチ導入など最先端医療を積極的に取り入れているところも魅力のひとつです。

その他、月1回開催する「研修医近況報告会」ではその月に開催された臨床研修委員会で出た各研修医評価のフィードバック、研修医からの意見の収集とその結果報告や研修医が希望した内容の勉強会等を行い研修医との意見交換の場、勉強の場を設けています。

当院は1学年8名で全国より研修医が集まってきましたが、初日から友人だったかのように打解け、指導医や上級医も研修医に気さくに接し、とてもフレンドリーな職場となっています。



研修責任者から

鉄は熱いうちに打てとい
います。初期臨床研修に臨
む医師は、多くの希望と不
安を抱きながら社会人とし
ての一步を踏み出されるこ
とでしょう。



プログラム責任者(副院長)
田中 彰彦

私たち臨床研修病院の使命は、そうした皆さんの情熱を絶やすことなくきちんとした教育を行い、専門研修への礎を築くことにあります。そのため私たちが研修医と向き合うことを大切に、また卒後臨床研修評価機構の審査を受けるなど、自身が教育するための「質の向上」を絶えず模索しております。皆さんも先輩研修医や指導医とともに切磋琢磨できる環境を一緒に構築できる臨床研修病院をつくって行きましょう。

先輩研修医から

地域密着型病院であるためCommon Diseaseを多く診ることができると考え、当院を選びました。症例数も多く、診療科も揃っていることから多彩な疾患を経験することができます。更にプライマリーケアはもちろん、診療においては治療方針を主体的に考えられるため、やりがいもあると思います。また、熱心に指導して下さる先生がとても多く、重要な場面では必ず指導医のサポートやアドバイスが入る恵まれた環境です。



研修医2年目
鈴木 章正

当院は新宿まで約20分という好立地で、且つ手技が多くできるところが魅力です。更に内科系、外科系だけでなく救急やマイナー科まで強い市中病院というのも強みだと思います。志望科に合わせてローテーションも自由に組むことができ、専門研修に向けて恥ずかしくない力も付きます。また、看護師をはじめ他の院内職員の方々にも気軽にアドバイスいただける雰囲気のため、チーム医療が行いやすいのも良い所だと思います。



研修医2年目
菊池 健人



女性医師支援コーナー

戸田中央総合病院では働く女性の為に国内最大規模の200名受入れ可能な保育室を2015年8月にリニューアルオープンしました。更に、院内には病児保育施設もあり安心して働くことができる環境作りをしています。

また、院内では常勤医の約25%にあたる32名の女性医師が働いており、2名の医師が育休を取得中です。



連絡先 戸田中央総合病院

臨床研修事務局

〒335-0023 戸田市本町1-19-3

TEL 048-442-1111(代表) FAX 048-433-4076

E-mail toda-rinsyou-kensyu@tmg.or.jp

URL https://www.chuobyoin.or.jp/

アクセス JR埼京線戸田公園駅から徒歩4分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

☆病院見学随時募集中☆

戸田中央総合病院では、病院見学を随時募集しています。ご希望の方は氏名・大学名(学年)・見学希望日(第三希望まで)・見学希望科(第三希望まで)等を左記メールアドレスまでお送りください。

※詳細は当院ホームページをご参照ください。



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）70名（うち指導医数 12名）
- 研修医数 1年目 5名 2年目 5名
- 研修医の主な出身大学 三重大学・杏林大学・埼玉医科大学・島根大学・中国上海同済大学・宮崎大学・山形大学・東京女子医科大学・帝京大学・浜松医科大学・東北大学・旭川医科大学・近畿大学・藤田保健衛生大学・岩手医科大学・産業医科大学・獨協医科大学・弘前大学・香川大学・東京医科大学・名古屋市立大学・高知大学・京都府立大学・北里大学
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 腎臓内科 心療内科 外科 呼吸器外科 消化器外科 小児外科 肛門外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻科 リハビリテーション科 麻酔科 放射線科 精神科 神経内科 救急科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 血液内科 糖尿病内科 乳腺外科
- 1日平均外来患者数 1,017名 ● 1日平均入院患者数 382名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設 日本救急医学会専門医指定施設、日本整形外科学会認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設 他



研修プログラムの特色

初期研修プログラムでは、総合診療・救急医療・地域医療を基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。内科・救急部門・地域医療・外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科を必修としています。研修医の募集定員を5名と少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリーケアを主とした研修をベースに問診・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけられます。当院は第二次救急医療機関として地域医療の一端を担っていますので、全科の研修時に第二次救急医療を研修できるのが特徴です。臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境だと思えます。また、最新鋭の設備で臨床研修という大事な時期をともに学び喜びを共有しましょう。



プログラム例 基本コース(募集定員5名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科(28週)						外科(8週) + 整形外科(4週)		救急科(麻酔科含む)			
2年目▶	産婦人科(4週)	精神科(4週)	小児科(4週)	麻酔科(4週)	地域医療(4週)	自由選択(28週)						

・内科系(一般・消化器・糖尿病・脳神経・腎臓+消化器・循環器) 28週
 ・外科系 12週 ・救急科 12週 ※麻酔科を4週含んで可(※但し、4週を上限とする)
 ・産婦人科・精神科・小児科・麻酔科・地域医療 4週以上
 ・自由選択科目 選択科目から選択 ※期間割りに沿って研修医を配置する。但し人数により変更することがある。



研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1年目：36万円/月(基本給・調査手当・固定残業等含む)
2年次：40万円/月(基本給・調査手当・固定残業等含む)
- 諸 手 当 ▶ 通勤手当、時間外手当
- 保 険 ▶ TMG健康保険組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 勤務時間 ▶ 9時00分~17時30分 (月~金曜日)
- 当 直 ▶ あり/手当：1万円
- 休 暇 ▶ 土・日曜日、祝日休暇、年末年始休暇、介護・育児休暇
- 宿 舎 ▶ あり(単身用) 住宅補助：5万円・引越代補助：20万円
- そ の 他 ▶ ・診療見舞金制度(グループ病院受診時、月3000円以上超えた分の治療費支給)
・スポーツクラブ、ヘアサロン等の福利厚生制度
・学会参加費 年1回のみ病院負担(交通・宿泊)

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- 戸田中央医科グループ
- ・戸田中央総合病院(小児科)
- ・戸田中央産院(産婦人科)
- ・佐々総合病院(産婦人科)
- ・菅野病院(精神科)
- ・大泉病院(精神科)



当院の魅力

TMGあさか医療センターの特徴

昨年度は年間5,473件の救急車を受け入れており、手術件数は年間4,761件です。地域医療に力を注いでおり埼玉県南西部地域において、非常にアクティブに活動している病院です。特に、内科・外科・整形外科・脳神経外科の4科は県内トップレベルの診療実績があります。院内の行事も数多くあり、院内旅行・運動会といった場では、医師・看護師・医療技術部・事務の結びつきが強く、カンファレンスも活発です。

TMGあさか医療センターでは救急・専門医療の拡充として、ICU・CCU 10床・SCUの稼働、てんかんセンターでは患者様を24時間モニタリング検査ができ、外科的治療も可能です。手術室も4室から8室に拡大し、多職種で協力して生命の危機がある患者様を24時間体制で対応致します。また、脊椎内視鏡手術センター・最新鋭のアンギオ装置を2台設置、20床個室の緩和ケア病棟・小児病棟といった各部門の強化を図り、幅広い医療を学ぶことが出来ます。新病院では地震の被害を低減する「免震構造」を採用し、被害の影響を受けにくい構造となっています。ホスピタルコリドール内には医療ガス設備を設置し、災害時でも医療を継続することが可能です。最新鋭の設備の中で充実した研修生活を共に過ごしてみませんか。



先輩研修医から



初期臨床研修医 2年目

関本 秀花

私がTMGあさか医療センターを初期臨床研修病院に選んだ理由は、地域密着型の病院でありCommon Diseaseを多く経験することが出来ると思ったからです。

当院は1年目から手技を経験する機会が多く、指導医の先生方は教育熱心なので知識も十分に学べる環境が整っています。また、各科の先生方や他職種の方々との垣根が低く、気軽に相談することができるのでとても働きやすいです。ONとOFFがはっきりしているためメリハリがつけられた研修生活を送れるのもいい点です。

ぜひ一度、当院に見学にいらしてください。お待ちしております。

先輩研修医から



初期臨床研修医 1年目

青木 敬亮

当院での研修の利点を2つ紹介させていただきます。

1つ目は、少人数での研修である点です。当院は指導医と一対一で研修を行えるため、各科を回る上で必要な知識や治療方針などを丁寧に指導して頂けるほか、研修医ではあまり行わない手技などもたくさん経験させて頂けます。

2つ目は、当直が各科当直である点です。当直に入る際、研修医は当直科を選択します。そのため、内科でコモンな症例を数多く経験できる一方、脳外科や整形外科では意識障害や外傷に特化した症例を数多く経験できます。幅広い症例を扱う当直と専門的な症例を扱う当直の両者を経験できるのは、研修医にはとても勉強になります。

興味がある方はぜひ見学にいらして下さい。



女性医師支援コーナー

当院では29名の女性医師が活躍しており、女性医師の比率が36%となっています。当直業務は希望制となっています。当直業務を行う際は、内科・外科・整形外科・脳神経外科の先生について研修が可能です。24時間利用可能な保育室も完備していますので長期にわたって勤務することが可能となっています。後期研修医になれば子育て支援の観点から、時短勤務が可能です。

現在、初期臨床研修医で女性の医師が8名在籍しており、1名は子育てをしながら研修を行っております。

TMGあさか医療センターは、女性の初期臨床研修医を大歓迎します。是非、病院見学に来て下さい！！

連絡先 医療法人社団武蔵野会 TMGあさか医療センター

〒351-0023 朝霞市溝沼1340-1

総務課 小林・堤

TEL 048-466-2055 (代表)

FAX 048-466-2059

E-mail h_kobayashi03@tmg.or.jp

URL http://www.asakadai-hp.jp

アクセス 武蔵野線北朝霞駅から徒歩10分
東武東上線朝霞台駅から徒歩10分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

☆病院見学(随時実施中)☆

見学希望の方は、メールまたは電話で受けつけております。

(当院、HPに詳細掲載!!)

※希望者は氏名・大学名(学年)・見学科目・希望日を左記メールアドレスまでお送り下さい。

病院の概要

- 医師数（研修医を除く）156名（うち指導医数 41名）
- 研修医数 1年目 16名 2年目 15名
- 研修医の主な出身大学 慶応義塾大学・日本大学・帝京大学・山形大学・札幌医科大学・浜松医科大学・東京医科大学・北里大学・順天堂大学・聖マリアンナ医科大学・東京女子医科大学・杏林大学・東北大学・新潟大学・信州大学・昭和大学・埼玉医科大学・東海大学・旭川医科大学・群馬大学・山梨大学 その他
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 脳神経内科 内視鏡内科 外科 呼吸器外科 心臓血管外科 乳腺外科 小児外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 内視鏡外科 精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 緩和ケア内科 病理診断科 救急科 総合診療科 歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 1068.9名 ● 1日平均入院患者数 372.4名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修関連施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度指定施設



研修プログラムの特色

基本コース

基本コースでは内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、精神科、地域、麻酔科が必修です。救急外来では、年間5,000件を超える救急車の受け入れがあり、そのファーストタッチは研修医が担当します。将来どの診療科に進んでも怖くない救急の知識と度胸が身につきます。また、年間通して抄読会や症例検討会が行われ、国立病院学会、埼玉県医学会その他の学会発表を通して、学会発表の指導も受けられます。

小児科・産婦人科コース

小児科または産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっていきます。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。

外科コース

将来外科を専門として志望している方を対象とします。他のコースと同様に研修医に必要なプライマリーケアを身につけるのはもちろん、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科の各分野を必修でローテートし、外科の基本手技、知識を習得します。スムーズに外科専門研修に移行でき、専門医取得に大変有利なプログラムです。



プログラム 例 基本コース(募集定員12名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科系32								麻酔科6	外科4	救急科6	小児科	
2年目▶	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目									

○小児科・産婦人科コース：募集定員4名

○外科コース：募集定員2名

研修医の処遇

- 給与 ▶ 1年次約39万円/月・2年次約43万円/月
- 諸手当 ▶ 通勤手当
- 保険 ▶ 協会けんぽ・厚生年金保険・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険（病院において加入なし）
- 勤務時間 ▶ 8時30分～17時15分
- 当直 ▶ あり（4～5回/月）
- 休暇 ▶ 有給休暇/年23日（リフレッシュ休暇3日含）
- 宿舎 ▶ あり（希望者多数の場合は入居できないことがあります）
- その他 ▶ 健康診断年2回、インフルエンザ予防接種無料
身分：初期臨床研修医（期間職員）

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・慶応義塾大学病院
- ・日本大学板橋病院
- ・大泉病院
- ・勝海外科
- ・清水医院
- ・天野医院
- ・菅野病院
- ・秩父市立病院
- ・大塚産婦人科小児科医院
- ・和光病院、他



当院の魅力

地域に根ざした中核病院で 一緒に忙しく働きましょう!

埼玉病院は、地域医療支援病院、地域癌診療連携拠点病院、循環器病基幹医療施設、肝疾患診療地区拠点病院、地域周産期母子医療センターで、地域の中核病院として機能しています。

2018年には200床の新館が完成し550床の病院となりました。現在は、2021年の救命救急センター開設にむけて準備を進めています。

埼玉病院は、常に新しいことに挑戦し続ける病院です。研修医の先生方には埼玉病院の一員として現場第一主義で研修していただきます。

地域を支えるやりがいを感じられる病院です。是非、一度見学にいらしてください。



研修責任者から



埼玉病院では、職員家族主義のもと、病院全体で研修医教育にあたっています。

研修医は、院内インターンシップで1週間かけて各部署を回ることでよりコメディカルの立場について研修します。臨床の現場に出れば、指導医のもとで多くの手技を経験することができます。症例について深く掘り下げたことを学び、学会発表、抄読会、症例検討会などを通して、プレゼンテーションについても指導を受けられます。

熱心な指導医のもとで、研修生活をスタートさせませんか。やる気のあるみなさんをお待ちしています。

小児・周産期母子センター部長
プログラム責任者
上牧 勇

先輩研修医から



毎日が新鮮で充実した研修生活を送っています。研修医に任せてもらえる仕事も多く、手技もたくさん経験でき、自分で動いて考えながら学ぶことができます。もちろん最初はしっかりと指導してもらえますし、不安があればすぐに他の先生やコメディカルの方々にも気軽に相談できる雰囲気があります。実際に患者さんと向き合う緊張感と、いざという時は頼れる人たちがいるという安心感の中で研修ができるということが、埼玉病院の1番の魅力だと思います。皆さんもぜひ一度見学に来て、埼玉病院の良さを肌で感じてみてください。

研修医1年目
《基本コース》
福良 悠

当院の小児科では、気管支炎や尿路感染症、熱性痙攣などの子供にとって頻度の高い疾患を毎日診療し、外来も病棟も活気に溢れています。医師の人数も多く、診療上の問題点や疑問点をすぐに相談させて頂ける環境の中で、治療方針の検討や手技にも積極的に取り組むことができ、大変勉強になります。小児科コースでは研修が小児科から始まり、なりたい医師像を印象深く描き始められたことは、大きなモチベーションになりました。素敵な先生方や同期に囲まれ、実りある研修ができると思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています!



研修医1年目
《小児科コース》
佐藤 なつこの



女性医師支援コーナー

- ・産前休暇（6週間）
- ・産後休暇（8週間）
- ・育児休業制度
- ・院内保育園（0歳から）



連絡先 独立行政法人国立病院機構 **埼玉病院**

医療支援室 研修医事務担当

〒351-0102 和光市諏訪2-1

TEL 048-462-1101(代表) FAX 048-464-1138

E-mail ushino.miki.rx@mail.hosp.go.jp

URL https://saitama.hosp.go.jp/

アクセス 東武東上線成増駅より東武バス・西武バスともに7分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学の申込みは、随時受付けております。必要書類を事務担当へご郵送下さい。詳しくはHPをご覧ください。
- ・埼玉病院説明会は3月と8月に開催予定です。
- ・受験資格として病院見学必須



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）66名（うち指導医数 16名）
- 研修医数 1年目 3名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 順天堂大学・香川大学・杏林大学・北里大学・
獨協医科大学・山梨大学・帝京大学・筑波大学・
新潟大学・鹿児島大学・日本医科大学・
東京医科大学・旭川医科大学
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 神経内科 小児科 外科 肛門科
消化器外科 呼吸器外科 整形外科 リウマチ科 脳神経外科 皮膚科
形成外科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 リハビリテーション科 救急科 放射線科
- 1日平均外来患者数 810.5名 ● 1日平均入院患者数 353.8名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本循環器学会認定循環器研修施設、
日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院



研修プログラムの特色



当院では、プライマリーケアの基本能力の充実のために、内科と救急科を1年目に行います。内科系は一般・消化器・循環器・糖尿病・神経・呼吸器などを含む幅広い領域での指導体制となっています。また外科系も一般・消化器・呼吸器・脳神経外科・整形外科・皮膚科なども同様に多くの症例を経験できます。さらに、麻酔科研修でも救急医療の基礎を成す呼吸循環管理や、臨床薬理の充実した指導を受けることができます。また、小児科・産婦人科・精神科・地域医療では、協力医療機関（小児科以外は単科病院）での研修となるため、専門的に学ぶことができます。

当院は、研修医枠を少なくすることで、研修医一人あたりの指導医数を多くし、濃厚な指導を保証致します。さらに、看護師・コメディカルスタッフなど、あらゆる職種が一丸となり研修を支援する体制が築かれています。

プログラム例 新座志木中央総合病院初期臨床研修プログラム(募集定員3名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科(30週)						救急科(14週)			外科系(8週)		
2年目▶	産婦人科(4週)	精神科(4週)	地域医療(4週)	小児科(4週)	自由選択(36週)							

- ・内科と一般外来研修は平行研修となります。
- ・内科ローテーション例(一般→糖尿病→循環器→消化器)
- ・救急科に麻酔科研修を含みます。



研修医の処遇

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- 給 与▶ 1年次36万円/月、2年次40万円/月
- 諸 手 当▶ 通勤手当
- 保 険▶ 組合健保 (TMG健康保険組合)・厚生年金保険・雇用保険・労災保険あり・
医師賠償責任保険 (病院において加入)
- 勤務時間▶ 9時~18時
- 当 直▶ 要相談 (月1~4回程度)
- 休 暇▶ 変則週休2日制、有給休暇 (1年次10日、2年次11日)
- 宿 舎▶ あり (住宅手当は病院規定による)
- そ の 他▶ 保育所あり

- ・戸田中央総合病院(小児科)
- ・戸田中央産院(産婦人科)
- ・佐々総合病院(産婦人科)
- ・菅野病院(精神科)
- ・成増厚生病院(精神科)
- ・まちだ訪問クリニック(地域医療)



当院の魅力

少人数制だから出来る、あなたにぴったりの研修プログラム

当院は、埼玉県南西部70万人の医療圏において、高度な急性期医療から地域に密着した予防(健診)、在宅医療を行う地域中核病院です。思いやりのある質の高い医療、地域医療機関との密接な連携、行き届いた管理体制による効率的な医療等を行動の規範として、皆さまに心から信頼される「愛し愛される病院」を目指し、24時間救急体制で全力で取り組んでおります。また電子カルテシステムの導入や、局麻手術室の新設、内視鏡室・外来化学療法室の拡張、リハビリテーション室の新設により、地域密着型のより高度な医療を実践しております。

また、当院は戸田中央医科グループ (TMG)に属しており、臨床面に於いてもスケールメリットを活かした病院運営を展開し、各大学病院と連携し医療レベルの向上に努めております。

—当院での研修メリット—

- ・少人数制なので、必修項目以外は研修医の自由裁量で好きな診療科を選べます
- ・全職種と良好なコミュニケーションを形成することができます
- ・医療秘書課、病棟・外来クラークが十分に整備されており、雑用が少なく技術の習得に専念できます
- ・大学医局派遣の医師も多く、大学での教育に準じた研修ができます
- ・TMG学会、院内の検討会で学術発表の経験を積めます



研修責任者から



副院長/研修プログラム責任者

松浦 直孝

当院での臨床研修は、幅の広い且つ多様な研修が出来るようにプログラムされており、希望があれば臨床研修管理委員会の承認を得て、変更・改善を試みる等、2年間の研修が充実したものになる様に支援体制を整えております。研修医に対して希望することは、

- ①積極的に研修に取り組むこと
- ②患者・家族との対話とパートナーシップの構築
- ③コメディカルとの協調性・チーム医療
- ④医療の果たすべき社会的役割を認識すること
- ⑤地域・病院の行事に積極的に参加すること

以上ですが、2年間の臨床研修が1人の医師として、また1人の社会人の基礎となるように頑張っていきましょう!!

先輩研修医から



研修医2年目

清水 亮祐

私が思う当院の魅力は2つあります。1つ目は、common diseaseを多く経験でき、研修期間中に身につけるべき疾患をより深く学ぶことが出来ます。2つ目は、病院全体がアットホームな雰囲気であり、多職種の方から優しく声をかけて頂けるので、とても研修しやすい環境です。当院に少しでも興味を持って頂けた方は是非一度見学にお越しください。お待ちしております。

私が感じた当院の魅力は、以下の通りです。

- ①少人数なので、プログラム選択の自由度が高く、またCVカテ等の手技を行う機会が多い
- ②毎朝の採血等のルーチン業務が少なく、研修に専念できる
- ③当直を含めcommon diseaseが多く集まるので、一通りの初期対応が出来るようになる
- ④職種間での距離が近く、チーム医療を学ぶことができる

当院に興味を持たれましたら、ぜひ一度見学にいらして下さい!



研修医1年目

矢野 駿輝



女性医師支援コーナー

当院では、常勤医師の20%にあたる女性医師が活躍しております。当直業務に関しても、体力面や子育て支援を考慮し希望制としております。また24時間利用可能な保育室も完備し、安心して働くことができます。

連絡先 医療法人社団武蔵野会 **新座志木中央総合病院**

臨床研修担当

〒352-0001 新座市東北1-7-2

TEL 048-474-7211(代表) FAX 048-472-7581

E-mail webmaster@niizashiki-hp.jp

URL http://www.niizashiki-hp.jp

アクセス 東武東上線志木駅より徒歩5分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っております。

ご希望の方は、電話またはメールにて氏名・大学名(学年)・見学希望日・見学希望診療科などを担当までご連絡ください。

8 春日部市立医療センター

病院の概要



- 医師数（研修医を除く）76名（うち指導医数 28名）
- 研修医数 1年目 7名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 日本大学・埼玉医科大学・信州大学・産業医科大学・秋田大学・高知大学・徳島大学
- 診療科 内科 循環器内科 血液内科 呼吸器内科 神経内科 消化器内科 糖尿病・代謝内科 小児科 外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 呼吸器外科 形成外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 精神神経科 放射線科 病理診断科 麻酔科 歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 763名 ● 1日平均入院患者数 287名
- 主な認定施設 基幹型臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設

研修プログラムの特色



限られた期間に、現在社会的にも要望され、将来どのような専門科に進むにしても必要となる幅広いプライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための選択科目を重視。

- ① 地域医療は、診療所（外来診療、在宅、デイケア）、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別養護老人ホーム等、多様な研修の組み合わせが可能である。
- ② 選択科目の診療科は重複も可能。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医間で相談し決定する。
- ③ 救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できる。また、救急車同乗など救急医療を重視。

プログラム例 春日部市立医療センター 臨床研修プログラム(募集定員7名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科(呼吸器、循環器、消化器、糖尿病・総合、神経、血液)(24週)						救急部門(12週)			外科(6週)	産婦人科(6週)	
2年目▶	小児科(4週)	選択(6週)		地域医療・精神科(各4週)		選択(32週)						

必修科目：内科24週、救急部門12週(麻酔科4週上限)、外科6週、小児科4週、産婦人科6週、精神科4週、地域医療4週、一般外来4週※
 選択科目：内科(呼吸器、循環器、消化器、糖尿病・総合、神経、血液)、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、呼吸器外科、呼吸器科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、精神神経科、放射線科、検査科

※一般外来については、内科、外科、小児科、地域医療のブロック研修中に計4週並行して研修を実施する。
 (内科2.4週、小児科0.8週、地域医療0.8週)

研修医の処遇

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- 給与▶ 1年目 350,300円/月 2年目 368,800円/月
- 諸手当▶ 当直手当 21,000円/回
- 保険▶ 協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険
- 勤務時間▶ 午前8時30分～午後5時15分
- 当直▶ あり(基本5回まで/月)
- 休暇▶ 土・日曜、祝日、年末年始、夏休、有給休暇 20日/年
- 宿舎▶ なし
- その他▶ 住宅助成あり
※市内居住の場合、上限月額 45,000円

- ・順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院
- ・医療法人 春明会 みくに病院
- ・日本大学医学部附属板橋病院
- ・独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院



当院の魅力

整った環境で充実した研修を！

当院は、2016年7月に新築移転し、延べ床面積を旧病院のおよそ1.5倍に広げ、手術・画像診断・内視鏡・救急の各部門を拡充いたしました。ICU・CCU・NICUの集中治療室や重症観察室に加え、緩和ケア病棟を設置して各部門の強化を図っています。

更に、埼玉県東部医療圏の中核的な医療機関として、地域がん診療連携拠点病院としての充実、強化のため、内視鏡下手術支援装置（ダビンチ）、高精度放射線治療装置（リニアック）やがん細胞を見つけるPET-CT、SPECTなど最新の高度医療機器を導入、更新しています。

院内には医局とは別に研修医室があるので集中して学ぶことができます。医局内にはラウンジがあるので上級医とのコミュニケーションが図りやすいです。その他、綺麗な宿直室、院内コンビニエンスストアもあり、充実した研修医生活を送れる環境が整っています。

上級医と研修医との風通しが良く、また医師以外の医療職員ともコミュニケーションが図られているので、病院見学に来られた方からは雰囲気良かったとの感想をいただいています。

是非一度、見学にお越しください。



研修責任者から



臨床研修管理委員長
(内科主任部長)

河野 通

人類が初めて経験した新型コロナウイルス感染症大流行の中で新たに医師として第一歩を踏み出すことは大変貴重な経験になると思います。新たな医療システムや生活様式を構築する必要に迫られています。当院で私たちと一緒に学びましょう。

当院には開放的でアットホームな雰囲気があり、困ったことがあればすぐに上級医に相談できます。一方、自分から積極的に臨めば多くの手技を経験するチャンスがあります。2年間の研修終了時には多くの方が「楽しく学べた」と言って巣立っていきます。

春日部市は大宮あるいは北千住から電車で30分程度のところに位置しておりちょっと田舎ですが、給与や住宅手当には満足してもらえと思っています。2020年秋の時点では病院見学を受け入れています、病院の雰囲気を知るためには是非見学に来て下さい。

先輩研修医から



研修医2年目

樋口 果奈

春日部市立医療センターは埼玉県春日部市の医療の中核を成す病院です。2016年に建て替えたばかりのきれいな病院で、ダビンチをはじめとする最先端の機器もそろっています。診療科は内科や外科をはじめ様々な診療科があるため、豊富な症例を経験することができます。

研修医の数は2学年合わせて13人と多すぎず、上級医の先生方から手厚い指導を受けることができます。また、当直中は基本的にfirst touchであり、自分で考える力が身に付きますが、困ったときにはすぐに相談できる環境のため、安心して研修を受けることができます。

ぜひ、一度当院に見学にお越しください。

春日部市立医療センターは、地域の中核病院として、多くの診療科や最先端の医療機器が揃っています。

研修医の人数も多すぎず、各診療科を基本的に一人または二人で回るため、手技を経験する機会も多く、自分で考え手を動かす力が身に付いていきます。

また、病院は建て替えてから年数が浅く、とても明るくきれいです。福利厚生にも恵まれており、モチベーションにつながると思います。

ぜひ一度見学にお越し頂き、実際に働く雰囲気を感じていただけたらと思います。



研修医1年目

西野 裕梨



女性医師支援コーナー

・出産休暇制度、育児休暇制度等あり

《女性医師からのコメント》

男性が多い職場ですが、産前産後育児期間中も、周囲の医師の方々の御支援をいただき、産後半年で無理なく常勤として復帰する事ができました。復帰後の職場も、忘れかけていた知識の再勉強の場として新患外来の枠をいただいたり、当直免除や勤務時間の短縮など御配慮いただき、女性医師にとっても働きやすい病院です。

また、ベテラン保育士による院内保育も完備され、多くの職員も利用しています。コメディカル含め、皆仲が良く楽しい雰囲気の職場です。ぜひ一度、病院見学にいらして下さい。



【院内保育所完備】

連絡先 春日部市立医療センター

総務課 総務担当 山本

〒344-8588 春日部市中央6丁目7番地1

TEL 048-735-1261 (代表) FAX 048-734-2471

E-mail somu-hos@city.kasukabe.lg.jp

URL http://www.kasukabe-cityhp.jp

アクセス 東武スカイツリーライン・東武アーバンパークライン

春日部駅から徒歩約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学は随時開催しております。
- ・病院見学を希望される方は、まず左記担当までご連絡ください。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）48名（うち指導医数 20名）
- 研修医数 1年目 0名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 富山大学・東邦大学・山梨大学・岩手医科大学・群馬大学・神戸大学・順天堂大学・東北大学・東京女子医科大学・杏林大学・東京医科歯科大学 ほか
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 肝臓内科 腎臓内科 呼吸器内科 糖尿病内科 内分泌内科 神経内科 リウマチ科 人工透析内科 アレルギー疾患内科 内視鏡内科 外科 消化器外科 食道外科 肝臓外科 大腸外科 脳神経外科 整形外科 リハビリテーション科 泌尿器科 婦人科 乳腺外科 眼科 皮膚科 形成外科 内視鏡外科 放射線科 放射線診断科 病理診断科 臨床検査科 救急科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 508名 ● 1日平均入院患者数 177名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本栄養療法推進協議会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設、日本医療機能評価機構認定病院(3rd G:Ver1.1)



研修プログラムの特色

内科系は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器を常設し、さらに大学からの支援で神経内科、膠原病・リウマチ内科の外来診療を行っています。腎臓内科は開設40年弱の透析医療の長い歴史があり、別館・透析クリニックで関東最大級400例以上の維持透析を担い、循環器内科は救急医療連携でPCIから末梢動脈まで幅広く活躍し、内分泌・糖尿病内科は専門的糖尿病診療から糖尿病教室まで地域に密着しています。呼吸器内科では市中感染症診療、睡眠時無呼吸症候群、緩和医療まで集約的に取り組み、消化器系は肝炎、栄養を中心に診療を行なっています。

外科系は消化器、泌尿器、整形外科、脳外科から乳腺外科、形成外科まで幅広く対応しています。消化器外科は、ヘルニア日帰り手術から鏡視下手術に至るまで精力的に活動し、内視鏡外科では食道・胃・十二指腸・大腸全域で積極的にESDを行っています。また整形外科では人工関節置換術から脊柱管狭窄症や脊椎変形まで県下有数の実績を挙げています。脳神経外科は埼玉県脳梗塞急性期ネットワークに参画し基幹病院として多くの患者を受け入れています。救急医療から生活習慣病まで幅広い地域医療に接しながら充実した研修が当院の特色です。



プログラム例 卒後初期臨床研修プログラム(募集定員2名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科								外科		麻酔科		救急
2年目▶	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択科目								

○必修 内科32週、外科8週、麻酔科8週、救急8週(4週+当直4週※当直4週は他科重複研修。週に1回程度実施)、小児科4週、精神科4週、産婦人科4週、地域医療4週

○自由選択36週 内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科より選択



研修医の処遇

- 給与 ▶ 41万円/月
- 諸手当 ▶ 通勤手当、当直手当
- 保険 ▶ 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険（病院において加入なし）
- 勤務時間 ▶ 9時00分～17時00分
- 当直 ▶ あり（3～4回/月）
- 休暇 ▶ 有給休暇（1年目10日、2年目11日）
土曜午後、土曜（隔週）、日曜、祝日、夏季休暇、年末年始
- 宿舍 ▶ あり（2.5万円/月）
- その他 ▶ 昼食費補助あり、宿舍費補助あり、学会発表・研究会発表等への参加費用支給有

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- ・東京医科歯科大学医学部附属病院
- ・草加市立病院
- ・秀和透析クリニック
- ・春日部在宅診療所ウエルネス



当院の魅力

地域に密着した研修で技術を習得

埼玉県は全国でも1～2位の高齢化進行率ですが、2015年の統計では65歳以上の高齢化率は全国では26.6%、東京都22.7%、埼玉県24.8%を示し春日部市では28.1%とさらに高齢化が進んでいます。この地域に密着した研修を考える時には合併疾患で病める高齢者に対し、各領域専門医の指導下に最新鋭の医療機器を用いて、最初は問診聴取から身体所見の取り方、そして各種検査値の読み方や画像診断の技術を修得することになります。

秀和総合病院では内視鏡始めCT診断装置、MRI診断装置、各種超音波診断装置、心臓血管撮影装置など大型医療機器を設置していると同時に各領域の専門医や指導医が常勤しています。特に多くの医師の出身母体である国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院や近接する獨協医科大学埼玉医療センターなどと密接な医療連携を保持し、必要に応じて診療科研修に向向くこともあります。

病院数を人口10万人当りで見ると、全国では6.65、東京都4.79、埼玉県4.84、県内・東部医療圏で4.47を示しますが、春日部市では5.59と比較的病院数が多いのが特徴です。一方、同じ条件下の医師数では全国246.0人、東京都328.3人、埼玉県179.0人、春日部市156.9人と最少人数でもあります。

是非、高齢化率が高く医師数の少ない当地で少数精鋭の騎士として、医療技術の修得と共に初めての臨床研修期間を秀和総合病院で過ごし、人として医師としての充実した新たな道に進みましょう。



研修責任者から



研修実施責任者
安達 進

秀和総合病院がある春日部は人口約24万人の市で、東武鉄道のスカイツリーラインとアーバンパークラインが乗り入れ都心や大宮、千葉からのアクセスが非常によい場所にあります。

当院は埼玉県東部医療圏の救急基幹病院で年間3500台の救急車を受け入れ地域の急性期医療のみならず、がん医療、緩和医療、健診センター、透析クリニックなど幅広く展開し、より専門性が高くより質の高い医療を提供できる病院として機能しています。

病院には最新の医療機器や電子カルテシステムまた文献検索などが行える図書室を備えており快適に研修に取り組むことができる環境にあります。

医師としての研修も大学や教育病院での指導経験豊富な指導医が各診療科において適切かつ迅速に診断・検査・治療を遂行できるように研修医の教育を行っています。

先輩研修医から



研修医1年目
由井 沙和

豊富な症例と手技を経験する機会に恵まれています。一方、一つの症例から深く学ぶ姿勢も身につけられます。内科では毎週、学会形式の症例発表を行い、ガイドラインや文献を読み、対応に加えて思考の過程を勉強しています。専門医を目指す際の提出症例の作成も可能です。東京医科歯科大学の関連病院で指導が手厚く、コメディカルの方も優しく、時間外勤務は少なく、医師1年目でも働きやすい病院です。

当院の魅力は研修医2年目に研修する科を8か月間選択することができます。スケジュール決定後でも選択科の変更希望があれば可能な限り変更してもらえるので、途中で進路を変えたいなど、個人に合わせた研修を行えると思います。また、私は現在整形外科を研修中ですが、指導医のもと外来や手術をさせてもらっており、来年を見据えた研修をしています。

当院での研修を考えている方は是非、見学や面談にいらしてください！



研修医2年目
鈴木 大成



女性医師支援コーナー

研修医期間での女性医師支援策は特に企画していません。

現在、厚労省「医師の働き方改革に関する検討会」では研修医等については、2018年7月9日に「臨床研修医省令に規定された『研修医』については『医師の特別条項』の特例の枠組みの中で別途制度を定める」との答申がなされ、米国卒後医学教育認定評議会が制定した制度との整合性を検討中です。また、これまでの女性医師支援プログラムは院内保育・病児保育などを含めた柔軟な勤務体制の整備と活用が主な対応で、これらは既に卒後数年目の女性医師には実施されています。

臨床研修期間中は、その勤務形態や内容に男女別の分け隔てなく対応しながら適時、研修医の体調などを観察しながら、医師としての初めての貴重な経験に邁進してもらうべく注意深く育てて行く病院の方針です。チーム医療という環境の中では研修医は治療対象ではなく、チーム環境の中で多方面にお世話になりながら、一方では医師としての責務を自覚し、いずれはリーダーとして立ちまわるとして温かく優しい、頼れる女性医師として育む考えです。

連絡先 秀和総合病院

総務課(医局) 堀内聡乃

〒344-0035 春日部市谷原新田1200

TEL 048-737-2121(代表) FAX 048-737-5575

E-mail sgh.ikyoku@shuuwa-gh.or.jp

URL http://www.shuuwa-gh.or.jp

アクセス 東武スカイツリーライン・東武アーバンパークライン「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車 所要時間10分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

・随時、病院見学を受付けております。
http://www.shuuwa-gh.or.jp/recruit/trainee_recruit.php
の『お問い合わせフォーム』からお申し込みください。



病院の概要

- 医師数 (研修医を除く) 40名 (うち指導医数 11名)
- 研修医数 1年目 6名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 東京大学・大分大学・東海大学・帝京大学・山形大学・獨協医科大学・産業医科大学・琉球大学・大阪大学・日本大学・金沢大学
- 診療科 内科 循環器科 緩和ケア内科 消化器科 呼吸器科 腎臓内科 外科 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 婦人科 神経内科 糖尿病・代謝内科 麻酔科 人工透析 放射線科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 680名 ● 1日平均入院患者数 340名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院 3rd G: Ver.1.1、日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本外科学会修練施設、日本整形外科学会研修施設



研修プログラムの特色

- ①自由度の高いプログラム選択が可能です。(選択科目最大48週)
- ②マンツーマン指導で「手技」を中心とした研修を行います。
- ③年2回のIMS (イムス) グループ内学会にて症例の発表を行います。
- ④入職後1ヶ月は、オリエンテーションを実施します。メディカルスタッフの役割を知り、人間関係を作ることで、「聞きやすい・話しやすい研修環境」を作ります。
- ⑤当直は月2回。研修の中心時間は日中です。



プログラム 例 春日部中央総合病院群初期臨床研修プログラム (募集定員6名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科(神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病代謝内科含む)						救急(麻酔科含む)		外科	小児科	産婦人科	
2年目▶	精神科	地域医療	選択科目									

必修科目:内科(24週)、救急(12週)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(4週)、一般外来(4週)
選択科目:最大40週



研修医の処遇

- 給与▶ 1年次:約42万円/月、2年次:約45万円/月
- 諸手当▶ 当直手当(1万円/回)
- 保険▶ 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険適用
- 勤務時間▶ 9:00~17:00
- 当直▶ 2回/月
- 休暇▶ 土曜日午後、日曜日、祝祭日
- 宿舎▶ 借上げ寮家賃の50%を病院が負担(上限有)

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- ・板橋中央総合病院
- ・新松戸中央総合病院
- ・新越谷病院
- ・越谷市立病院



当院の魅力

医師の自主性・働きやすさを大切にしています

①《プログラムの自由度が高い》

研修プログラムの選択科目は最大40週です。自分の将来のために、自由にプログラムを作ることができます。

②《研修環境の重視》

IMS（イムス）グループ6施設が集まる入職前合同研修会を開催。毎年30名近い同期と巡り会えます。4月はオリエンテーションでメディカルスタッフとの人間関係を作ります。また、年1回、自分の研修の成果を発表する症例発表があります。

③《QOLも大切にしたい》

主に日中を中心とした研修です。当直は月2回から。当直の回数を調整できるのも、自由度の高いプログラムの特徴です。日曜・祝日の日勤勤務はありません。



研修責任者から



副院長／整形外科 部長
片山 一雄

初期研修は、プライマリケアの習得が主な目的です。そのためには、患者様との接し方、基本的な手技の習得、コメディカルとの関係など、学ぶことがたくさんあります。中でも当院では、基本的な手技の指導に重点を置いています。また、救急医療にも力を入れていて、様々な症例を学ぶことが可能です。

当院の研修プログラムは、他のグループ病院や近隣病院でも研修が可能なため、多くの症例を経験できる利点があります。また、自由選択期間が最大40週と長いところも特徴です。職員一同、初期研修が実りあるものとなるようサポートさせていただきます。

先輩研修医から



研修医2年目
海賀 翔太

当院の研修は6人と少人数であるため、手技や症例の取り扱いになることもなく、指導医の先生方にマンツーマンで教えてもらうことができます。先生方との距離も近く、医業以外の相談も気軽にできる環境にある一方で、プライベートの時間も確保できます。比較的自由に研修プログラムを組むことができ、仕事に忙殺されることもないため、一つ一つの症例にじっくりと取り組むことができ、それに対するフィードバックがあるのも魅力の一つです。ぜひ一度見学に来てみてください！

私がこの病院を選んだ決め手はコメディカルの方々が優しく、病院全体の雰囲気が良かったことです。当院ではルート、動脈採血、導尿をはじめ、胸腔穿刺、関節穿刺、ナート、cvなど多くの手技を経験できます。研修生活は基本あまり忙しくありません。その割にしっかり学べる点が強みです。メンテラ、手術の執刀医、心カテーテル検査や内視鏡、エコーなど多くのことを経験させていただきました。当院にない科は関連病院で研修を受けることができます。



研修医1年目
小嶋 里穂



女性医師支援コーナー

当院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産前産後休暇・育児休暇・育児短時間勤務・当直免除等の制度を整備しています。また、院内保育所も完備していることから、女性職員が育児しながら働く場所の提供を積極的に行っています。

2017年からは「埼玉県子育て応援企業」として、埼玉県より『多様な働き方実践企業』の認定を受けています。

連絡先

春日部中央総合病院

総務課 臨床研修医担当

〒344-0063 春日部市緑町5-9-4

TEL 048-736-1222(直通) FAX 048-738-1559

E-mail jinji@kasukabechuo.com

URL http://www.kasukabechuo.com/

アクセス 東武スカイツリーライン「一ノ割」駅から徒歩5分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付ております。記載のメールアドレスへ担当者宛にご連絡ください。ご希望の日にて病院見学を調整します。

是非一度病院に来て、研修医の声と病院の雰囲気を体験してください。

11 越谷市立病院

病院の概要



- 医師数（研修医を除く）75名（うち指導医数 23名）
- 研修医数 1年目 5名 2年目 5名
- 研修医の主な出身大学 順天堂大学・獨協医科大学・東京大学・
広島大学・岡山大学・長崎大学・信州大学・
日本医科大学・関西医科大学・
中国大連医科大学
- 診療科 内科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科
外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産科
婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 917名 ● 1日平均入院患者数 340名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver.1.1)、日本内科学会教育関連病院、
日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本呼吸器科学会認定施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、
小児科専門医研修施設 ほか

研修プログラムの特色

越谷市立病院初期臨床研修プログラムは、市中病院と大学病院で臨床研修を積むことができる内容となっています。

当院内での研修では、募集人数が8人の少数制のため、マンツーマンで一般的な症例や各種手技に積極的に取り組んでいただけます。

また、選択診療科が40週あり、希望者は2年目に順天堂大学医学部附属病院（順天堂医院・練馬病院・浦安病院・越谷病院）などで研修を積むことができ、研修医の将来における希望に応じた、より充実した研修を可能とする構成となっています。



プログラム例 越谷市立病院初期臨床研修プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科(24週)				小児科(6週)		外科(6週)		産婦人科(4週)	麻酔科(4週)	救急部門(8週)	
2年目▶	精神科(4週)	地域医療(4週)	救急部門(4週)	選択診療科(40週)								

※ローテーションは順不同

※内科研修は、一般内科8週、呼吸器科4週、循環器科4週、消化器科4週及び神経内科4週で実施

※救急部門研修は、救急科8週及び麻酔科4週で実施

※一般外来研修は、一般内科、一般外科、小児科で並行研修により実施

※選択診療科(選択科目)は、(一般)内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、(一般)外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床検査科(病理診断科)及び精神科の中から選択し、1科4週以上のまとまった期間を基本に実施

研修医の処遇

- 給与▶ 月給 1年目：約30万円、2年目：約31万円（地域手当含む。毎年1月1日に昇給あり。給料表等改正時に金額変更の場合あり。）
期末勤勉手当（賞与） 1年目：約85万円/年、2年目：約140万円/年
※期末勤勉手当は年間4.5月（令和2年度見込）で計算
- 諸手当▶ 住居手当、通勤手当、扶養手当、当直手当、退職手当等を該当者に支給
- 保険▶ 埼玉県市町村職員共済組合保険、地方公務員災害補償法適用
- 勤務時間▶ 8時30分～17時
- 当直▶ あり（月5回程度原則希望制）
- 休暇▶ 年次有給休暇（20日/年）、夏季特別休暇 等
- 宿舎▶ なし
- その他▶ 埼玉県市町村職員共済組合が実施する各種共済事業（レクリエーション施設・保養施設割引制度、各種給付・保険・年金制度）が利用可能

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院（東京都文京区）
- ・順天堂大学医学部附属浦安病院（千葉県浦安市）
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院（東京都練馬区）
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院（埼玉県越谷市・精神科）
- ・リハビリテーション天草病院（埼玉県越谷市・地域医療）



当院の魅力

プライマリ・ケアの研修に適した病院です。

救急・高度・特殊医療を中心に地域の医療機関との連携を重視しつつ、基幹病院として地域医療の充実に努めています。各種学会専門医等の認定のための研修病院であり、救急患者も多く、プライマリ・ケアの研修に適した病院です。また、平成30年9月には（公財）日本医療機能評価機構より病院機能評価3rd G: Ver.1.1として更新の認定を受けました。



研修責任者から



臨床研修管理委員長
木下 恵司

当院の研修の特色は次の3点に集約できます。

① common diseaseが多数経験できること

② 基本的手技が身につくこと

③ 2年目の選択期間に臨床研修協力病院である順天堂大学医学部附属病院での研修が可能であること

①については、一般市中病院であり、医療連携などで紹介されてくる患者さんも多く、総合診療科での研修も含め、common diseaseが多数経験できます。

②については、研修医の数が比較的少ないため、基本的手技を多く経験できます。

③については、大学病院において最新医療やより専門的な臨床経験を積むことができます。

当院の指導医は協力を惜しみません。意欲に燃えた研修希望者のご応募をお待ちしています。

先輩研修医から



研修医（平成30年度修了）
奥村 隼人

当院の研修プログラムは、自由度が高く、大学病院でも研修することができるため、自分で目標を立てて研修を組み立てたい人にとっては大変よいものだと思います。私は将来の志望科に役立つような科を多く選択し、また、後期研修先として考えていた順天堂医院（大学病院）の志望科を回らせていただくなど、希望どおりのプログラムで研修することができました。

また、医師はもちろん、看護師、技師や事務の方も研修医に対して協力的で、大変有意義な2年間を過ごすことができました。

当院の研修プログラムの特徴は、自由度がとても高く、将来を考えた研修ができるということです。2年目は自由に診療科を選択でき、将来的に志望する診療科をすべて選択することも可能です。また当院は順天堂大学附属病院の協力施設であり後期研修先を視野に入れた研修が可能です。研修中に学ぶべき基本的手技はもちろんのこと、専門的な知識や手技まで手とり足取り教えてもらうことができ、有意義な研修生活を送ることができます。

医師だけでなく、看護師、技師などコメディカルとの距離も近く、チーム医療を通して医療を学べることは当院の初期研修の強みだと思います。興味ございましたら、ぜひ一度見学にいらしてください。



研修医2年目
野田 裕太郎



女性医師支援コーナー

・院内保育室の設置（臨床研修医利用実績あり）・産前、産後休暇／育児休業制度

《女性研修医（平成28年度修了）からのコメント》

私は初期臨床研修期間中に妊娠しました。体調が優れないときや造影検査・放射線注射で被曝の心配があるときなどは、同期の研修医の仲間や先生方に助けてもらい、出産数週間前のぎりぎりまで研修を続けることができました。出産後も、比較的早期に復帰することができ、多くの方々の支えで研修を2年間で無事に修了することができました。 研修医（平成28年度修了）坂本 陽子



連絡先 越谷市立病院

事務部庶務課庶務担当 古川貴之

〒343-8577 越谷市東越谷十丁目3番地

TEL 048-965-2221 (代表) FAX 048-965-3019

E-mail shomu@city.koshigaya.lg.jp

URL <http://www.mhp.koshigaya.saitama.jp/>

アクセス 越谷駅東口から朝日バス「市立病院行き」「吉川駅北口行き（市立病院経由）」「総合公園行き」乗車約7分
：南越谷駅北口から朝日バス「花田行き」「市立図書館行き」乗車約15分
：新越谷駅東口からタローズバス「東埼玉テクノポリス行き」乗車約12分

i 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

・病院見学は随時実施

病院の概要



- 医師数（研修医を除く）333名（うち指導医数 145名）
- 研修医数 1年目 45名 2年目 40名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学・岩手医科大学・大分大学・金沢医科大学・北里大学・杏林大学・群馬大学・埼玉医科大学・佐賀大学・産業医科大学・滋賀医科大学・聖マリアンナ医科大学・帝京大学・東海大学・東京女子医科大学・東邦大学・獨協医科大学・鳥取大学・新潟大学・日本医科大学・弘前大学・北海道大学・山梨大学・琉球大学・中国延辺大学
- 診療科 糖尿病内分泌・血液内科 呼吸器・アレルギー内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 脳神経内科 小児科 皮膚科 総合診療科 外科 整形外科 心臓血管外科 呼吸器外科 小児疾患外科治療センター 産科婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 泌尿器科 形成外科 乳腺科 救急医療科（救命救急センター） 麻酔科 リハビリテーション科 集中治療科 子どものこころ診療センター 遺伝カウンセリングセンター リプロダクションセンター 臨床検査部 放射線科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 1868.6名 ● 1日平均入院患者数 724.6名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院（埼玉DMAT指定病院）、地域がん診療連携拠点病院

研修プログラムの特色



- ①厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身につけるために、プライマリケア習得を各科カリキュラムの基本としています。
- ②必修科目履修では、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間には、当院が標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院で標榜する診療科も選択研修できます。また、小児科、産科婦人科や外科系に特化したプログラムも設けています。
- ③専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
- ④臨床研究の基礎トレーニングができます。
- ⑤医師としてのキャリア構築につながります。

プログラム例 一般プログラム（募集定員40名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科						救急部門		外科		麻酔科	
2年目▶	小児科	産科婦人科	精神科	地域医療	希望履修選択科目							

・ローテーション順は各自によって異なります。詳細はお問い合わせください。
 ・その他 小児科プログラム（定員：2人） 産科婦人科プログラム（定員：2人） 外科系プログラム（定員：6人）

研修医の処遇

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- 給与 ▶ 月額34万円（一律支給）※月額には時間外手当8万円分を含む
- 手当 ▶ 当直手当
- 保険 ▶ 日本私立学校振興・共済事業団（公的医療保険/公的年金）、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（施設）加入
- 勤務時間 ▶ 原則8:50~17:10
- 当直 ▶ あり（4回程度/月）
- 休診日 ▶ 第3土曜日、日曜日、国民の祝祭日、開学記念日、年末年始
- 休暇 ▶ 有給休暇（1年次：15日間、2年次：17日間）
※年5日間のフレックス休暇を含む
- 宿舎 ▶ あり（有料）
- その他 ▶ 学会、研究会への参加費用支給、定期健康診断、採用時健康診断、各種予防接種 ほか

- ・獨協医科大学病院
- ・獨協医科大学日光医療センター
- ・春日部厚生病院
- ・久喜すずのき病院
- ・越谷市立病院
- ・越谷市夜間急患診療所
- ・越谷ハートフルクリニック
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- ・新越谷病院
- ・東埼玉総合病院
- ・深谷赤十字病院
- ・北辰病院



当院の魅力

県内最大規模の病院です！他大学出身者多数！

当院は交差する二つの路線、JR南越谷駅と東武新越谷駅から徒歩3分程の場所に位置し、交通の便が極めて良いところです。病床数は病院全体で923床と県内最大規模で、手術室も22室あり、最先端の機器を導入しています。県内外から多くの患者さんが訪れ、大学病院でありながら地域医療を支える役割も担う、埼玉県東部の中核病院です。

研修プログラムは、一般プログラムの他に小児科・産科婦人科・外科系のプログラムを備えています。希望履修科目選択期間では、当院および獨協医科大学病院が標榜するすべての診療科・部のどれをも選択することができ、ローテートの順番も、できる限り皆さんの希望に添えるよう調整しています。将来進みたい診療領域が決まっていなくても、既に決まっている方でも、研修期間でしか経験できない、あらゆる科目の知識に触れることができるプログラムです。

研修医の出身大学は様々ですが、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、切磋琢磨しています。オン・オフをうまく切り替えながら、のびのびと研修している研修医が多いのも、当院の特徴です。



研修責任者から



臨床研修センター長
松島 久雄

当院は埼玉県越谷市に位置し、埼玉県東部地域（人口180万人）の基幹病院として地域医療の重要な役割を担っております。病床数は一般病床923床、手術室は22室と県内最大規模です。大学病院でありながら、市中病院のような研修が魅力的であり、臨床能力のみならず、医師としての基本的価値観を身に付けることを目的としたプログラムを運用しています。一般、小児科、産科婦人科に加え、2020年度より多種多様で豊富な外科症例を経験できる外科系プログラムを開始しました。丁寧な指導、精神面でのサポート、充実したカンファレンス、off the jobトレーニングなど要望に応じてUp to Dateな研修を心がけています。

全国各地の卒業生を幅広く受け入れており、2021年度のマッチングでは130名を超えるご応募をいただきました。都心へのアクセスが良く、学会参加や休日のリフレッシュにも適した環境です。獨協医科大学埼玉医療センターでの充実した卒後研修をお勧めします。

先輩研修医から



研修医1年目
富樫 裕子

獨協医科大学埼玉医療センター研修医1年目の富樫裕子です。

私は、幅広い診療科を回ることのできる自由度の高い研修プログラムに魅力を感じ、この病院を選びました。私は、大学時代からマイナー科を志望していたので、研修の早い段階からマイナー科を学ぶことができ、とても満足度の高い研修生活を送っています。

当院の他の魅力としては、病院全体の雰囲気がとても良いところです。皆さんも、ぜひ一度病院見学に来てみてください。研修医一同楽しみにお待ちしております。



研修医1年目
山口 雅史

初めまして。獨協医科大学埼玉医療センター研修医1年の山口です。

当院の魅力としては、大学病院であり幅広い症例を見ることができ、その上自分のやる気次第で病棟管理や手技など色々経験できるという事です。その際も先生方が手厚くサポートして下さい、安心して働くことが出来ます。病院の雰囲気もよく先生方やコメディカルの方も優しい方ばかりです。同期の出身校も様々であり、出身校関係なく皆良く研修しております。

興味のある方は是非一度病院見学に来てみてください。

研修医一同楽しみにお待ちしております。



女性医師支援コーナー

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通し、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週3回24時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。

他に、初期研修修了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント（後期研修）の身分を保持したまま、週20時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。また、保育所利用などを含め、勤務継続のための相談や、短時間勤務経験者からアドバイスをもらいたい場合、女性医師支援センターが窓口となり、先輩医師に取りつぐことも可能です。

(女性医師支援センターサイト：<http://www.dokkyomed.ac.jp/jyoseishi-k/index.html>)



連絡先 獨協医科大学埼玉医療センター

臨床研修センター事務室

〒343-8555 越谷市南越谷2-1-50

TEL 048-965-7842 (直通) FAX 048-965-9356

E-mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp

URL <http://www2.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/index.html>

アクセス JR武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅から徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学のお申込み手順

①左記URLよりサイトへアクセス

②メールフォームにてお申込み

※見学は随時受け付けております。

詳細はお問い合わせください。

Facebookページ：

<https://www.facebook.com/dokkyo.k.kenshu>

13 草加市立病院

病院の概要



- 医師数（研修医を除く）94名（うち指導医数 28名）
- 研修医数 1年目 10名 2年目 7名
- 研修医の主な出身大学 東京医科歯科大学 ほか
- 診療科 内科 血液内科 内分泌・代謝内科 膠原病内科
腎臓内科 呼吸器内科、循環器内科 消化器内科
小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 眼科
脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 歯科口腔外科
麻酔科 精神科 救急科 病理診断科 緩和ケア科
- 1日平均外来患者数 768名 ● 1日平均入院患者数 286.3名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver2.0)、災害拠点病院、救急告示病院

研修プログラムの特色

研修の1年目には8週間ずつ「消化器内科+腎臓内科」「循環器内科+膠原病内科+内分泌・代謝内科」「呼吸器内科+血液内科」「救急科」「外科」「麻酔科」をまわります。2年目には4週間ずつ「小児科」「産婦人科」「精神科」「地域医療」をまわります。残る1年目の4週と2年目の36週は選択制となりますが、内科系・外科系の専門科をはじめマイナー科での研修も可能です。この間に救急当直（20回以上/36週）の研修も行います。外来研修は内科・外科・小児科研修中に一般外来での診療を0.5日/週で行うのに加え、「地域医療」研修期間中に診療所で全日4日間の診療を行います。研修スケジュールは研修医の志望に合わせて組み替え可能で、研修途中であっても希望が変われば研修予定科の変更も可能です。研修後の進路については自由ですが、当院で正規職員（地方公務員）としての身分で採用が可能です。また、東京医科歯科大学各科医局への入局の相談にも応じています。



プログラム例 草加市立病院臨床研修プログラム(募集定員6名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科						救急科	外科	選択科(麻酔科)	選択科(自由選択)		
2年目▶	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科(自由選択)救急当直20回							

※1 産婦人科は春日部市立医療センターで研修を行っています。

※2 精神科は東京足立病院で研修を行っています。

※3 地域医療はおおた泌尿器科内科クリニック、メディクス草加クリニックで研修を行っています。(地域医療の外来研修のみ あや総合内科クリニック)

研修医の処遇

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- 給与▶ 月額1年次34.7万円/月、2年次35.9万円/月（諸手当除く）
- 諸手当▶ 地域手当、期末手当、当直手当、通勤手当 他
- 保険▶ 健康保険（協会けんぽ）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、公務災害適用、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 原則 8時30分から17時
- 当直▶ あり（30~50回/年）
- 休暇▶ 有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）、夏季休暇6日（令和2年度実績）
- 宿舎▶ なし
- その他▶ 身分はフルタイム会計年度任用職員となります。特定の条件を満たした場合、埼玉県市町村職員共済組合保険に加入となる他、退職手当の支給対象となります。

- ・東京足立病院
- ・おおた泌尿器科・内科クリニック
- ・メディクス草加クリニック
- ・あや総合内科クリニック
- ・春日部市立医療センター



当院の魅力

年間5,000件以上の救急搬送受入

当院が位置する草加市は東京都足立区に隣接し、若い世代の多く住む人口約25万の街です。当院は地域で唯一の総合病院機能を持つ中核病院であり、様々な疾患が多く集まります。診療科も26科と充実し、多くが学会研修認定を受けています。関連大学である東京医科歯科大学と連携した医療チームを形成し、これまで大きな成果をあげてきました。特に救急医療に力を入れており、内科系・小児科系・外科系・循環器内科系・脳神経外科が連日当直しており、毎年約5,000件以上の救急搬送を受け入れています。



研修責任者から

当院では、研修医を当院で単独採用するほか、東京医科歯科大学の協力型病院として1年目2年目とも4人ずつ引き受けており、適切な人数での研修ができます。



プログラム責任者
菅原 祐之

また、常勤医師数は病床数（380床）に比べて多く、卒後7年以上の医師も50人以上在籍しており、研修医に対し綿密な指導を行えるのも当院の強みです。臨床研修を通じてコモンな病態・疾患を幅広く経験できることも地域中核病院としての当院の魅力です。手術や各種検査も数多く行われており、年間で内視鏡検査及び治療は約5,000件、一般外来の手術は約700件実施されています。研修医のやる気と達成度により、消化器内視鏡、中心静脈穿刺、虫垂炎手術なども指導医のもとで行うことができますので、満足がいく研修ができると確信しています。

先輩研修医から

当院の一番の魅力は、雰囲気が良いことだと思います。上級医の先生方はとても丁寧に指導して下さり、他職種の方も気軽に相談にのって下さいます。また、当院では、1年目に病院にある全ての内科を回ります。幅広い疾患に関して早期に学ぶことができ、2年目の自由選択期間に特に力を入れて回りたい診療科を選択できる点もとても魅力的だと思います。是非一度見学にいらして、病院の雰囲気に触れて頂ければと思います。



研修医1年目
相馬 麻利

私は東京医科歯科大学のプログラムで研修中です。当院は草加・八潮地域を支える総合病院で、病診、他職種連携の現場に携わることができます。また、様々なcommon diseaseを経験でき、標準的な知識や手技を身につけられます。一方、大学病院との繋がりも強く、academicな症例も経験できます。内科カンファレンスやレントゲンカンファレンスなど、プレゼン・読影力を鍛える機会もごさいます。貴重な研修期間を頂いていることを実感しております。



研修医1年目
東中園 真也



女性医師支援コーナー

草加市立病院では心臓・脳血管センター5階に院内保育室を設置し、医療スタッフの0歳から就学前までの乳幼児を保育しています。



連絡先 草加市立病院

事務部経営管理課

〒340-8560 草加市草加2-21-1

TEL 048-946-2200(代表) FAX 048-946-2211

E-mail soka-hosp2200@max.odn.ne.jp

URL <http://www.soka-city-hospital.jp/>

アクセス 東武スカイツリーライン草加駅から徒歩18分、バス5分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学：随時受入可能（事前予約）。
詳細は当院ホームページをご確認ください。

病院の概要

- 医師数（研修医を除く）39名（うち指導医数 20名）
- 研修医数 1年目 5名 2年目 4名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学・川崎医科大学・熊本大学・昭和大学・聖マリアンナ医科大学・東京大学・東邦大学・新潟大学・日本大学
- 診療科 内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科 内分泌代謝科 リウマチ科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 肛門外科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 精神科 リハビリテーション科 麻酔科 消化器外科 救急科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 647.5名 ● 1日平均入院患者数 253.3名
- 主な認定施設 日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定教育施設、日本腎臓学会研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本呼吸器学会認定関連施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設



研修プログラムの特色

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

三郷市は近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、当院は老人はもちろん青壮年・婦人・小児を含めた多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできる事が特徴です。



プログラム例 卒後臨床研修 地域医療総合プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	総合内科		外科			総合内科			救急		整形外科		
2年目▶	小児科	産婦人科	精神科	地域医療			選択						

- ・ 基幹型臨床研修病院での研修期間は最低52週
- ・ 協力施設での研修は最大12週
- ・ 必修科目（内科計24週、外科8週、整形外科8週、救急8週+急外来・当直研修4週、地域医療12週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週）
- ・ 選択科目（上記科に加えて、総合内科、循環器内科、消化器内科、泌尿器科、臨床病理科、麻酔科）

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：354,000円/月、2年次：400,000円/月
- 諸手当▶ 当直手当(1年次20,000円、2年次32,000円)、家族手当(最初の1名12,000円、以降1名につき8,000円)
- 保険▶ 組合健保（東京医業健保組合）、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 8時30分～17時30分
- 当直▶ あり（2~4回/月）
- 休暇▶ 日祭日、土曜日午後、土曜日午前は隔週で休み（4週6休）、夏期休暇（5日間）、年末年始休暇（5日間）、年次有給（初年度10日間）他あり
- 宿舎▶ 希望者は病院徒歩2分の寮に入寮可
- その他▶ 給与は住宅・研修手当込み、2020年度実績。働き方改革による処遇変更を検討中。
 - ・ 法人独自の共済制度あり
 - ・ 学会保障あり（費用：年間10万円まで、日数：年間7日まで）
 - ・ 採用された研修医に対し、月の給与額を上限として引越し料金を支給

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 松戸市立総合医療センター
- ・ 東京女子医科大学東医療センター
- ・ 柳原病院
- ・ 豊島病院
- ・ 東京都健康長寿医療センター
- ・ グループ内医療機関多数



当院の魅力



研修プログラムの特徴

1年目の総合内科の研修は連続して4ヶ月の研修を行うことで、入院から退院まで多くの症例を一連で経験することができます。

また、整形外科を必修としています。地域病院として腰痛や関節痛を訴える患者さんが多く、プライマリ・ケアの部分で今後の専門分野によらず、初期研修のうち2ヶ月は経験をしてほしい、との思いから必修として組み込んでいます。

2年目の地域医療研修は3ヶ月を必修とし、都内100床規模の協力型病院で地域に密着した研修として組み込んでおり、外来診療や訪問診療を通じてプライマリ・ケアを学ぶ機会としています。

外来研修は、1年次後半の8ヶ月と地域医療の3ヶ月で週1単位の外来枠を持つようにしているため、初診の患者さんや慢性疾患の管理を継続的に学ぶことができます。

研修指導の特徴として、指導専任の医師を配置しています。総合内科は週2回、救急は週1回、それぞれベッドフリーの指導専任医が指導にあたっています。指導医がベッドを受け持っている、どうしても忙しいタイミングなどで相談しにくい場面も出てきますが、指導専任医を配置することで、ショートプレゼンなどを通じてコンサルトを行ったり、じっくりと時間をかけて問題解決を行うことができます。

研修責任者から



みさと健和病院院長/
初期研修プログラム責任者
岡村 博

私たちはずっと初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修病院の指定を受けましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました（私もその一人です）。当時、大学病院が主流の中、最小の病床数で指定を受けることができたのは、外来研修や往診研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたのだと思います。研修制度に移行後、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅するプログラムを作ってきました。

どんな医師になりたいのか、自分の進むべき方向を決める時期が初期研修期間であり、臨床研修病院はその手助けをするところです。初期研修の目標は医療技術の獲得だけではなく、チーム医療の実践、患者さん目線の思考、取り巻く環境への配慮など、bio-psycho-socialといわれる複合的な問題解決能力の獲得も含まれます。

地域の人たちの健康を守り、病める人たちの支えになりながら、実は自分たちも成長させてもらっているのです。臨床研修というものはずっと続いていくものであり、そういう視点を大切にしながら、常にon the job trainingの気持ちを持ち続けたいものです。

先輩研修医から



外科専攻医
栗原 惇

2019年度に当院初期研修を修了し、現在、外科専門医の資格取得を目標に日々頑張っています。

当院では救急や当直、外来を通じて、患者さんのファーストタッチを経験できます。主訴は何かを丁寧に聞き取り、それに対して適切な処置・対応をする事が治療の第一歩となるためとても重要です。

病棟では診療科が細分化されていないため、総合診療内科として幅広い疾患を経験出来ます。1つの科で2カ月以上ローテーションするため、自分のペースで確実に診療能力を身に付けることが出来るのも利点の一つです。鑑別疾患を挙げ、必要な検査を行い、治療方針を立て、実際に治療していくという一連の診療行為に対して、コメディカルスタッフと共にチームの一員として携わることで、責任感を持って仕事に取り組むことが出来ます。もちろん、何をやるにしても上級医がついているため必ずフォローをしてもらえますし、フィードバックがあるため確実にステップアップしていくことが出来ます。

また、患者さんの普段の生活環境における問題点にも着目し、理学療法士や社会福祉士のスタッフと退院後のフォローアップについて考える機会も多々あります。入院・治療・退院・その後のフォローアップに至るまで、担当医として患者さんに深く関わることが出来ます。

医療過疎地の埼玉では、場に応じて適切な対応を行える医師が必要とされています。そんな医師を目指して私達と一緒に働いてみませんか？



女性医師支援コーナー

子育て中の方は、当直や勤務時間についてはプログラム修了を目指して相談に応じます。

- ・院内保育…にこにこ保育園では、0～3歳児までのお子さんをお預かりします。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。
- ・病児保育…0～9歳までのお子さんをお預かりします（感染症又は感染症疑いは除く）。お子さんの体調が悪い時なども休まず働くことが可能です。

連絡先 みさと健和病院

医局事務室 医学生担当

〒341-8555 三郷市鷹野4-494-1

TEL 048-955-7171 (代表)

FAX 048-948-0007

E-mail gakusei@kenwa.or.jp

URL http://gakusei.kenwa.or.jp/

アクセス JR/新京成松戸駅よりバス12分、JR/京成金町駅よりバス15分、つくばエクスプレス三郷中央駅よりバス12分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・当院は平日随時・希望内容応相談・交通&宿舎補助ありで受け入れています。まずは左記までお問い合わせください。
- ・web研修説明会を平日の希望日時にて開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）33名（うち指導医数 22名）
- 研修医数 1年目 2名 2年目 2名
- 研修医の主な出身大学 東邦大学・日本医科大学・産業医科大学・千葉大学・長崎大学・鹿児島大学・東京医科歯科大学・東京慈恵会医科大学・愛知医科大学・中国医科大学
- 診療科 内科 循環器内科 糖尿病・内分泌内科 腎臓内科 神経内科 外科 心臓血管外科 消化器外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 546名 ● 1日平均入院患者数 244名
- 主な認定施設 日本内科学会教育関連施設、日本麻酔科学会認定病院、日本循環器学会認定専門医研修施設、三学会構成心臓血管外科専門医制度関連施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設 ほか



研修プログラムの特色

当院の臨床研修プログラムは、病院理念である『愛し愛される病院』に基づき、地域に開かれた患者中心の医療を推進する病院として、全ての臨床医に求められる医師としての基本的価値観及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を習得することを目的としています。研修医は少人数制を採用し、指導医との距離が近く、様々な処置や手技を経験できるチャンスも豊富であり、実践的な研修を実施できることも当院のプログラムの特徴です。

主に1年次は必修科目（内科・外科・麻酔科・救急科）を中心に研修を実施し基本的な知識、技術、多職種とのチーム医療の必要性の修得を目指します。2年次には、協力医療機関（東邦大・上尾中央総合病院・柏厚生総合病院・三郷ケアセンター・永井マザーズホスピタル・うつみ内科クリニック・クリニックふれあい早稲田）での研修（地域医療・小児科・精神科・産婦人科）や、選択科目（泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・脳外科・整形外科・皮膚科・放射線科）により研修医個々の目指す専門性に沿うよう可能な限り柔軟に対応をしています。

2年間の初期研修を通じて、人間的にも優秀な医師を育成することを第一に考えています。

プログラム 例 三郷中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員3名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科						外科	麻酔科	選択	救急		
2年目▶	地域医療	小児科	精神科	産婦人科	選択							

必修：内科（24週うち外来診療4週含む）、救急（12週）、外科（4週）、麻酔科（4週）、小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）、地域医療（4週）
 選択必修：36週（内科、循環器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）
 ※外科、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、地域医療については、臨床協力病院にて研修可能。



研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1年次：35万円/月 2年次：40万円/月（税込）
- 諸 手 当 ▶ 当直手当、住宅手当
- 保 険 ▶ 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間 ▶ （月曜～金曜）9：00～17：30 （土曜）9：00～13：00
- 当 直 ▶ あり（3～4回/月）
- 休 暇 ▶ 有給休暇（入職3ヵ月後：3日 6ヵ月後：7日 初年度10日支給）、その他（特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業）
- 宿 舎 ▶ あり。当院規定により補助あり。
- そ の 他 ▶ 待遇：常勤。医療費見舞金制度あり。保養所（軽井沢・山中湖・那須）利用可。病院保育所利用可。その他福利厚生制度あり。

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- ・東邦大学医療センター 大森病院
- ・東邦大学医療センター 大橋病院
- ・上尾中央総合病院
- ・柏厚生総合病院
- ・三郷ケアセンター
- ・永井マザーズホスピタル
- ・うつみ内科クリニック
- ・クリニックふれあい早稲田



当院の魅力

優しさと思いやりのある質の高い安全な医療の提供を目指して

当院は、埼玉県の南東部に位置し、東京都、千葉県と隣接しており、東京都心から20km程の距離にあります。つくばエクスプレスの開通により、ベッドタウンとして近年急速に発展している三郷市の急性期医療の中核病院として、地域住民に貢献できる医療の提供を目標として35年間の歴史を重ねて参りました。

三郷市の基幹病院として17診療科を標榜し、病床数は289床（一般病床223床、回復期リハビリテーション病棟58床、ICU 8床）、血液浄化センター（27床）となっております。急性期医療については、動脈硬化性疾患（狭心症・心筋梗塞・急性心不全・脳梗塞・脳出血・くも膜下出血等）や腹部外科疾患（吐血・下血・急性腹症等）、並びに整形外科疾患（骨折・外傷等）に迅速に対応し、二次救急医療機関として夜間帯においては常に3～5科（内科・外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・循環器内科）の診療体制を整備しています。

常に先進的な医療を追求する姿勢を持ち、新たに再生医療への取り組みを開始しました。ひとりひとりが質の高い医療の提供をする為に、高度な知識と技術を兼ね備えたメディカルスタッフの育成にも力を注ぎ、病院機能の充実や質の向上に積極的に取り組みます。

研修責任者から



プログラム責任者
松岡 直樹

三郷中央総合病院は「愛し愛され信頼される病院」を理念とし、地域医療の中核をなす急性期病院として地域に根をしっかりと張り歩んで参りました。

当院の初期研修の特徴は、研修医が少ないことで指導医と研修医の垣根が低く、信頼関係を築きながら研修医が主体となってプライマリケアから救急医療、そして入院診療まできめ細かい研修ができることだと自負しております。

更に当院での研修に加え、大学病院や地域の中核病院、地元クリニック等が研修協力施設になっており2年間を通じて総合的な研修を行っています。

医師としての第一歩を踏みだす若き研修医と共に育っていく病院でありたいと思っています。臨床での研修のみならず、学会や研究会への参加等、積極的にチャレンジする姿勢を全力でサポートすることをお約束します。

まずはお気軽に病院見学にいらしてください。

先輩研修医から



研修医1年目
Y. M

当院の初期研修は一般症例に触れる機会が多い為、実践的な研修を求める研修医にはあっていると思います。

自分の学びたいことをじっくり研究する時間も確保できますので、興味のある分野をより深く学ぶこともできます。先生方はもちろん、スタッフの方々も非常に丁寧に指導してくださり、困ったときにはいつも手を差し伸べてくれます。

当直は5科で行い、内科の当直に入れば内科の救急患者様が来ますので、初期研修医として予想がつきやすく、予習できることでパニックになることがありません。

まずは見学していただき、初期研修医と話をしながら当院の雰囲気を感じていただければと思います。

研修医が少ないため、経験豊富な上級医の先生方から丁寧に指導いただけるうえ、ローテーション中の科以外の先生もよく気にかけて色々教えてくださいます。先生方のみならずコメディカルの方々も優しく沢山のことを教えてくださいます。各科、各職の垣根が低いのが大きな魅力だと感じております。手技や診療の機会も多く、責任感を持って取り組むことができます。

まずは一度見学にいらしてください。



研修医1年目
M. S



女性医師支援コーナー

三郷中央総合病院では多くの女性医師が勤務しており、今後も活躍の場は増加していくと考えています。女性医師は、経験を積み更に輝けるとされる年代に結婚や出産、育児等のライフイベントを迎え退職を余儀なくされることもあります。その為、当院では女性医師のキャリアアップを支援する体制を整備することが大切であると考えています。

当院では女性医師が安心して勤務できる為に、短時間勤務制度、院内保育の設置、当直の免除等様々な支援を行っています。過去において、多くの女性研修医を採用し柔軟な対応により初期研修をサポートしてきました。安心して研修を実施できる環境がありますので、どうぞご安心ください。

連絡先 三郷中央総合病院

臨床研修採用担当

〒341-8526 三郷市中央四丁目5番地1

TEL 048-953-1321 (代表) FAX 048-952-7279

E-mail ishi-jinji@mchp.jp

URL http://mchp.jp/

アクセス つくばエクスプレス線三郷中央駅から徒歩8分

i 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学】

随時受付しています。
左記連絡先までお電話をいただくか、E-mailにてお申込みください。
医学生であれば、どなたでもお申込みいただけます。



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）87名（うち指導医数 31名）
- 研修医数 1年目 6名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 慶応義塾大学・琉球大学・新潟大学・産業医科大学・北海道大学・岩手医科大学・千葉大学・秋田大学
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科 内分泌内科 神経内科 腎臓内科 心療内科 外科 呼吸器外科 消化器外科 乳腺外科 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 神経精神科 リウマチ科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 病理診断科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 907.9名 ● 1日平均入院患者数 257.9名
- 主な認定施設 卒後臨床研修評価認定施設、埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会認定医教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院



研修プログラムの特色

埼玉メディカルセンターにおける初期研修プログラムは、研修医に必要な基本的医学知識と技術を修得すると同時に、医師として望ましい態度と習慣を身につけること、能動的に診断、治療を行える能力を培うことを目的としています。1年次の内科では、呼吸器・循環器・膠原病・消化器・神経内科・内分泌・代謝・血液の内科4病棟をローテートし、すべての内科疾患を経験します。各病棟では、それぞれの専門医・指導医に指導を受け、最新の知識を学びます。外科は食道、胃、大腸、肝・胆・膵、すべてに専門医、指導医がいます。手術数が多いので、毎日手術に入ることも可能です。麻酔科では、気管挿管などの手術や全身管理を学び、知識と技術のある程度身につけたうえで救急を行います。小児科、産婦人科、神経科、地域医療の研修について小児科では小児のプライマリ・ケアについて十分な研修を積めます。また、地域医療では、診療所で一般外来診療や在宅医療を学べるようになっています。

プログラム例 埼玉メディカルセンター臨床研修プログラム（募集定員6名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科(28週)							救急(4週)	麻酔科(4週)	外科(4週)	選択(12週)		
2年目▶	産婦人科(4週)	小児科(4週)	精神科(4週)	地域医療(4週)	救急(8週)		選択(28週)						

・必修：内科28週、救急12週、麻酔科4週、外科4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週
 ・その他：自由選択40週



研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：約26万円/月、2年次：約28万円/月
- 諸手当▶ 時間外手当、休日手当
- 保険▶ 組合健保（独立行政法人地域医療機能推進機構健康保険組合）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 8時30分～17時15分
- 当直▶ あり（約3回/月）
- 休暇▶ 有給休暇（1年次：年15日、2年次：年20日）、土日、祝日、年末年始、夏季休暇
- 宿舎▶ なし
- その他▶ 研修医室あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・さいたま市立病院
- ・埼玉協同病院
- ・国立病院機構 東埼玉病院
- ・国立病院機構 埼玉病院
- ・さいたま市民医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・大宮厚生病院
- ・浦和民主診療所
- ・JCHO湯布院病院



当院の魅力

多様な症例を経験し、多職種の中での医師の基本的な姿勢を学ぶ

埼玉メディカルセンターは政令指定都市「さいたま市」の中核病院として395床を有する急性期医療中心の病院です。初代院長がかかげた「和の精神」をモットーに全職員一丸となって日々の職務に当たっています。各専門分野では常に最先端の医療を提供しながら、一方で、健康予防医療業務を担う健康管理センター、地域医療の緩衝地帯となる地域包括ケア病棟、その他、老人保健施設も併設しており、超高齢化社会に突入した地域の医療のニーズにも対応しています。1968年に臨床研修病院の指定を受け、以来若い医師の教育にも携わってきました。現在、内科系外科系とも多くの学会の認定教育施設を取得しており各分野の専門医が研修医の指導に当たっています。多様な症例を経験し基本的な知識と技術を習得するとともに、患者に寄り添う精神をはぐくみます。さらに、メディカルスタッフとの関わりを通して多職種の中での医師の基本的姿勢を学びます。

研修責任者から



プログラム責任者
森本 二郎

毎年4月になると卒業したばかりのフレッシュな研修医がキラキラとした目で我々の前に登場します。我々指導医も身の引き締まる瞬間です。その研修医も2年の研修を終える頃には皆驚くほど成長し医師らしくなり、それは全ての病院職員にとって大きな喜びであります。研修医は2年間で、知識や技術、多職種との協調性など、非常に多くのことを学ぶ必要があります。当院の研修プログラムでは、それらを学ぶ機会を十分に提供し、選択期間は研修医の主体性を重視し希望に合わせて可能な限り柔軟に対応するよう心がけています。前向きで意欲のある皆様をお待ちしています。

先輩研修医から



研修医2年目
中島 幸彦

当院は上級医との距離が近く、common diseaseから専門性の高い症例まで広く経験できる病院であり、医師としての土台を築くのに最適な環境が整っています。一方、市中病院でありながら、眼科、整形外科、形成外科といった専門科も充実しているのも強みです。研修プログラムは自由選択期間が40週と長く、個人に合ったプログラムを作ることができます。是非一度見学に来て、当院の良さを感じてください。お待ちしております。

皆さんはどのような病院で働きたいと考えていますか？もちろん人によって病院選びの基準は異なってくるとは思いますが、自分が“いい雰囲気だなと感じる”ことが病院選びで大事なポイントだと思います。埼玉メディカルセンターは周囲の人にとっても恵まれている環境です。医師となって数ヶ月経った今でも自分のできなさに悔しい思いをすることが度々ありますが、多くの人の支えがあって、当院の研修医1年目6人は頑張っています。

ぜひ一度病院見学に来ていただき、病院の雰囲気の良さを感じていただけたら嬉しいです。



研修医1年目
八木 梨樺



女性医師支援コーナー

- ・産前産後休暇
- ・育児休業
- ・育児短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・子の看護休暇（年間5日間）



連絡先 埼玉メディカルセンター

総務企画課

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-9-3

TEL 048-832-4951(代表) FAX 048-833-7527
E-mail main@saitama.jcho.go.jp
URL http://saitama.jcho.go.jp
アクセス JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時病院見学を行っております。
ZOOMでの見学も第2・4木曜日の17:00～行っております。

17 さいたま市立病院



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）148名（うち指導医数 47名）
- 研修医数 1年目 13名 2年目 12名
- 研修医の主な出身大学 旭川医科大学・秋田大学・岩手医科大学・山形大学・福島県立医科大学・群馬大学・筑波大学・埼玉医科大学・慶應義塾大学・東京女子医科大学・千葉大学・新潟大学・奈良県立医科大学・愛媛大学・大分大学・琉球大学
- 診療科 内科 消化器内科 呼吸器内科 精神科 脳神経内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 血管外科 呼吸器外科 整形外科 リハビリテーション科 脳神経外科 心血管外科 小児外科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科口腔外科 放射線診断科 放射線治療科 麻酔科 救急科 病理診断科 緩和ケア内科
- 1日平均外来患者数 925名 ● 1日平均入院患者数 441名
- 主な認定施設 救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、日本内科学会認定医制度教育病院、日本外科学会認定医制度修練施設、日本小児科学会専門医制度研修施設、日本麻酔科学会認定麻酔指導病院



研修プログラムの特色

当院はさいたま市の基幹病院の1つであり、年間約7,500台の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携（病診連携）に力を入れています。研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得できるよう柔軟なプログラムとなっています。一般コースの1年次は内科（26週）、救急（9週）、小児科（5週）、外科（4週）、麻酔科（4週）、産婦人科（4週）をローテートし、2年次は各自の希望に合わせた選択科を中心に内科、精神科、地域医療、救急をローテートします。2年間を通して内科系、外科系の日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。また、研修医セミナーを毎週開催し、知識の整理や症例検討を行っています。その他、小児科希望者を対象とした小児科・成育医療コースを設けています。



プログラム例 さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（一般コース）（募集定員12名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科						救急	小児科	外科	麻酔科	産婦人科		
2年目▶	内科	精神科	地域医療	救急	選択								

内科：各専門科（循環器、呼吸器、消化器、脳神経、血液、腎臓・内分泌・膠原病）に分かれてローテートします。
 地域医療：①石川県奥能登の4病院（珠洲市総合病院、公立宇出津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院）でのへき地医療研修、②近隣診療所（医療法人明医研ハーモニークリニック）での研修、のいずれかの選択となります。
 精神科：埼玉県立精神医療センターで行います。
 外来研修：内科（2年次）ローテーション中に1週、小児科ローテーション中に1週、外科ローテーション中に4/5週、地域ローテーション中に6/5週、それぞれ並行研修で行います。
 その他 さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（小児科・成育医療コース／募集定員2人）



研修医の処遇

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 給与 ▶ 1年次336,748円/月、2年次354,728円/月（地域手当を含む）
- 諸手当 ▶ 賞与支給あり、通勤手当、宿日直手当
- 保険 ▶ 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、医師賠償責任保険（病院において加入なし）
- 勤務時間 ▶ 8時30分～17時15分
- 当直 ▶ あり（4回/月）
- 休暇 ▶ 年次有給休暇（年10日）、夏季休暇等
- 宿舎 ▶ なし
- その他 ▶ 職員用駐車場あり、定期健康診断あり、白衣・スクラブ支給あり

- ・医療法人明医研ハーモニークリニック
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・珠洲市総合病院
- ・公立宇出津総合病院
- ・市立輪島病院
- ・公立穴水総合病院



当院の魅力

プライマリ・ケアを学ぶ! 豊富で多彩な症例! ～地域完結型医療の要として～

さいたま市立病院は、市民の皆様が安心して暮らせるさいたま市のシンボルとして、地域完結型医療の要となる病院です。人口130万人を有するさいたま市の基幹病院である当院は、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで幅広い医療サービスを提供しており、common disease から学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。内科は消化器、循環器、脳神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液・膠原病リウマチ、感染の各分野をカバーしており、外科は一般・血管外科、消化器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術を行っています。地域周産期母子医療センターを設置し周産期医療、小児医療にも力を入れています。救急医療では令和2年12月に埼玉県内9か所目の救命救急センターに指定されました。そのほか、緩和ケア病棟、精神科身体合併症病棟の設置など充実した医療設備を持ち、安心で安全な医療を提供しています。



研修責任者から



臨床研修管理委員長
神吉 秀明

当院の特徴は急性期病院であること、救急医療を重視していること、がん診療拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急は一次と二次救急、救命救急センターがあり、救急車の受け入れ台数は年間約7,500台です。このような当院の診療内容は、初期臨床研修の目標であるcommon diseaseを多数経験し、primary careにおけるminimal requirementを習得するのにたいへん適しています。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積むことができ、医師としての基本的診療能力、姿勢や態度を身につけることができます。また、最新鋭の医療設備と医療機器が設置され、とくに救急医療の設備が充実しています。さいたま市立病院にはこのように臨床研修に必要な症例、設備、環境が整っています。医学生の皆さん、さいたま市立病院で初期臨床研修をやりませんか。

先輩研修医から



研修医2年目
加賀谷 尽

初期研修医は、ファーストタッチはもちろん、検査・治療の方針を主体的に決めることを求められますが、そのバックでは必ず上級医の先生がチェックを入れ、時間を割いてフィードバックしてくれます。また、研修医が多くの手技を経験できるよう、上級医の先生や看護師さんが忙しいながらも温かな配慮をしてくださっているのを感じ、ますます頑張ろうと思えます。1年間研修を終えてみて、期待通りかそれ以上に毎日恵まれた環境で楽しく質の高い研修が行えていると感じます。皆さん、最高の環境のもとで一緒に働きませんか。

当院は1年目のローテーションのうちに、内科、外科、小児科、麻酔科をすべてまわることができます。多くの科の基礎知識、primary careを学ぶことができ、志望科にこだわらずバランスのいい経験を積めることがなよりのメリットだと思います。同期にも恵まれ、とても充実した初期研修を送っており、当院での初期研修を選んでよかったと改めて感じています。見学に来ていただければ、当院の雰囲気の良いさをお分かり頂けると思います。まずは見学から、お待ちしております!



研修医2年目
岩井 奈緒



女性医師支援コーナー

- ・当院では院内保育室を設置し、0歳から6歳までの乳幼児を対象とした24時間保育を実施していますので、小さなお子様のいる方であっても働くことが可能です。
- ・年次有給休暇のほかに、出産休暇や小さなお子様のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されています。



連絡先 **さいたま市立病院**

病院総務課 秋山泰秀
〒336-8522 さいたま市緑区三室2460
TEL 048-873-4111(代表) FAX 048-873-5451
E-mail hsp-jimukyoku-somu@city.saitama.lg.jp
URL https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html
アクセス JR北浦和駅からバス15分、浦和駅からバス20分、東浦和駅からバス20分

i 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

春休み、夏休みに病院説明会を開催しているほか、年間を通して個別病院見学を受け付けています。申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しています。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

18 さいたま赤十字病院



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）198名（うち指導医数 54名）
- 研修医数 1年目 15名 2年目 15名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学・杏林大学・群馬大学・埼玉医科大学・順天堂大学・千葉大学・自治医科大学・筑波大学・帝京大学・東京大学・東京医科大学・富山大学・東京慈恵会医科大学・徳島大学・獨協医科大学・奈良県立医科大学・新潟大学・日本大学・山梨大学・福島県立医科大学・横浜市立大学
- 診療科 肝・胆・膵内科 消化管内科 呼吸器内科 血液内科 膠原病・リウマチ内科 腎臓内科 糖尿病内分泌内科 総合臨床内科 腫瘍内科 脳神経内科 循環器内科 心療科 小児科 外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 形成外科 リハビリテーション科 放射線診断科 放射線治療科 麻酔科 緩和ケア診療科 口腔外科 病理診断科 救急科
- 1日平均外来患者数 1324名 ● 1日平均入院患者数 525名
- 主な認定施設 総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、基幹災害拠点病院



研修プログラムの特色

- ・ 高度救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修を行うことができます。
- ・ 選択研修期間が40週あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って研修スケジュールを組むことができます。
- ・ 月に1度「研修医ミーティング」を開催し、プログラム責任者と研修医がそれぞれの研修状況について情報共有をします。不安な点や、改善して欲しい点など意見を出し合い、研修医たちの意見を反映したより良い研修環境を作ることができます。



プログラム例 さいたま赤十字病院臨床研修プログラム(募集定員15名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科						外科		選択必修	救急科			産婦人科
2年目▶	小児科	精神科	地域医療	自由選択									

○内科24週（うち4週は総合臨床内科）、外科8週、救急12週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週必修、選択必修4週：以下より1診療科選択（呼吸器外科、乳腺外科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、形成外科）

○自由選択40週（消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、膠原病・リウマチ内科、腎臓内科、総合臨床内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア診療科、救急科、検査部、病理診断科）



研修医の処遇

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 給与▶ 1年次30万円/月 2年次35万円/月
- 諸手当▶ 通勤手当、住宅手当、時間外手当、日・当直手当、賞与（1年次10万円、2年次20万円）
- 保険▶ 組合健保（埼玉県医師会健康保険組合）、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、医師賠償責任保険（病院において加入）※個人は任意
- 勤務時間▶ 8時30分～17時00分
- 当直▶ あり（4回/月）
- 休暇▶ 有給休暇（1年目：10日※入職から半年後に付与、2年目：11日）
- 宿舎▶ なし
- その他▶ 研修医室あり

- ・ 埼玉県立小児医療センター
- ・ 埼玉精神神経センター
- ・ 特別養護老人ホーム ナーシングヴィラ与野
- ・ 高齢者総合福祉施設 敬寿園
- ・ 埼玉県赤十字血液センター
- ・ 埼玉県内保健所
- ・ 原町赤十字病院(群馬県)
- ・ あきもと内科クリニック
- ・ 自治医科大学附属さいたま医療センター
- その他5施設



当院の魅力

研修医の方の声を聞いてみました!

当院は年間を通じて研修医を対象とした院内勉強会（モーニングカンファレンス、感染症勉強会、ERカンファレンスなど）や、手技の習得を目指した実習（縫合実習、CV穿刺講習会など）を開催するため学年を問わず自然と研修医間の雰囲気は良くなります。そこで研修中の先生方に当院の魅力や志望理由を聞いてみました!

- ・研修医の雰囲気が明るくて楽しそうに仕事をしていたこと
 - ・診療科同士が連携できていること
 - ・上級医の先生が優しいです。
 - ・院内がきれい!
 - ・当院は自由な雰囲気が最大の魅力であると思います。どのようなことでもやりたいと伝えればやらせて頂けますし、疑問点も気軽に上級医の先生方へ尋ねることが出来ます。また、職種間の連携がしやすい雰囲気もあり、垣根が低いためとても働きやすいと思います。
 - ・自由度の高いプログラム
 - ・救急対応がとても勉強になると思います!
 - ・充実した教育体制
 - ・common diseaseから高度医療まで幅広く学べる環境です。
 - ・先生方や看護師をはじめメディカルスタッフ、職員の方々が皆さん優しいです。
 - ・内科、外科、救急科、マイナー科をバランスよく研修できる点
 - ・研修医室の雰囲気が良い。
- 様々な意見がありますね!是非見学にお越しの上確かめていただけたらと思います。



研修責任者から



プログラム責任者
甲嶋 洋平

さいたま赤十字病院は、人口130万人のさいたま市の基幹病院として急性期から慢性期の医療を幅広く担っています。急性期では、3次救急患者さんに対応するため高度救命センター、riskの高い妊産婦さんに対応するため周産期センターがあります。またER体制をとっており、24時間積極的に患者さんの受け入れを行っております。慢性期では、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院に認定されており、全科にわたり専門的に患者さんの診療にあたっています。当院は、プログラム基幹病院で独自のプログラムを擁しています。積極参加型の研修をモットーとしており、研修医の先生方自らが、指導医とともに患者さんの治療に取り組んでいます。また先輩研修医の後輩研修医への面倒見の良さが長年にわたり受け継がれております。心技体ともに充実した研修をお約束いたします。

先輩研修医から



研修医2年目
中村 祐基

当院は、さいたま新都心駅から徒歩4分、高度救命センターを有する県の中核病院です。幅広い科を有し、各科の診療科の先生が優しく丁寧に教えていただけるのは勿論ですが、初期研修に際し素晴らしい環境が整っています。感染症勉強会やレントゲン勉強会、救急外来症例検討会といった参加任意ではありますが数多くの勉強会が上級医の先生と共に行えるため、数多くの学びが得られます。また、手技や経験できる症例も多岐にわたるのも当院の特徴の一つです。隣の病院にはエコーやCVをはじめ内視鏡の練習までできる研修センターが完備されています。何より、当院の研修医は先輩後輩の垣根を超えた仲の良さが最大の魅力です。是非見学で少しでも良さを感じていただければ嬉しいです!お待ちしております!



研修医1年目
峯岸 昌代

当院は3次救急を担う高度救命センターを有しており、Common Diseaseから重症内科疾患、外傷と幅広く診療することができます。初期研修病院を選ぶ上で、私はどこの病院に行ったとしても、自分のやる気次第でいくらでも経験できると思っています。結局は自分の頑張り次第ですが、当院には「求める分だけ応えてくれる」環境があります。もちろん、指導医の万全なバックアップ体制のもとです。安心して研修ができます。ぜひ当院と一緒に成長しましょう!



女性医師支援コーナー

妊娠・出産・育児のための支援制度等

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除
- ・時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除
- ・子の看護休暇（年間5日間）

・出産祝金、育児休業復帰一時金

- ・産前産後休暇、育児休暇
- ・日本赤十字社は、職員の育児と仕事の両立を支援している企業として、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」の認定を受けています。

連絡先

さいたま赤十字病院

教育研修課

〒330-8553 さいたま市中央区新都心1-5

TEL 048-852-1572(直通) FAX 048-852-3120

E-mail kensyu@saitama-med.jrc.or.jp

URL http://www.saitama-med.jrc.or.jp

アクセス JRさいたま新都心駅から徒歩4分、JR北与野駅から徒歩6分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

- ・当院ホームページに掲載
- ・見学希望の方はホームページからお申込ください。

19 自治医科大学附属さいたま医療センター

病院の概要



- 医師数（研修医を除く）289名（うち指導医数 80名）
- 研修医数 1年目 30名 2年目 28名
- 研修医の主な出身大学 旭川医科大学 北海道大学 弘前大学 秋田大学 東北大学 山形大学 福島県立医科大学 筑波大学 群馬大学 自治医科大学 埼玉医科大学 杏林大学 東京大学 東京医科大学 東京慈恵会医科大学 東京女子医科大学 日本大学 日本医科大学 北里大学 東邦大学 富山大学 金沢大学 山梨大学 岐阜大学 名古屋大学 藤田医科大学 徳島大学 香川大学 佐賀大学 長崎大学 大分大学 宮崎大学
- 診療科 総合診療科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 内分泌代謝科 血液科 リウマチ膠原病科 腎臓内科 脳神経内科 小児科 放射線科 病理診断科 救急科 一般・消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科 泌尿器科 耳鼻咽喉科 眼科 産婦人科 皮膚科 形成外科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 1443名 ● 1日平均入院患者数 523名
- 主な認定施設 労災指定病院、災害拠点病院、エイズ拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、救急救命センター

研修プログラムの特色



創立以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れ、一貫してスーパーローテーション方式の研修実績を積み上げてきました。Common Diseaseの研修を決しておこなうだけではなく、稀有な疾患や最先端の医療技術を駆使した高度医療を必要とする症例にいたるまで多彩な疾患の診療に当たっています。一般プログラムは、総合医学オープン、内科、外科、救急、外科系専門の5コースから選択できます。将来、皆さんが、どの専門診療科を専攻することになっても、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための研修構成になっており、5つの特色があります。①厚生労働省指定の必修分野に加えて、麻酔科研修を必修としました。②全ての臓器別内科と総合診療科を研修します。③地域医療と一般外来を並行研修の8週間とし、Common diseaseの外来診療を十分に経験します。④研修期間を通じて週1回の救急研修を継続することで、初期診療能力の足腰を鍛えます。⑤オプションは、皆さんが希望する研修内容を個別に取り入れるように柔軟に対応します。豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。

プログラム例 一般研修プログラム(総合医学オープンコース)(募集定員24名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	オリエンテーション	救急								内科			外科
2年目▶	精神科	地域一般外来	産婦人科	麻酔科		小児科					オプションA		

- ・ローテーションは順不同です。
- ・採用後に行うオリエンテーション終了後は、第2クールのローテーションでの研修を開始します。
- ・救急科はブロック研修に加え、週1回の日当直研修を通年で実施します。
- ・オプションAは自治医科大学附属さいたま医療センターの診療科から選択します。
- ・（「総合医学オープンコース」以外のプログラム・コースには、協力病院での研修も選択できる「オプションB」の研修期間があります。

研修医の処遇

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 給与▶ 1年次：42万円/月、2年次：48万円/月（時間外手当を含む）
賞与（1年次：約42万円/年 2年次：約67万円/年）
- 諸手当▶ 地域手当、医師手当、時間外手当、期末手当
- 保険▶ 日本私立学校振興・共済事業団（健康保険・年金）、雇用保険、労災保険あり、
医師賠償責任保険（初期研修の2年間のみ）
- 勤務時間▶ 8時30分～17時15分 但し、研修先の診療科等により前後することがある
- 当直▶ あり（約4回/月）
- 休暇▶ 有給休暇（1年次：15日、2年次：20日）
土・日曜日、祝日、年末年始、夏期休暇等
- 宿舎▶ あり

- ・さいたま市民医療センター
- ・さいたま赤十字病院
- ・埼玉精神神経センター
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・順天堂越谷病院
- ・大宮厚生病院
- ・自治医科大学附属病院
- ・秩父市立病院
- ・国保町立小鹿野中央病院
- ・JCHOさいたま北部医療センター
- ・ゆきぐに大和病院
- ・大宮双愛病院



当院の魅力

総合医療と専門医療の一体化とその実践を目指します

自治医科大学附属さいたま医療センターは、さいたま市及びその周辺を含む埼玉県中央部における中核医療施設として市民病院的な役割を担っているとともに、大学病院として高度専門医療の提供も重要な責務としています。

開設当初は自治医科大学卒業生による総合診療の基幹病院としての役割と急性期循環器疾患に対する高度先進医療の提供を中心としておりましたが、現在では全ての専門分野において最先端の高度医療を提供する施設となりました。しかし、設立目的の1つである総合診療の実践と総合医の育成についての努力も脈々と続いており、大学病院では経験することの少ないCommon Diseaseの診療も決しておろそかにすることはなく、また一方では大学病院として一般の市中病院では診られない稀有な疾患や最先端の技術を駆使した高度医療を必要とする症例に至るまでの多彩な疾患の診療にあたっております。

当センターでの研修は、長年の地域医療の経験に基づいた総合医療の基盤に立つ指導と、それに続く高度専門医療の研修を可能にしていることなど多くの特徴があります。中でもそれぞれの専門領域で第一線に立つ専門医が、本学の建学の精神に基づき、総合診療の重要性を理解してそれぞれの専門領域という壁を立てずに研修指導に当たっていることが最も大きな特徴です。

また、さらに良質な研修を提供できるように、意欲のある若い医師の期待に応える研修体制の改善に努力を続けております。来年の春に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



研修責任者から



卒後臨床研修室長
菅原 斉

入職時には、シミュレーション、シャドーイング、電子カルテ、ICLSなどの実習からなるきめ細かなオリエンテーションがありますので、臨床研修を円滑に開始できます。ここ示した特色あるプログラムによって、「患者にとって最善をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とそれを実践する幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基づいた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成していきます。

これらの研修プログラムは、卒後3年目以降の専門研修プログラムとも連動しており、各専門医の取得だけでなく、大学院へ進学し、学位（医学博士）を取得することも可能です。

当センターの研修医は、全国から集まります。様々な情報を研修医間でも共有し、卒後臨床研修室との意見交換を通じて研修プログラムの見直しを行っています。

豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。

先輩研修医から



研修医2年目
新井 優希

当センターの魅力について、まずは同期の数です。一学年約30名と多すぎず少なすぎず、同期と共に研鑽することが出来ます。もう一つの魅力は、大学病院である研究機関の側面と市中病院のような実践的な医療行為を行える側面を併せ持っているということです。総合回診のように研修医が主体となり症例発表を行う機会があり、能動的に疾患について勉強できます。救急直当では指導医の監督の下、研修医が主体的に診療を行うことができます。手技に関してはもちろん症患の鑑別においても主体的に行うことができます。是非一度見学に来てみてください。

当センターには教育熱心な指導医の先生が多くいらっしゃいます。日常の臨床に必要な知識や考え方を教えて頂けるだけでなく、臨床でまだ解明されていないことやその解決策のヒントを示して下さいで学ぶ意欲がかきたたられ日々の臨床が楽しく感じられます。診療科によっては抄読会が定期的に行われているところもあり、最新の知見に触れることができ刺激が得られます。当センターでの初期研修は臨床面でも総合的に充実したプログラムであると思います。ぜひ見学に来てください。



研修医2年目
岡木 啓



女性医師支援コーナー

次世代を担う医師のキャリア形成が出産・育児等により中断されることがないように就業継続のための短時間勤務制度があります。全職員対象の育児短時間勤務（所定勤務時間内において30分単位で2時間まで勤務時間を短縮）と、医師対象の短時間勤務（週20時間勤務。午前・午後をそれぞれ4時間とし、週20時間になるよう組合せ）があります。2020年9月1日現在も10名の女性医師が短時間勤務制度を利用しています。また、職員の子の育児を支援するため、院内保育所、病児保育所を設けています。更に、育児中は（申請により）当直を免除するなど配慮しています。また、センター一丸となって、「医師の働き方改革」に取り組んでいます。

連絡先 自治医科大学附属さいたま医療センター

卒後臨床研修室

〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847

TEL 048-648-5225 (直通) FAX 048-648-5166

E-mail rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp

URL http://www.jichi.ac.jp/Center/sotsugo/index.html

アクセス JR大宮駅東口からバスで約10分

i 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・レジナビフェアに埼玉県ブースで出展しています(3月、6月)。
- ・研修内容説明会を開催しています(7・8月)。
- ・病院見学は随時受け付けています。当センターホームページ(卒後臨床研修室のページ)をご覧ください。

※病院見学は、新型コロナウイルス感染症拡大状況等を踏まえ、受付・実施を中止することがあります。最新の情報をホームページにてご確認ください。



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）76名（うち指導医数 46名）
- 研修医数 1年目 8名 2年目 8名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学・信州大学・岩手医科大学・日本大学・山梨大学・大分大学・東京慈恵医科大学・筑波大学・弘前大学・山形大学・長崎大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 脳神経内科 腎臓内科 糖尿病・代謝内科 血液内科 リウマチ科 緩和ケア内科 外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 臨床腫瘍科 整形外科 形成外科 脳神経外科 心臓血管外科 耳鼻咽喉科 眼科 泌尿器科 婦人科 皮膚科 麻酔科 放射線科 リハビリテーション科 救急科 病理診断科 歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 581名 ● 1日平均入院患者数 317名
- 主な認定施設 整形外科専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本内科学会認定教育関連病院



研修プログラムの特色

当院では、初期研修の2年間は、将来どの専攻分野に進んでも困らないよう、基本的な臨床能力を習得する期間としています。

厚生労働省が定める到達目標をこの2年間で達成し、「3年目に独り立ちできること」をスローガンとしています。専門医になったときの実力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてます。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思います。

常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ科全体、病院全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっております。救急ローテーション時や日直当では、ファーストタッチから一連の検査オーダー、診断までを研修医が主体的に行います。もちろん指導医や上級医がしっかりサポート・指導をしてくれますので安心して研修に臨むことができ、3年目独り立ちに向けて臨床能力を養うことができます。また、産婦人科・小児科・精神科・地域医療については、専門的な知識を十分に経験できる施設と連携しています。



プログラム 例 彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床研修プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科		消化器内科		循環器内科		外科		救急		麻酔科		
2年目▶	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	救急	調整月	自由選択						

○必修：内科24週(内科、消化器内科、循環器内科)、救急科12週、外科8週、麻酔科8週、地域医療4週(外来4週)、精神科4週、小児科4週(外来4週)、産婦人科4週、調整科4週(必須科目の達成度、日数不足分等の調整)

○自由選択24週(内科、消化器内科、循環器内科、救急科、外科、麻酔科、放射線科、整形外科、泌尿器科、脳外科、リウマチ科、血液内科、緩和ケア内科、病理診断科)
※産婦人科、小児科、精神科、地域医療については、連携病院との調整 ※自由選択は、1科につき最長12週まで ※外来研修は内科・小児科・地域医療にて対応



研修医の処遇

- 給与▶ 1年次 45万円/2年次 50万円(月額)
- 諸手当▶ 当直手当 1万5千円/1年次 2万5千円/2年次
日勤手当 1万円/1年次 1万5千円/2年次
- 保険▶ 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、
医師賠償責任保険(病院において加入)
- 勤務時間▶ ①月～金 9時～17時30分/土 9時～13時(隔週) ②月～金 9時～18時
- 当直▶ 月4回程度(土日枠もあり)
- 休暇▶ 土曜隔週、日曜、祝祭日、年末年始(12/30午後から1/3迄)
有給休暇(1年次：10日/2年次：11日)
- 宿舍▶ 住宅貸与、家賃補助有(5万円まで/月)
- その他▶ 学会・研修会等参加の費用負担あり(8万円/年)3回/年(公休扱い)、
医療費見舞金制度(月3万円まで)、保養所、院内旅行、その他

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- ・小池内科クリニック(地域医療)
- ・平戸市民病院(長崎・地域医療)
- ・大宮厚生病院(精神科)
- ・上尾中央総合病院(小児科・産婦人科)
- ・埼玉医科大学総合医療センター(小児科・産婦人科)
- ・柏厚生総合病院(小児科・8週)
- ・越谷市立病院(小児科・産婦人科)
- ・国立病院機構埼玉病院(小児科)
- ・自治医科大学附属さいたま医療センター(産婦人科)
- ・国立病院機構西埼玉中央病院(産婦人科)
- ・東京北医療センター(産婦人科)



当院の魅力



3年目の独り立ちを目指して

①救急部での幅広い症例経験

新病院移転後、急性期対応型に進化した救急部は、救急搬送患者を年間約6500件を受け入れています。1次、2次救急を中心に、小児科・産科以外の患者すべての受入れを目指しています。救急部の研修では、「3年目に独り立ちできていること」を強く意識し、様々な疾患の初期対応をファーストタッチから経験できます。

②指導医だけではなく、診療科全体、多職種によるサポート

当院では、マンツーマンの指導体制を取っていますが、指導医だけではなく、診療科全体で研修医を育てる体制となっており、幅広い指導が受けられます。

各科診療科の連携が良く、看護師、薬剤師、リハビリ、事務職など、病院全体で研修医の成長をサポートします。

③off the job trainingのサポートも充実

モーニングレクチャー、ランチョンセミナー、院内学会、EBMセミナー、ICU勉強会、救急車同乗実習など、各種開催

④メンター医師制度の確立、センター長面接

初期研修医3~4人に1人の常勤医師を配置し、皆様のメンタルヘルスケアのみならず、メンター任期を1~2年とし、多くの指導医が専門分野だけでなく、初期研修医の日常に接することで、臨床研修センター自体の活性化を図っていきます。また定期的なセンター長との個人面談で、研修進度の確認や今後の進路などについても相談できる体制です。

研修責任者から

当院の様々な取り組みの一端をご紹介します。

1. 「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「協力する」

医師として成長していく上では、医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。

2. チーフレジデントの選出

院内の各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、初期研修医採用試験の面接官の一員等々、上から与えられてこなすのみではなく、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩たちも更により良い研修をできるように活動していく中心的役割を担います。

3. 学会発表などのプレゼンテーション教育

皆様には2年間の研修中、多くのプレゼンテーションを実施する機会が与えられます。特に院内学会やランチョンでは専門科の枠を超えて院内常勤医や他職種が集い、様々な質疑応答を経験することができます。研修終了時にはスライド作成、プレゼンテーション能力が十分身につくように指導力を投入しております。

4. 各診療科の研修内容のフィードバック

時代や環境の変化とともに、研修メニューや指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には皆様も参加する臨床研修委員会等を通じ、研修内容のフィードバックや改善など随時お願いしております。そして当院の柱の一つである救急科の現場でcommon diseaseを中心に幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。

未来に向けてまだまだ新たな取り組みを導入し、改善していく所存です。

一緒に頑張りましょう！！



プログラム責任者
長田 秀夫

先輩研修医から

病院選びでは、救急搬送件数や、病床数といったデータが目が行きがちですが、当院の1番の魅力は、指導医、二年目の先輩に相談しやすい雰囲気にあると思います。病院の規模的に、顔馴染みの先生も増え、色々な先生からご指導いただけます。何より研修医同士の仲が良く、二年目の先輩方が率先して教えてくれます。

未熟な私達ですが、先輩方から受けた恩を後輩に還元できるよう日々勉強しております。書面からは中々伝わりにくいと思いますが、そういった縦の繋がりを、是非見学で感じていただけたら嬉しいです。

当院では救急科のファーストタッチを研修医が行います。最初はわからないことだらけですが、2年目の先輩や上級医の先生に教えてもらいながら対応や考え方を学びます。

当直は救急当直で、上級医と2年目の先輩との3人セットで入ります。ファーストタッチは研修医2人で相談しながら行い、アセスメントをします。

どちらもすぐに上級医に相談できる環境であり、安心して診療を行うことができます。

また検査や治療について研修医の裁量権が大きく、とても力がつきます。



研修医1年目
富澤 佳子



研修医1年目
五島 祐樹



女性医師支援コーナー

- 育児休業制度
- 短時間勤務制度
- 深夜業務の制限
- 時間外労働時間の制限
- 子の看護休暇制度
- 病院のすぐ横に、24時間保育室を運営
- 医局に女性専用ラウンジ設置

連絡先 彩の国東大宮メディカルセンター

臨床研修センター 野口

〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522

TEL 048-665-6111(代表) FAX 048-665-6112

E-mail kenshui@shmc.jp

URL https://www.shmc.jp/index.html

アクセス JR宇都宮線土呂駅から徒歩11分

i 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時開催（通常見学・オンライン見学）

病院HPの応募フォームからお申込みください。

研修医へのQ&A、研修医からの動画メッセージ、

院内紹介動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）65名（うち指導医数 23名）
- 研修医数 1年目 4名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・帝京大学・日本大学・島根大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科
糖尿病・内分泌内科 血液内科 腎臓内科 脳神経内科
外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 脳神経外科
整形外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 耳鼻咽喉科
放射線科 病理診断科 リハビリテーション科 アレルギー科
内科（化学療法） 外科（化学療法） 麻酔科 救急科
- 1日平均外来患者数 353名 ● 1日平均入院患者数 259.1名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、日本内科学会認定制度教育関連病院、がん診療指定病院、外科医専門医制度修練施設、災害拠点病院、日本脳卒中学会研修教育病院



研修プログラムの特色

深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケア能力を修得した医師養成を目指しています。年間入院患者数6,000人以上、2次救急外来患者数は約5,000人と幅広い豊富な患者数に支えられ多様な疾患の経験ができます。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色をもとに、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修（内科系、外科系ジェネラリスト）プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

プログラム 例 **さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム（募集定員6名）**

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年目▶	オリエン	救急		内科					外科				
2年目▶	小児科		産婦人科	精神科	地域医療	選択必修			選択科目				

内科 24 週、救急 12 週、外科 12 週、小児科 12 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週を研修し、選択科目については 4 週を 1 クールとするローテーション方式とする。一般外来研修に関しては内科・外科・小児科研修中に総合診療外来を週 1 回 1 日で並行研修(4 週以上)を行う。地域医療については原則として 2 年次に研修を行う。



研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1年次：40.7万円/月（当直手当含）賞与76万円/年（実績）、
2年次：46.3万円/月（当直手当含）賞与152万円/年（実績）
- 諸 手 当 ▶ 宿日直手当、時間外手当
- 保 険 ▶ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、
医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間 ▶ 8時30分～17時30分
- 当 直 ▶ あり（4回/月）
- 休 暇 ▶ 日曜・祝日・有給休暇・夏季・年末年始休暇
- 宿 舎 ▶ あり

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・さいたま市立病院
- ・南魚沼市民病院
- ・さいたま北部医療センター



当院の魅力

専門診療と総合診療が融合した指導体制で“軸”になれる医師を育成します

当院は医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間5,000台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。それを実現するために、我々は専門診療を縦糸、総合診療を横糸に見立て、縦糸と横糸で織りなす布が患者を包み込むようなイメージを描き診療しています。具体的には内科系診療科を細分せず、救急総合診療科が内科の主軸となり臓器別専門科がそれをサポートする体制で運営しています。毎朝、全医師が集結し新入院患者の治療方針を議論し各患者に適した主治医団を結成しています。複雑かつ複数の疾患を抱えた高齢者には理想的な臨床決定プロセスであり、毎日欠かさず行っていることが我々の誇りです。朝カンファレンスでは各臓器別専門医からupdateされた情報を毎日得ることができます。臨床医として地域医療に貢献していきたい医師にとっては理想的な教育環境といえます。

研修責任者から



プログラム責任者
坪井 謙

当院は地域に密着した医療をモットーに診療を行っている地域医療支援病院です。今までも自治医科大学附属さいたま医療センターと連携し、ホスピタリスト育成プログラムで研修医の育成を行っていましたが、2017年より独自にジェネラリスト養成を目的とした研修医育成を始めました。初年度は定員2名から開始しましたが、2019年には4名、2021年には今までの実績から6名に増やすことができました。「病気」、「こども」、「けが」に対して、まず「診る」ことができる医師を育てる研修を提供しており、また新専門医制度でどのプログラムに行っても通用する多能性医師を養成できるプログラムを組んでいます。また、豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境となっています。こんな病院で一緒に働いてみませんか？

先輩研修医から



研修医2年目
浅見 文邦

当院の内科ローテーションの特徴は、当直を含め週に3回救急外来の初療が出来ること、救急外来で診た患者さんをそのまま入院後も継続診療できること、毎朝内科カンファレンスがあることです。また、外科では、糸結びや縫合から始まり、3か月目には、虫垂炎などの執刀をやらせて貰えます。CVや胸腔・腹腔穿刺、ルンパールなど一通りの手技もできます。地域に密着した幅広いコモンな疾患を診ることができ、将来どの科に行くにせよ、医者土台を学ぶに良い病院だと思います。

「熱い指導医のもと、幅広い視野が身につきます」救急総合診療科が中心となって総合的な視野に立った診療を行なっている点、小児科はさいたま市の小児救急輪番制を担っており、3ヶ月間の研修が必修で小児科を専攻する予定がなくても、3ヶ月間しっかりと小児科研修を行えることは大変意味のある事だと実感しました。地域の患者さんを地域との関わりの中で診るという視点を養う事ができ、今後の医師人生の基礎を形成する時期に当センターを選択して良かったと感じています。



研修医2年目
増田 司



女性医師支援コーナー

- ・ 短時間勤務制度
- ・ 院内保育の設置
- ・ 当直免除

女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。

連絡先 **社会医療法人 さいたま市民医療センター**

総務課 佐藤・長谷川

〒331-0054 さいたま市西区島根299-1

TEL 048-626-0011(代表) FAX 048-799-5146

E-mail soumu@scmc.or.jp

URL http://www.scmcor.jp

アクセス 大宮駅西口よりバス約20分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学希望随時受付しております。
遠方の方はWEBでの面談も受け付けていますので、総務課 採用担当までメールにてご連絡ください。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）255名（うち指導医数 102名）
- 研修医数 1年目 19名 2年目 18名
- 研修医の主な出身大学

旭川医科大学・札幌医科大学・弘前大学・秋田大学・山形大学・東北大学・福島県立医科大学・東京医科歯科大学・東京医科大学・東京女子医科大学・日本医科大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・帝京大学・順天堂大学・杏林大学・日本大学・昭和大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・東海大学・群馬大学・山梨大学・筑波大学・新潟大学・金沢大学・福井大学・浜松医科大学・名古屋市立大学・信州大学・藤田保健衛生大学・近畿大学・滋賀医科大学・川崎医科大学・島根大学・徳島大学・産業医科大学・熊本大学・佐賀大学・宮崎大学・鹿児島大学・琉球大学・漢陽大学・Shahid Beheshti University

- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 脳神経内科 糖尿病内科 膠原病内科 腎臓内科 血液内科 呼吸器内科 肝臓内科 アレルギー疾患内科 感染症内科 腫瘍内科 緩和ケア内科 心療内科 小児科 産婦人科 外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 消化器外科 肝臓外科 乳腺外科 呼吸器外科 気管食道外科 肛門外科 内視鏡外科 小児外科 泌尿器科 耳鼻いんこう科 頭頸部外科 眼科 形成外科 美容外科 皮膚科 麻酔科 救急科 放射線診断科 放射線治療科 病理診断科 臨床検査科 リハビリテーション科 歯科口腔外科

- 1日平均外来患者数 1375.2名 ● 1日平均入院患者数 579.2名

- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院、ロボット心臓手術実施施設、ダヴィンチ手術症例見学施設（前立腺摘出術、膀胱全摘除術）、埼玉県がん診療指定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院、他



研修プログラムの特色

68週の必修期間と自分の将来への展望を踏まえ、選択期間を研修医の意向を尊重しながら、指導医と相談の上、組むことができます。市中病院にあって豊富な診療科を有する当院の特徴を生かしてもらいたいと思います。救急総合診療科研修・救急科研修&当直研修・地域医療研修を3本の柱とし、外科・麻酔科・産婦人科・小児科・精神科を必修科目としています。地域医療研修を北海道、鹿児島県、沖縄県、岡山県、香川県などのへき地・離島や宮城県の前被災地で行い、当該地域での医療ニーズを把握、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学ぶとともに、異なる環境での研修を通じて医師としての自信を深めるチャンスとなります。また、研修期間を通じ、患者及び医療従事者の双方に安全な医療を遂行できる能力、すなわち医療事故の未然防止及び事後の対応方法を理解し、さらに病院感染防止対策について理解し、マニュアルに従って行動できる能力を身につけていきます。



プログラム例 上尾中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員19名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科(24週)						救急部門(12週)		麻酔科(8週)		外科(8週)		
2年目▶	小児科(4週)	産婦人科(4週)	地域医療(4週)	精神科(4週)	選択期間								

○必修：内科系24週、救急科12週、麻酔科8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療4週

※内科系(内科<糖尿病・血液>・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)から2科以上選択する。

※総合診療科は12週必修。

○選択：(内科<糖尿病・血液>、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科)

※当院で決めた必須科目の外科については、4週は外科を必須として4週については外科系(外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科)の中から選択できる。

※地域研修は必修4週、選択4週まで(合計8週選択可能) ※精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。



研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：40万円/月 2年次：43万円/月
- 手当▶ 当直手当、日勤手当
- 保険▶ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 9時～17時30分（※土曜日は13時）
- 当直▶ あり（4回程度/月）
- 休暇▶ 有給休暇（入職3カ月後：3日 6カ月後：7日 初年度：10日支給）
その他（特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業）
- 宿舎▶ あり：当院規定（5万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内市内在住限定）
- その他▶ 処遇：常勤、健康診断：年2回、医師賠償責任保険：病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加：可、参加費用支給有、医療費見舞金制度、24時間保育園、保養所（軽井沢/那須/山中湖）、院内旅行、その他

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・埼玉県立精神医療センター
- ・医療法人 徳洲会 帯広徳洲会病院
- ・医療法人 徳洲会 徳之島徳洲会病院
- ・医療法人 沖繩徳洲会 石垣島徳洲会病院
- ・医療法人 沖繩徳洲会 与論徳洲会病院
- ・気仙沼市立本吉病院
- ・社会医療法人 緑社会 金田病院
- ・小豆島中央病院
- ・社会医療法人 哲西会 哲西町診療所
- ・矢掛町国民健康保険病院 他



当院の魅力

『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』 救急外来では年間約8,000台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。指導医は裏方の役に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』 総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』 地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。

◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5~10年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。



研修責任者から



プログラム責任者
黒沢 祥浩

3年後、専攻医研修を受けている自分を想像してください。多くの研修医は大学病院に所属し、アルバイト生活を始めます。アルバイト先では当直業務を自分一人で行うことになります。「指導医」はいません。業務のどんな場面にあっても適切に診療していく……。

当院の研修卒業生たちは、救急能力を身につけています。「自信をもってやっています」「上尾での救急に比べたら患者数も重症度も大したことないです」と卒業生たちは口を揃えてこのように話しています。当院に見学に来られる学生さんたちは「研修医の先生、カッコいいですね」と言ってくれます。そう評価されるための環境を準備して皆さんを待っています。

先輩研修医から



研修医1年目
福田 雪子

雰囲気の良いだけでこの病院を選んだと言っても過言ではありません。正直、必修科や当直の大変さなどはそっちのけでした。これだけ雰囲気が良ければ早くも頑張っているだろうと。しかし研修が始まり、その考えは甘かったかもしれないと思う日もありました。当直中は眠いし、お腹がすきます。1回乗り越えたとおもってもまたすぐに次の当直の日がやってきます。ある科では手技が雑だ、とか、何もわかっていない、と怒られたり、患者さんに聞かれたことにまともに答えられなかったり。自分の知識の無さや要領の悪さに、泣きそうになったこともあります。

ここまで読むと、辛いだけで何も楽しくない研修生活を想像してしまう方もいるかもしれませんが、そうではありません。当直は、自分が診た患者さんが元気になって帰っていくのはやはり嬉しいです。先生方は、怒りっぱなしではなく、どうすればよかったかをきちんと指導してくださるので、しっかり勉強し直して次こそはやっつる！と奮い立たされます。このように、辛かったり、かと思えばやる気が出てきたり、メンタルはジェットコースター状態ですが、そんな私を支えてくれるのは間違いなく先輩や同期の存在です。大丈夫？何でも言ってねと声をかけてくれる先輩、愚痴を決定しても笑い飛ばしてくれる同期がたくさんいます。研修医室はとても自由な雰囲気、勉強している人、ずっと喋っている人、いつも寝ている人、いろいろいます。自分の机に置いておいたお菓子がなくなったら私のいないところでお菓子パーティーが開かれていることも……(笑)今では仕事が終わって研修医室に戻り人と話すのが日々の楽しみになっています。ほとんど雰囲気だけで選んだとは言え、その直感間違いではなかったと心から思っています！

「1年目が救急車のファーストタッチを担当するのは、いつからだと思う？」

—「3か月目くらいですか？」 —「2台目だよ」

見学の時のこのやりとりは今でもよく覚えてます。

そして、4月10日には早くも初当直を迎えました。正直に言って何も分かりません。カルテの使い方も、どこに何があるかも、どこまでが看護師さんの仕事で何が自分の仕事なのかも全く分かりません。先輩は「今日は初めてで大変だと思うけど、俺らが後ろにつくから一緒に頑張ろう！」と言って下さいました。しかし、その日は電話が鳴り止まず、頼みの綱だった先輩も手が離せない状況となり、初ファーストタッチは自分一人で行うことになりました。転倒外傷の患者さんでした。頭から血を流す患者さんを目の前に、現場は猛スピードで進行していきました。そんな中、何も出来なかった自分は本当に無力でした。国試のためにあれだけ勉強したのに、という悔しい気持ちと、勉強したからどうにかかなると考えていた甘い自分に対する情けない気持ちとが重なり、かなり落ち込みました。しかし、救急車はそんな僕に構うことなく次々に到着し、気付けば何もできないまま朝を迎えました。

このように散々なスタートを切った僕ですが、人間は不思議なもので、一度底を見ると、もうこれ以上悪いことはないだろうと上が見えてきます。医学に対する向上心は過去最大になり、本を開くことも苦ではなく、学生の頃一番苦手だった早起きも、今では目覚ましの鳴る前になんく起きることができています。また、常に目標である2年目の先輩方の変に刺激を受け続け、切磋琢磨し合う同期もいて、オン・オフのはっきりとした労働環境のおかげもあり、5月病になりそうな気配を微塵も感ぜることなく、充実した日々を送っています。医師人生のスタートをここ上尾に選んで良かったと、心からそう思います。



研修医1年目
井原 健人



女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

一 妊産婦への配慮一

【妊娠中】

母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務の希望があれば臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行ってよいこととする。

【育児中】

育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数を決定することとする。

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除

※実績あり。現在も当院で勤務しています。



連絡先

上尾中央総合病院

人事課 秘書係(臨床研修担当)

〒362-8588 上尾市柏座1-10-10

TEL 048-773-1111(代表)

FAX 048-773-2952

E-mail ishi_jinj@ach.or.jp

URL http://www.ach.or.jp

アクセス JR高崎線上尾駅西口より徒歩3分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】

初期臨床研修一病院見学フォームよりお申し込みください。

【2022年度・初期臨床研修プログラム説明会】

2021年3月27日(土)14:00~17:00(予定)

※医学生もご参加いただけますので

ご気軽にお問い合わせください。

23 北里大学メディカルセンター

病院の概要

- 医師数（研修医を除く）73名（うち指導医数 25名）
- 研修医数 1年目 8名 2年目 4名
- 研修医の主な出身大学 北里大学・名古屋大学・信州大学・獨協医科大学
- 診療科 内科 脳神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科
内分泌・代謝内科 リウマチ・膠原病内科 精神科 小児科 外科
消化器外科 呼吸器外科 乳腺外科 整形外科 形成外科 脳神経外科
皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科
放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科（全27科）
- 1日平均外来患者数 643名 ● 1日平均入院患者数 218名
- 主な認定施設 災害拠点病院、埼玉DMAT・埼玉SMART(特別機動援助隊)指定病院、厚生労働省臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域医療支援病院 ほか



研修プログラムの特色

臨床研修医が2年間に習得する必要がある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、良質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。

専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。2年次には自由選択枠があり、将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。



プログラム 例 北里大学メディカルセンター臨床研修プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科(外来研修8週含む)						救急(うち麻酔科4週)		麻酔科		外科	産婦人科	小児科
2年目▶	精神科	自由選択										地域医療	

〈1年次〉内科24週、救急部門12週(うち麻酔科4週)、麻酔科(4週)、外科(4週)、産婦人科(4週)、小児科(4週)
 〈2年次〉精神科(4週)、地域医療(4週)、自由選択(40週)
 自由選択枠については、当院を含め北里大学病院、北里大学北里研究所病院及び東京ベイ浦安市川医療センターの各診療科において、希望の診療科と調整の上決定します。将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自選択することができます。

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次 約300,000円/月 2年次 約330,000円/月
- 諸手当▶ 時間外手当、住宅手当、宿日直手当、救急手当等
- 保険▶ 組合健保(私学共済)、共済組合(長期給付)、雇用保険あり、
労災保険適用、厚生年金基金等企業年金あり、
医師賠償責任保険(病院において加入しているが個人でも強制加入)
- 勤務時間▶ 8時30分~17時00分
- 当直▶ あり(3~4回/月)
- 休暇▶ 有給休暇(1年次:12日、2年次:16日)
- 宿舍▶ あり
- その他▶ 奨励金:年2回支給
1年次 200,000円(上限額)
2年次 400,000円(上限額)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・北里大学病院
- ・北里大学 北里研究所病院
- ・埼玉県済生会鴻巣病院
- ・東京ベイ・浦安市川医療センター
- ・渡辺医院
- ・サンビレッジクリニック鴻巣
- ・春日部在宅診療所ウエルネス



当院の魅力

スキルアップ支援とコミュニケーションの充実

当院では医師を中心に様々なメディカルスタッフの協力により、研修医のスキルアップに重要な勉強会を多数開催しています。職種間の垣根も低いので職種とのコミュニケーションがとりやすい環境です。

例) 輸液療法・ルート・ポンプの扱い方 (主催: 看護部)

日本肝癌研究会提唱の肝細胞癌診断アルゴリズム (主催: 放射線部)

検査技師による採血指導、血液像の読み方 (主催: 検査部)・・・等々

また、全診療科が同じ医局を使用しており、そこに研修医の机を配置することで、診療科の垣根を越えたコミュニケーションがとりやすい環境です。上級医との信頼関係も築きやすく、「相談しやすい・コミュニケーションがとりやすい」と研修医から好評です。医局とは別に「臨床研修医室」も設けているため研修医だけの環境もあり、適宜自分の時間を確保できるよう配慮しています。



研修責任者から



臨床研修センター長
長場 泰

大学病院VS市中病院、多くの医学生がまず最初に悩むことです。北里大学メディカルセンター（地域医療支援病院）は、埼玉県中央地区の中核的医療施設として機能しており、北里大学の分院として、大学本院（特定機能病院、相模原市）と北里研究所病院（都市型救急病院、東京白金）との連携を行い大学病院的な医療と地域医療をバランスよく研修することが可能なプログラムを提供しています。3病院の自由選択期間（2年目の6か月間）を設けることにより、プライマリケアから高度先進医療まで、希望する研修を行うことが可能です。また北里大学は薬学部、看護学部、医療衛生学部などを有する医療系総合大学であり診療科や職種を超えたチーム医療を重視しています。「市中病院も大学病院もどちらも経験できる研修プログラム」そんなうまい話がとあなた、ぜひ当院へ見学に来てください。

先輩研修医から



研修医1年目
椎橋 奈央

当院では地域に根付いた中規模病院として、プライマリケアを中心に様々な症例を経験することができます。疾患への治療はもちろんのこと、患者様の社会背景や生活環境を考慮し、健康的な生活を送るのに必要な環境の整備もメディカルスタッフの方と協力して行います。当院は職種に関わらず職員同士の距離が近く、とても相談のしやすい環境です。研修医の人数も少ないため、経験したい症例や手技に触れる機会にも恵まれています。少しでも興味がありましたら是非見学に来てください。心よりお待ちしております。

当院の特徴は2つあり、1つ目は大学関連病院で研修期間中に北里大学病院を好きな期間だけ選択出来るため、3年目以降を見据えて働けることや興味がある分野の最先端医療を学ぶことが出来ます。2つ目は各科の隔りがなくて、他科を研修している間でも分からない事があれば、上の先生方に聞きやすいという点です。研修医はまだ未熟であり、分からない事を素直に聞けると言う環境は非常に重要です。教育的な先生方と共にcommon diseaseを十分に学べる当院は、最初の2年間を働くには非常に良い所だと思っています。是非、見学しに来て下さい。



研修医1年目
大川 博之



女性医師支援コーナー

- ・ 保育園「オレンジハウス」
豊かな自然環境を背景に自由保育思想を取り入れ、のびのびと子供の個性を育む保育園「オレンジハウス」。子供の成長に合わせた教育システムや多彩な年間行事も充実。仕事と家庭生活の両立を図る当院スタッフの力強い支えとなっています。夜勤の仕事に携わる職員の要請に応じ、週2回の夜間保育も実施。安心して仕事が継続できるよう、バックアップ体制も万全です。
- ・ 病児保育室あり 定員：3名



連絡先 北里大学メディカルセンター

人事課 人事・教育研修係

〒364-8501 北本市荒井6-100

TEL 048-593-1212(代表) FAX 048-593-1239

E-mail k-rinsho@kitasato-u.ac.jp

URL http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/

アクセス JR高崎線北本駅からバス約15分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学
随時受付中です。いつでもお気軽にご連絡下さい。

24 小川赤十字病院

病院の概要

- 医師数（研修医を除く）28名（うち指導医数 11名）
- 研修医数 1年目 2名 2年目 0名
- 研修医の主な出身大学 宮崎大学・日本医科大学・聖マリアンナ医科大学・群馬大学・昭和大学・東北大学・杏林大学
- 診療科 内科 循環器科 呼吸器科 リウマチ科 神経内科 血液内科 腎臓内科 内分泌・糖尿病内科 精神科 外科 乳腺・内分泌外科 消化器科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 558.3名 ● 1日平均入院患者数 250.4名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本リウマチ学会教育施設、日本血液学会認定血液研修施設 等



研修プログラムの特色

地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。1年目は内科、外科の研修にて基礎力を磨き、2年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能となっております。小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について十分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力（知識・技能・基本的態度）及び医師としての人格の涵養です。

年度途中からの開始や中断した研修の再開も対応いたします。



プログラム 例 小川赤十字病院医師臨床研修プログラム(募集定員2名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科						精神科	外科		選択科			
2年目▶	選択科	小児科	産婦人科	救急		麻酔科	地域医療	外来	選択科				

地域医療はさつき内科クリニック、大野クリニックから選択する。
 必修科目のうち小児科、産婦人科、救急医療(うち8週)は埼玉医科大学病院で実施する。
 選択科目はリウマチ科、循環器科、消化器科、内分泌・糖尿病内科、神経内科、血液内科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、地域保健(日本赤十字社埼玉県支部特別養護老人ホームひなた荘、小川町保健センター)から選択する。

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：約40万円/月 2年次：約45万円/月
- 諸手当▶ 時間外手当、当直手当、通勤手当、勤勉手当(年2回)
- 保険▶ 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶ 月～金 8時30分～16時45分 第1・3土 8時30分～12時30分
- 当直▶ あり(2~3/月)
- 休暇▶ 有給休暇、夏季休暇
- 宿舎▶ なし(家賃補助あり最大28,500円/月)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・小川町保健センター
- ・特別養護老人ホームひなた荘
- ・さつき内科クリニック
- ・大野クリニック



当院の魅力

地域に密着した医療

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。

昭和14年に開設されて以来、80年以上の歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。

また、赤十字病院として、救護班（医療チーム）を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。



研修責任者から



プログラム責任者
秋山 雄次

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身につけることができるはず。災害救護のトレーニングも可能です。

小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望にそうことができます。また、救急医療・産婦人科・小児科は埼玉医科大学病院での研修になります。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、ぜひ一度見学においで下さい。

先輩研修医から



研修医（2020年度修了）
吉田 龍司

私は、他の病院を諸事情により中断していましたが、小川赤十字病院にて再開しました。

当院では、心不全、失神、肺炎等の重要疾患はしっかり経験できます。精神科の研修では、初診の患者の担当を任せられ、とても良い経験ができました。病院全体として優しいスタッフが多く、医療職、事務職問わず全力でサポートして下さるので安心です。初期研修、他病院中断者ともにおすすめる病院であります。是非病院見学にいらしてみてください。

小川赤十字病院は高齢化が進んでいる比企郡の中核病院として機能しております。当院では、Common diseaseは一通り経験できますし、病診連携も経験できます。他科との連携が多く、認知症回診、NST回診や内科カンファレンス等で、上級医の先生やスタッフの方に優しく指導していただいております。わからないことや何かあったときには、自分の進捗状況に応じて相談にのってくださり、とても頼りがいのある先生が多いです。小川町は自然にあふれ、川が多くあり、落ち着いて暮らせる場所です。一度見学にいらしてみてください。



研修医1年目
橋本 卓



女性医師支援コーナー

- ・産休
- ・出産祝金（在職2年目以降）
- ・育児
- ・育児短時間勤務
- ・時差出勤、時間外勤務の制限、深夜勤務の免除、所定労働時間を超えない勤務
- ・子の看護休暇

連絡先

小川赤十字病院

企画総務課

〒355-0397 比企郡小川町小川1525

TEL 0493-72-2333 (代表)

FAX 0493-72-2755

E-mail jinji@ogawa.jrc.or.jp

URL http://www.ogawa.jrc.or.jp

アクセス 東武東上線・JR八高線小川町駅徒歩15分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学の申込方法
日程調整させていただきますので、企画総務課まで連絡をお願いします。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）26名（うち指導医数 11名）
- 研修医数 1年目 3名 2年目 4名
- 研修医の主な出身大学 北里大学・鹿児島大学・徳島大学・東京医科大学・信州大学・佐賀大学・日本医科大学・埼玉医科大学・昭和大学・大阪医科大学・筑波大学・琉球大学・鳥取大学・帝京大学・産業医科大学・高知大学・群馬大学・島根大学・日本大学・山形大学・大分大学・弘前大学・京都府立医科大学・山口大学
- 診療科 内科 外科 整形外科 泌尿器科 リハビリテーション科 放射線科 皮膚科 リウマチ科 アレルギー科 形成外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 脳神経外科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科 糖尿病内科 神経内科 人工透析内科 救急科 眼科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 453名 ● 1日平均入院患者数 185名
- 主な認定施設 日本内科学会認定教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本泌尿器科学会関連教育施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設 など



研修プログラムの特色

昭和49年に開院以来、地域密着医療を行ってきた急性期病院です。診療する疾患は多岐に渡ります。関越病院の理念と方針の下、1次・2次救急医療を昼夜問わずに行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実していて、地域に幅広く貢献しています。このような特徴を持つ当院の臨床研修プログラムは、地域医療を担う病院で遭遇するあらゆる疾患のプライマリ・ケアに必要な基本的な知識、技術の習得と、社会人であり、また医師であることの心構えと態度を身につけることを目的とします。研修の根幹は「多彩で豊富な症例」で研修すること。指導方針は「指導医とのマンツーマン教育」であり、実際の診療を繰り返し経験し、知識・技術を習得します。診療は「チーム医療」であり、様々な職種のベテラン職員との触れ合いは人間性を磨く絶好の機会です。



プログラム例 関越病院 医師臨床研修プログラム(募集定員4名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科			救急			小児科	産婦人科	精神科	外科			
2年目▶	外科系		地域医療		選択科								

※外科系は外科、整形外科、泌尿器科を各4週研修します。(計12週)
 ※地域医療研修は外来研修も含め4週、選択科は外来研修(0.5日/週)を含め38週となります。
 ※2年目に保健・医療行政研修が1週入ります。



研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：40万円（税込）、2年次：45万円（税込）、賞与あり
- 諸手当▶ 当直・日直手当、食事手当他
- 保険▶ 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶ 8時30分～17時30分（実働8時間）
- 当直▶ あり（4回程度/月）
- 休暇▶ 有給休暇 1年目：10日 2年目：11日
- 宿舎▶ あり（病院より半径2km以内）
- その他▶ 福利厚生：宿泊施設（湯沢、軽井沢、河口湖）あり、提携しているスポーツジム利用可、365日保育可能な保育園完備

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院（小児科・産婦人科・神経精神科）
- ・埼玉医科大学総合医療センター（小児科・産婦人科・神経精神科）
- ・関越クリニック（地域医療）
- ・南町クリニック（地域医療）
- ・関越腎クリニック（地域医療）
- ・埼玉県内保健所（保健・医療行政）



当院の魅力

2020年新病院がオープンしました！

当院では建物の老朽化に伴い、平成27年7月から全面的な建替工事を行っていましたが、令和元年9月に全ての工事が終了し、フルオープンを迎えました。ER部門や手術室、ICUの整備を行い、患者さんの療養環境を整えると共に医師をはじめとする職員の働く環境の改善に配慮して改築を行いました。新病院では職員用のラウンジを設置したり、地域の医療機関や福祉施設との連携を更に強化し、患者さんやそのご家族・地域関係者のご要望に幅広くお応えするために患者支援センターを新設しました。今まで以上に地域の医療介護に携わる皆様と共に連携をしっかりと行い、地域のために役立てるよう努めております。新病院の動画をアップしておりますのでQRコードを読み込み、是非ご覧ください。



研修責任者から



プログラム責任者
松田 香

なぜ医師になろうと思ったか初めの気持ちを思い出してみませんか。

当院では急性期医療を担当する地域の病院として、よくある疾患を経験しながら、見逃してはいけない疾患を見分ける研修が出来ます。特に当直ではどの医師も一般診療に当たりますので共に様々な経験をしましょう。

また、院内の医療チームのカンファへの参加や、勉強会を通して力をつけていく機会もあります。患者さんはご高齢で様々な背景を持っている方が多くおり、退院に向けての多職種を通してのマネジメントが必要です。その中で医療チームとしての医師の役割を実感しましょう。

2年間の研修の中で、学生時代にはないダイナミックな経験をしながら、コミュニケーション力、バランス感覚も身につきます。

初めの気持ちを行動に移すため、長い職業人生のスタートを私達と歩み出しましょう。

お待ちしております。

先輩研修医から



研修医2年目
谷本 和也

研修が始まって思う事は自分の知識の無さです。国家試験を通ったところで紙面上と実際は全くもって違うものです。たった1つの症状でも考えるべき事はたくさんあって、危ない病気はちゃんと否定出来ているのか？この前出した検査や治療は本当にあれでよかったのか？そんな事を自問自答する毎日です。当院研修プログラムでは埼玉医大での精神科・小児科・産婦人科も回る事が出来ます。高齢者ばかりでなく若い人も診る事が出来、また市中病院だけでなく大学病院の先生方の考え方も勉強出来て良かったと思っています。今後どんな医者になるにしても、どんな患者さんにも優しく向き合えるお医者さんになりたいので一日一日を大事に過ごしていきたいと思っています。

当院における初期臨床研修では指導医にマンツーマンで指導をしてもらえる為、非常に濃密な研修を受けることが出来ます。また、自分の興味関心によりフレキシブルな対応してもらえる為、見たい症例ややりたい手技などがある場合はどんどんやらせてもらえるので非常に勉強になります。比較的小規模の病院ではありますが、研修医による症例勉強会や実践的な超音波の勉強会などもあり、自分の知識やスキルを磨く機会は十分にあると思っています。臨床研修では日々の業務に追われて腰を据えて勉強する機会がないのではないかと心配される方もおられるかもしれませんが、しかしながら当院では一つ一つの症例についてしっかりと学習することが出来る為、自分のペースで堅実に勉強していきたいという方にはオススメです。



研修医1年目
玉木 翼



女性医師支援コーナー

当院では、女性・男性分け隔てなく、仕事と家庭の両立する職員の支援を積極的に進めております。主な支援策として、①365日保育可能な保育園を敷地内に完備。平日だけでなく日直の時にもご利用いただいております。②産前産後休暇や育児休暇、復帰後の短時間勤務③日当直の免除もしくは制限の3点が対応可能となっております。またご家族の事情を勘案した働き方も相談の上、勤務を決定することも出来ます。病院見学時には保育園の見学も可能ですので、是非お申し出ください。



連絡先

関越病院

法人事務局 人事課 臨床研修担当

〒350-2213 鶴ヶ島市脚折145-1

TEL 049-227-6900(直通) FAX 049-286-7462

E-mail recruit@kan-etsu-hospital.or.jp

URL http://www.kan-etsu-hp.ne.jp/hospital/

アクセス 東武東上線坂戸駅下車南口より徒歩13分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院では、初回は基本水曜日で病院見学を開催しており、学生の皆様のご都合に可能な限り合わせた形で行っております。連絡先の電話もしくはメールにてお申込み下さい。

尚、病院見学が面接受験の条件となりますので、皆様のお問い合わせをお待ちしております。

26 埼玉医科大学病院

病院の概要

- 医師数（研修医を除く）412名（うち指導医数 141名）
- 研修医数 1年目 33名 2年目 33名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学・秋田大学・杏林大学・大分大学・山形大学・金沢医科大学・センメルويس大学
- 診療科 血液内科 リウマチ膠原病科 呼吸器内科 消化器内科 肝臓内科 内分泌内科 糖尿病内科 脳神経内科 脳卒中内科 腎臓内科 総合診療内科 感染症科 感染制御科 消化器・一般外科 乳腺腫瘍科 小児外科 麻酔科 小児科 新生児科 産科・婦人科 整形外科・脊椎外科 眼科 耳鼻咽喉科 神経耳科 皮膚科 脳神経外科 形成外科・美容外科 泌尿器科 リハビリテーション科 神経精神科・心療内科 放射線科 放射線腫瘍科 核医学診療科 中央病理診断部 輸血・細胞移植部 健康管理センター 東洋医学診療科 歯科・口腔外科 急患センター（ER）
- 1日平均外来患者数 1,662名 ● 1日平均入院患者数 740名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、特定機能病院、肝炎診療連携拠点病院、エイズ診療拠点病院、災害拠点病院



研修プログラムの特色

3病院自由選択プログラムは、ローテーションする診療科について”自由度が高く、研修医の希望を最大限に取り入れる”当院で最も人気のあるプログラムです。本学の違った特色を持つ3つの大学病院（総ベッド数2,500床）の診療科で自由に研修を行うことができる、オーダーメイドプログラムです。研究マインド育成自由選択プログラムは、3病院自由選択プログラムと臨床研修内容は一緒ですが、研修を行うと同時に大学院に入学することが可能で研修を行いながら、大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。総合医育成広域連携病院自由選択プログラムは、総合医を目指す研修医に適したプログラムです。バランスよく診療科を経験でき、プライマリケア医としての対応能力に優れた”総合医”の育成を目指します。周産期・成育医療専門医自由選択プログラムは、将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。将来の専門医取得にも有利な、より専門的な内容まで踏み込んだ指導を行います。外科系プログラムは、外科専門医取得に重点をおき消化器外科は必須として心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できるプログラムです。今後の専門医に向けた後期研修にスムーズに移行できるプログラムを目指しています。



プログラム 例 埼玉医科大学3病院自由選択プログラム（定員38名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	導入研修	内科					救急			外科	小児科	産婦人科	
2年目▶	精神科	地域医療	自由選択										

※1年目 必修研修として内科24週、救急部門12週（4週を麻酔科へ変更可）、外科、産婦人科、小児科各々4週
 ※2年目 精神科、地域医療研修各4週、それ以外44週は自由選択研修（最終月は埼玉医科大学病院において研修）
 その他 埼玉医科大学研究マインド育成自由選択プログラム（定員5名）、埼玉医科大学総合医育成広域連携自由選択プログラム（定員6名）、埼玉医科大学周産期・成育医療専門医自由選択プログラム（定員4名）、埼玉医科大学病院外科系プログラム（定員2名）

研修医の処遇

- 給与 ▶ 34万円/月（基本給25万円、諸手当含む平均額） 賞与別途支給 50万円/年
- 諸手当 ▶ 日・当直手当、時間外手当、住宅手当、通勤手当、扶養手当
- 保険 ▶ 日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険、医師賠償保険（個人加入、義務）
- 勤務時間 ▶ 原則8時30分～17時30分
- 当直 ▶ あり（平均4回/月）（診療科により多少異なります）
- 休暇 ▶ 9日/月（変形労働時間制）、有給休暇（1年次：10日、2年次：11日）
- 宿舎 ▶ あり（月額2万円）
- その他 ▶ 白衣貸与（クリーニングは病院負担）、研修医個人専用の机・ロッカー、仮眠室・シャワールーム（男女別）、電子カルテ、共有PC（インターネット接続可能）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・長崎県6施設
- ・北海道2施設
- ・新潟病院
- ・たむら記念病院（千葉県）
- ・越生メディカルクリニック
- ・新渡戸記念中野総合病院（東京都）
- ・丸木記念福祉メディカルセンター
- ・シャローム病院
- ・秩父病院
- ・秩父市立病院



当院の魅力

環境の整った施設でより良い研修を

埼玉医科大学病院は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担っていると同時に、特定機能病院として埼玉県全域の医療も担当しています。埼玉県は東京都に隣接しており、人口も734万人を数え、多くの患者さんが来院されます。大学病院の専門性の高い疾患からプライマリケアまで、多くの疾患を経験できるという特徴があります。埼玉医科大学病院には専門医制度にマッチした総合診療内科やアイセンター、てんかんセンター、難病外来等特徴のある診療科も充実しています。また、24時間管理人が常駐する研修医寮がリニューアルされるなど、研修医の為に施設も充実しています。より良い環境豊かな自然と、1時間で都内へ行けるアクセスの良さで研修が可能です。埼玉医科大学3病院で2,500床、さらに3病院の連携の良さは皆さんに最高の研修を提供いたします。皆さんは、この3病院から自分の目的に合った診療科での研修に取り組むことができます。熱心な指導医が多いのも自慢です。



研修責任者から

皆さん、埼玉医科大学病院で初期研修を開始しよう!!

研修先として最適な当院の特徴を説明します。

①スタッフが教育熱心：

高度なスキルを持ったスタッフが熱心に指導します。

②豊富な症例：

臨床医としての実践的な知識と技量を身につけるには、受け持った症例から学ぶことが最も確実です。当院ではコモンな疾患から稀な疾患まで多種多様な疾患を経験できます。

③ハイブリッド型の大学病院：

高度な医療を提供する大学病院とプライマリ・ケアを中心とする地域病院の機能を合わせ持ち、また基礎医学の先生方との共同研究も盛んに行われています。

セキュリティ完備の研修室には研修医の皆さんに専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。

是非とも一度、病院見学に来てください。お待ちしております。



研修管理委員長
山元 敏正

先輩研修医から

私は卒業後引き続き自大学にて初期研修を行っております。

当院は埼玉県全域の医療を担っているため、高度先進医療を提供するとともにcommon diseaseの診療も学べ、豊富な症例を経験できるのが特色だと考えています。車で1時間以内の距離に集約された大学関連の3病院から研修プログラムを選ぶことができるため、自宅から通いながらカリキュラムを自由に組むことが可能です。先生方も大変熱心に指導して下さい、わからないことがあればいつでも相談できる体制が整っています。ぜひ一度当院に見学に来て雰囲気を感じていただければと思います。

私は当院の3病院自由選択プログラムで研修を行っています。このプログラムでは、将来自分の進む道に合った診療科を選択することが可能です。どの診療科でも熱心な先生方が多く、日々充実した研修生活を送っています。救急センターの当直では、上級医のサポートを受けながら、common diseaseから緊急を要する疾患まで様々な症例を経験することができ、自分自身の成長に繋がっています。是非一度見学にお越しください。



研修医1年目
伊藤 瑞也



研修医2年目
石井 玲奈



女性医師支援コーナー

埼玉医科大学病院では、女性医師ひとりひとりのワークとライフを尊重し、短時間勤務で正規雇用と同等の処遇で働ける制度や日直、当直を免除する制度があります。また、女性医師に関する情報提供、アンケートの実施、シンポジウム開催等の活動を行っています。院内には保育園を設置しており、延長保育にも対応していますので、安心してお子様を預けて仕事をすることができます。さらに、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報を提供し、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で、女性医師就業継続支援窓口を設け担当者を配置しています。女性サポートに関する相談であれば、男性の相談も受け付けています。

連絡先 埼玉医科大学病院

臨床研修センター事務室

〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地

TEL 049-276-1862(直通) FAX 049-276-2149

E-mail kenshui@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html>

アクセス JR八高線毛呂駅から徒歩3分・東武越生線東毛呂駅からバス5分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学(随時受付)
当院ホームページに掲載の見学申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し、見学希望日2週間前までに臨床研修センター事務室へE-mail(添付)又は郵送でお申込み下さい。

27 埼玉医科大学総合医療センター

病院の概要



- 医師数（研修医を除く）424名（うち指導医数 123名）
- 研修医数 1年目 33名 2年目 30名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学・岩手医科大学・金沢医科大学・帝京大学・杏林大学・山梨大学・昭和大学・秋田大学・筑波大学・旭川医科大学・藤田医科大学

- 診療科 消化器・肝臓内科 内分泌・糖尿病内科 血液内科
リウマチ・膠原病内科 心臓内科 呼吸器内科 腎・高血圧内科 神経内科 神経精神科（メンタルクリニック）
小児科 新生児科 消化管外科・一般外科 肝胆膵外科・小児外科 血管外科 プレストケア科 呼吸器外科
心臓血管外科 整形外科 形成外科・美容外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 産科 眼科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 歯科口腔外科 麻酔科 産科麻酔科 高度救命救急センター 救急科（ER）
総合診療内科/感染症科・感染制御科 輸血・細胞治療部 病理部
- 1日平均外来患者数 2,116名 ● 1日平均入院患者数 811名
- 主な認定施設 高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床修練指定病院

研修プログラムの特色

当院では病院の特性を活かし、日常的に遭遇するcommon diseaseから専門性の高い疾患のマネジメントまで幅広い研修ができるように工夫しています。研修プログラムは、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『周産期成育プログラム』があります。

4月の導入研修（オリエンテーションを含む）では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。地域医療研修では全プログラムで沖縄県での研修を選択することが出来ます。また、2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。毎月1回のCPCの他に、ランチョンセミナーも定期的に開催し、必修項目に関連した講義を行っています。



プログラム例 埼玉医科大学 3病院自由選択プログラム(募集定員50名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	導入研修	内科						救急	麻酔科		外科	小児科	
2年目▶	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択									

【必修】内科24週、救急8週、麻酔科8週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療4週(2年目)
 【自由選択】2年目の40週(地域医療8週の場合は36週)は、どの診療科、施設で研修するか、研修期間を含めて研修医自身が選択出来る。
 その他 周産期成育プログラム(募集定員6名)、研究マインド育成自由選択プログラム(定員4名)

研修医の処遇

- 給与▶ 基本給34万円/月（基本給25万円、諸手当含む平均額）、賞与別途支給50万円/年
- 諸手当▶ 宿日直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当
- 保険▶ 日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶ 原則8時30分～17時30分
- 当直▶ あり（平均4回/月）
- 休暇▶ 有給休暇（初年度10日）
- 宿舎▶ あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・埼玉医科大学国際医療センター
- ・沖縄県立北部病院(附属診療所含む)
- ・沖縄県立宮古病院(附属診療所含む)
- ・帯津三敬病院
- ・恵愛病院
- ・東松山市立市民病院
- ・赤心堂病院
- ・秩父病院
- ・南古谷病院



当院の魅力

大学病院から離島まで

埼玉医科大学総合医療センターは、最先端の設備の中で平成19年には埼玉県よりドクターヘリ基地病院、平成28年には小児救命救急センターの指定を受けた地域基幹病院として高度な医療を提供し地域医療に貢献するのみならず、埼玉医科大学病院群の中では“Super General Hospital”と位置づけられ、診療のみならず大学病院として教育、研究についても優れた成果をあげています。

高度救命救急センター新棟を始め、外来化学療法センター、血液浄化センター、内視鏡センター、無菌室病棟などを新設し、病棟も順次改修工事を進めており、最新の設備で充実した研修を行うことができます。

地域医療研修では、沖縄県立北部病院（同附属診療所を含む）、沖縄県立宮古病院での研修を2ヶ月間選択することができます。（往復の交通費及び宿泊費（上限あり）の補助があります。）実際に研修した先生方からは、大学病院とは大きく異なる環境で研修することで、とても勉強になったと好評です。

小江戸川越は古い街並みを残す歴史のある落ち着いた都市です。都内から近いこともあり近年多くの観光客で賑わっています。伝統と都会的な新しい感覚が混じった川越で研修医としての2年間をスタートしてみませんか。



研修責任者から



研修管理委員長
木崎 昌弘

埼玉医科大学総合医療センターは、歴史あふれる小江戸川越に位置する病床数1,053、1日外来患者数2,000名超、36診療科に総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター及び小児救命救急センターを有する県内最大の医療施設です。診療とともに教育、研究にも力を入れており、初期臨床研修では最新鋭の医療機器の導入による大学病院としての機能を十二分に発揮した先端医療から、common diseaseを中心とした地域医療まで幅広い疾患を学ぶことができます。私どもは、臨床研修の目標を「日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリー・ケアの基本的診療能力を身につける」ことを基本とし、その上でさらなる専門教育を行なっています。全診療科に研修指導責任者、指導医をおき、日常の悩みから効果的な研修などの適切なアドバイスを、研修目標が到達できるように支援しています。また、昨年より、研修管理委員会に研修医や若い先生方を委員として加え、研修医の生の声を反映できるような研修システムを作るように心がけています。

2年間の研修中には、人気の沖縄離島研修も組み込まれていますので、大学病院から離島までの幅広い医療の現場を体験することが可能です。私どもは研修医の先生方ひとりひとりを大切に育て、次世代の我が国の医療を担う人材を育てたいと考えています。研修医として多くの方々がわれわれの門戸を叩いてくれることを心より歓迎いたします。

先輩研修医から



研修医2年目
高橋 久一郎

埼玉県内で初期研修を考えていた私は、①1症例1症例をしっかりと消化し自分の物にしたい②自分の治療方針やアセスメントを上級医にキチンと評価してもらいたい③じっくりやりたいけど症例数も積み重ねたい、という3つの理由で総合医療センターを軸に3病院自由選択プログラムを選択しました。同じ診療科と言っても3病院でその特徴・社会的役割は異なるため、自分の達成したい目標に応じて各病院の診療科を選択できる事は私にとってとても有意義なものでした。

研修医は60人前後と多いですが、疾患に対する治療方針・その日にしてしまった間違いや経験した貴重な症例・他科の様子・手技の上手なやり方など、1人では得られない多くの情報を得ることが出来ます。幅広く症例を経験し消化不良とならないようしっかりとステップアップするために、当院での初期研修をお勧めします。

当院の特長は、何といても大学病院+市中病院の両方の要素を持ち合わせている点です。高度救命救急センターや総合周産期母子医療センターといった日本有数の施設があり、最先端の医療を学びながら研修ができます。また大学病院ですので、経験豊富な上級医から多くの症例を通して丁寧な指導を受けることができます。若手から上級医まで層が厚く、先生方との距離が近いため気軽に相談しやすいのも良いところです。

一方で地域を担う市中病院の面もあるため、common diseaseも十分に経験できます。とくに内科当直ではファーストタッチを初期研修医が行うため自主的に考える力も十分に養えます。つまり自身のやる気と学ぶ姿勢があれば、多くを教えてくれる人材と環境が整っている病院といえます。ぜひ一度見学にいらしてください。一同お待ちしております。



研修医1年目
河野 由香里



女性医師支援コーナー

- ・当院では子育て支援の一環として、時短勤務制度を設けており、女性医師の働きやすい環境を支援しています。産前産後の休暇はもちろんのこと、日直、当直の免除や短時間勤務を利用しながら、安心して子育てと研修ができるようサポートしています。
- ・院内には保育所（定員80名）を設置しており、保育士は25名以上在籍していますので安心して預けられます。
- ・女性医師就業継続支援窓口（医療人育成支援センター女性医師部門）を設けています。



連絡先 埼玉医科大学総合医療センター

臨床研修センター

〒350-8550 川越市鴨田1981

TEL 049-228-3802(直通)

FAX 049-228-3802

E-mail kensi@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.kawagoe.saitama-med.ac.jp/resident/>

アクセス 東武東上線、JR川越線川越駅からバス25分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学は随時受け付けています。当院ホームページに掲載の申込書を入力し、メールに添付してお申込み下さい。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）55名（うち指導医数 12名）
- 研修医数 1年目 3名 2年目 2名
- 研修医の主な出身大学 昭和大学・東海大学・浜松医科大学・徳島大学・群馬大学・岡山大学・宮崎大学・日本大学
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 代謝・内分泌内科 精神科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 歯科 麻酔科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 440.6名 ● 1日平均入院患者数 206.7名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、日本外科学会専門医修練施設、日本内科学会認定医教育関連施設 日本整形外科学会専門医研修施設、小児科専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医研修指導施設



研修プログラムの特色

2020年度より、小児科・産婦人科・外科・精神科・麻酔科の完全必修化となりました。西埼玉中央病院では、2019年度より、大幅なプログラム改定に取り組み、一足先に完全必修化を実現しています。2019年度の改定の目玉は、初期臨床研修の重要な救命救急です。同じ医療圏の埼玉医科大学国際医療センター根本教授による指導をお願いしました。既に2年間研修ローテが行われ、研修医から大変良好な評価をもらっています。更に、2年時の地域枠では、訪問在宅診療を行っているわかさクリニックとの連携を組むことができ、癌患者の病院研修から、在宅訪問診療までシームレスに診療研修ができるようになりました。

2021年度には、災害医療センター放射線科での緊急IVR含めたプログラム改定も待っています。自院でできない研修は、他の施設でのトップクラスでの診療を行うことを目指し、研修医にとってよりよい研修プログラムの提供を考えています。



プログラム例 西埼玉臨床研修プログラム(募集定員3名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科						総合診療	救命救急	外科	小児科		
2年目▶	麻酔科	地域医療	精神科	産婦人科	放射線科	選択						

○内科必修：消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科および東埼玉病院での神経内科。いずれも1.5~2ヶ月。

○救急必修：埼玉医科大学国際医療センターでの三次救急。

○選択【内科系】消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科および東埼玉病院での神経内科

【外科系】消化器・一般外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、脳外科

【救急】埼玉医科大学国際医療センターでの三次救急

【その他】小児科、麻酔科、救急、放射線科、および国立精神・神経医療研究センター病院での精神科



研修医の処遇

- 給与▶ 約36万円/月
- 諸手当▶ 通勤手当、超過勤務手当、宿日直手当等
- 保険▶ 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険あり
- 勤務時間▶ 8:30~17:15
- 当直▶ あり(4回/月)
- 休暇▶ 有給休暇年間12日付与
- 宿舎▶ あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学国際医療センター
- ・国立病院機構埼玉病院
- ・国立病院機構東埼玉病院
- ・国立精神・神経医療研究センター病院
- ・わかさクリニック



当院の魅力

研修しやすい環境

2018年5月より教育研修部長として呼吸器内科濱元が就任以降、研修医のためのプログラム改定を目指し取り組んでいます。おかげさまで、2021年度初期臨床研修医採用試験では、過去最多の受験者数となり、教育研修病院として成長しています。当院の魅力のメインは、研修プログラムになります。自院でできない診療科は外のエキスパートでの研修です。そこで、問われるのが、コミュニケーション能力です。自院にいれば、比較的簡単にローテは移行できます。しかし、他の施設でのローテが多い研修病院では、常に緊張感も生まれます。外研修が多くても、教育部からのバックアップはしっかり目を光らせ、フォローも必ず致します。次の魅力は、何といたっても研修医数の少ない定数です。研修医が少なく、大学病院ではない臨床研修病院です。多くの手技にも携わるチャンスができてきます（診療科によって異なります）。呼吸器内科では、指導医のもと1年目から胸腔ドレーン挿入なども多く経験させることとしています。

魅力ある研修病院として、胸を張れる施設に作っていくのは、次世代の医学生からです。Web・実際の見学、随時受け付けていますので、連絡おまちしています。

研修責任者から



プログラム責任者

濱元 陽一郎

2018年5月より教育研修部長に就任した濱元です。西埼玉中央病院では、今まで研修医採用についてあまり元気のない病院でした。原因は、やはりプログラムにあります。我々は研修医のための研修プログラム作りから再考しました。自施設で提供できない研修には、他のトップクラスの研修施設と連携を組むプログラムを実現しています。より良い研修医を集め、皆で問題点を見直し、自由度の大きな研修施設と生まれ変わりつつあります。そして、昨年度は、研修医が内科学会で口頭発表したCPC症例も、英字のケースレポートとしてPublishされています。大学や大手の研修病院ではなく、オリジナルの研修病院作りを一緒にやりましょう！

先輩研修医から



研修医2年目

中村 紗佑里

私が西埼玉中央病院での研修を決めた理由は、「主治医として診療に関わり、common diseaseに自信をもって対応できるようになる」という目標を実現できると感じたからです。実際、普段の診療から救急対応まで、あらゆる場面で主体的に動くことができています。手技に関しても、手厚いご指導をいただきながら十分に経験させていただいています。小児科、産婦人科が充実しているのも特徴です。ぜひ当院で自分にあった研修生活を送ってください。

私が西埼玉中央病院を選んだ理由は、
①教育への熱心さ
②主体性を持って働けるフレキシブルな環境の2点です。

当院は研修医をととても大切に扱ってくれます。常に心配して声をかけて頂き、「〇〇がしたい」という希望にも即対応してくれます。3年目に向けて医師や機関を紹介してくれたり、研究の手伝いもできます。休みや給料もきちんと頂いています。是非一度見学に来てください。



研修医2年目

和田 悠佑



女性医師支援コーナー

当院の女性医師への初期臨床研修のメリットとして、院内保育所の設置があります。働きながらも、子育てできる環境でもあります。初期臨床研修では、しっかりと2年間を経験するため、当直の免除制度はありませんが、昔のように遅くまで研修医（主治医性として）を残すことはありません（働き方改革）。女性だからではなく、よりよい研修をするために！を考えて自分磨きができる施設に成長中です。2年時の自由選択枠のローテも相談にて決めています。自分の生活にあわせたローテ作りも魅力の一つです。



連絡先 国立病院機構 西埼玉中央病院

管理課 給与係長 武川修平

〒359-1151 所沢市若狭2-1671

TEL 04-2948-1111(代表) FAX 04-2948-1121

E-mail mukawa.shuhei.nd@mail.hosp.go.jp

URL http://www.hosp.go.jp/~wsaitama/byouin_shoukai.html

アクセス 西武池袋線小手指駅から徒歩20分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・当院HP「職員募集ページ」から病院見学をお申込みください。病院見学では当院臨床研修医及び若手医師と昼食会を設けています！！
- ・宿泊施設は院内にて格安で提供いたします。



病院の概要

● 医師数（研修医を除く）109名（うち指導医数 26名）

● 研修医数 1年目 10名 2年目 7名

● 研修医の主な出身大学 徳島大学・福島県立医科大学・産業医科大学・
東京女子医科大学・高知大学・東海大学・日本大学・
獨協医科大学・埼玉医科大学・新潟大学・浜松医科大学・
琉球大学・弘前大学・鳥取大学

● 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科 内分泌・代謝内科 腎臓内科 神経内科 感染症内科
人工透析内科 緩和ケア内科 外科 呼吸器外科 心臓血管外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 肛門外科
整形外科 脳神経外科 形成外科 精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 病理診断科 救急科 麻酔科 歯科（33診療科）

● 1日平均外来患者数 132名 ● 1日平均入院患者数 414名

● 主な認定施設 臨床研修指定病院（基幹型）、地域医療支援病院、日本病院機能評価認定施設



研修プログラムの特色

患者中心の医療を行い地域社会に貢献する医師となるべく、医師としての良識とチーム医療を実践できる能力を身に着けること。そして将来専門とする分野にかかわらず、医師として必要な診療に関する基本的知識、技術、問題解決力を習得することを研修の理念としています。

初期臨床研修とは「医者の基本」を学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻繁に遭遇するCommon disease に対する診療能力を身に着ける」。当院ではこの2つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力の指導に力を入れております。当院は地域の中核的な超急性期病院であり、救急患者や緊急入院が多く、また複数の医学的問題を抱えた高齢者の入院が多いことが特徴の一つです。臓器にとらわれない「Generalist の視点」で救急から入院初療、退院まで一貫して関わり、退院後のケアや患者家族の心情までも配慮できる「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を行っています。



プログラム 例 埼玉石心会病院臨床研修プログラム（募集定員10名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科（総診8週、腎内8週、消内8週、循内8週）32週								救急科	外科（消外8週・他外4週）12週		麻酔科	
2年目▶	救急科	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	選択ローテーション32週							

①内科32週：総合診療科（※）8週、腎臓内科8週、消化器内科8週、循環器内科8週が必須。 ※総合診療科（主に内科領域、神経、呼吸器、内分泌、糖尿病内科を研修する）

②救急12週：1年次に4週、2年次に4週必須。 ※麻酔科、救急当直（月に数回）と毎週半日の救急研修を合わせて合計12週以上とカウントする。

③外科12週：消化器外科+乳腺・内分泌外科12週（または消化器外科+乳腺・内分泌外科8週+外科系4週）が必須。

※外科系：消化器外科、心臓血管外科、整形外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科

④麻酔科（救急）：4週必須

⑤小児科：2年次に4週必須。研修協力施設：埼玉医科大学病院/西埼玉中央病院/済生会川口総合病院（8週） ※一般外来研修を含む

⑥産婦人科：2年次に4週必須。研修協力施設：埼玉医科大学病院/西埼玉中央病院/埼玉病院

⑦精神科：2年次に4週必須。研修協力施設：埼玉医科大学病院/川越同仁会病院/高月病院

⑧地域医療：2年次に4週必須。研修協力施設：町立小鹿野中央病院、南魚沼市民病院、さやま総合クリニック、知床らうす国民健康保険診療所、宮古島徳洲会病院 ※一般外来研修および在宅医療研修を含む

⑨選択ローテーション：合計32週

以下の診療科から選択ローテーションする。各科は原則として最低4週以上から選択可。既にローテートした必修科を繰り返し選択可（必修科と選択ローテーションを分けて必修科を延長することも可）。

総合診療科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病/内分泌・代謝内科、外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科



研修医の処遇

給与▶ 1年次：40万円/月、2年次：45万円/月
諸手当▶ 通勤手当、当直手当
保険▶ 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険あり
勤務時間▶ 8時30分～17時（土曜日13時）
当直▶ あり（4～6回/月）
休暇▶ 土曜日午後、日曜、祝祭日
宿舎▶ あり※家賃補助制度

主な臨床研修
協力病院・協力施設

・埼玉医科大学病院（小児科、産婦人科、精神科）
・済生会川口総合病院（小児科）
・西埼玉中央病院（小児科、産婦人科）
・埼玉病院（産婦人科）
・川越同仁会病院（精神科）
・高月病院（精神科）
・町立小鹿野中央病院（地域）
・南魚沼市民病院（地域）
・知床らうす国民健康保険診療所（地域）
・宮古島徳洲会病院（地域）



当院の魅力

～教育のあるところに人は集まる!～

埼玉石心会病院は研修医教育に力を入れています。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻りに遭遇するCommon diseaseに対する診療能力を身につける」この二つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力の指導をしています。

- ①【**バランスのとれた研修内容**】 救急車の受け入れ台数は年間9,000台以上。救急患者や重症患者が多いため、気管挿管、胸腔ドレナージ、中心静脈路確保などベッドサイド手技の件数が圧倒的に多いです。しかしそれだけではなく、Attitude（患者との接し方、問題解決能力）・Skill（手技）・Knowledge（知識）をバランスよく指導していきます。
- ②【**救急研修の工夫**】 1年次と2年次の2回に分けて救急ローテーションを行い、安全性とときめ細かいフィードバックがもらえる屋根瓦式診療体制を整えています。また救急ローテーションとは別に、毎週半日の救急研修を2年間継続して行います。診療の振り返りを行いながら課題を見つけ、ステップアップ的に初期救急対応能力を身につけることができます。
- ③【**丁寧な研修医教育**】 経験した症例や手技について指導医とのディスカッションを重ねて丁寧なフィードバックをもらうことができます。埼玉石心会病院では診療を振り返り、自らの気づきや課題を見つけて学びを促していく「Reflective Learning」の教育手法を大切にしています。
- ④【**豊富な教育行事と学び教え合う文化**】 研修医向け勉強会が豊富にあり、学んだことを常に仲間と共有（シェア）していく文化が根付いています。診療科の垣根がなく、指導医や先輩研修医と気軽に語り合える和気藹々とした雰囲気があり、指導医と研修医がお互いに教え合い、学び合う文化を大切にしています。



研修責任者から



研修管理委員長/
プログラム責任者
元 志宏

初期研修とは「医者の基本」を学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得と頻りに遭遇するCommon diseaseに対する診療能力を身につけること」、当院ではこの2つの研修目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても最低限必要となる基本的臨床能力を鍛えるための研修に力を注いでいます。ベッドサイドの手技の件数が多いことも魅力の一つですが、当院は急性期医療を担う中核病院であるとともに在宅医療にも力を入れており、「地域完結型医療」を研修することが出来ます。2年間の初期研修終了後には、「医者の基本」を十分に習得できていることでしょう。ぜひ一度埼玉石心会病院に見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医から

当院は研修を行う上で十分な環境が整っております。数多く幅広い症例を見ることができ、その診療に関して上級医と相談できる環境があります。それだけでなく医師以外の医療従事者の優しいサポートや同期、先輩研修医との繋がりも強く、一緒に頑張っていけるような雰囲気のある病院です。医師キャリアのスタートとして安心して取り組める職場だと思います。興味を持たれた方は是非一度見学にお越しください。研修医一同心よりお待ちしております。

研修医1年目 **小峯 柁野**

埼玉石心会病院は「断らない医療」の理念のもと、年間約9,000台もの救急車を受け入れている地域の中核的な超急性期病院です。そのため初期研修医として多くの症例に携わることができます。救急科指導医もいるため救急対応の基礎から学ぶことができます。毎週半日救急当番があることも他の病院にはない特徴の一つです。まだ何科に進むか決まっていなかった私にとって、救急での初期対応力はいずれどの科に行っても必要だと思っていたため当院はそれが叶います。

指導医や先輩研修医共に話しやすく指導に熱心な方も多く、手技など率先して研修医にやらせてもらえるところも魅力的だと思います。是非一度当院に見学に来てください。

研修医1年目 **廣 茉莉**



女性医師支援コーナー

産休・育休を取得して復帰された女性医師が複数います（出産を機に辞めたという方はいません）。また育児のための当直免除や短時間勤務職員制度もあります。院内保育所では24時間保育を365日行っており、女性医師が働きやすい環境整備に努めています。

連絡先 **社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院**

担当 関 雅昭

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20

TEL 04-2953-0909(直通) FAX 04-2953-8040

E-mail masaaki-seki@saitama-sekishinkai.org

URL http://www.saitama-sekishinkai.jp

アクセス 西武新宿線狭山市駅から徒歩10分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学の申込みは随時行っています。気軽にお申し込みください。
- ・採用試験は毎年8月～9月上旬に実施しています。

病院の概要



- 医師数（研修医を除く）299名（うち指導医数 124名）
- 研修医数 1年目 4名 2年目 5名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学・東海大学・富山大学
- 診療科 脳脊髄腫瘍科 小児腫瘍科 小児外科 造血器腫瘍科 婦人科腫瘍科
泌尿器腫瘍科 乳腺腫瘍科 皮膚腫瘍科 骨軟部組織腫瘍科
頭頸部腫瘍科 形成外科 原発不明・希少がん科 支持医療科
精神腫瘍科 放射線腫瘍科 病理診断科 消化器内科 消化器外科
呼吸器内科 呼吸器外科 心臓内科 不整脈科 心臓血管外科 小児心臓外科 小児心臓科
心臓リハビリテーション科 救命救急科 総合診療・地域医療科 脳卒中内科 脳卒中外科 脳血管内治療科
画像診断科 核医学科 運動・呼吸器リハビリテーション科 麻酔科 集中治療科
- 1日平均外来患者数 742.5名 ● 1日平均入院患者数 665.4名
- 主な認定施設 JCI認定施設、日本医療機能評価機構認定病院、心臓移植実施施設、がん診療連携拠点病院、埼玉県災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院 他

研修プログラムの特色



当院のプログラムの最大の魅力は大学病院と市中病院の「良いとこどり」ができることです。埼玉医科大学病院および埼玉医科大学総合医療センターのほか、11の協力型臨床研修病院で研修をすることができ、将来ジェネラルとしても、エキスパートとしても医療現場で活躍できるよう指導を行っています。また、地域医療研修では沖縄県で研修することも可能です。

- ・ 3病院自由選択プログラム（定員12）：到達目標の達成を念頭に置きながら研修医が自由に診療科を選択することができる、もっとも自由度が高いプログラムです。
- ・ 特設外科系プログラム（定員2）：多彩な症例を通じて多くの手術症例を経験し、手技を積極的に学び、適切な判断ができる外科系医師を育成することを第1目標とするプログラムです。最短期間で外科専門医を取得できるように調整することもできます。
- ・ 研究マインド育成自由選択プログラム（定員2）：臨床研修と大学院を同時期に学べるプログラムで、学位を卒業4年目、もしくは5年目終了時に取得できるプログラムです。研修開始時には大学院の入学試験に合格しておく必要があります。

プログラム例 埼玉医科大学3病院自由選択プログラム(募集定員12名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	導入研修	内科					救急			産婦人科	小児科	外科	
2年目▶	精神科	自由選択			地域医療		自由選択						

導入：当院でオリエンテーションを兼ねて研修を行う。内科：24週以上の研修とする。

救急：12週以上の研修とする。麻酔科4週(上限)、救急8週の組み合わせ研修も可能とする。外科、産婦人科、小児科、精神科：4週以上の研修とする。

地域医療：8週以上(一般外来4週含む)の研修とする。

自由選択：当院並びに協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設より選択できる。

・2年次の最後の4週は当院で研修とする。

・臨床研修協力施設での研修は2年次以降とする。

・2年間の研修期間のうち、当院での研修は52週以上とする。なお、地域医療や保健・医療行政での研修期間12週を上限に、当院での研修と見做すものとする。

その他：埼玉医科大学国際医療センター特設外科系プログラム(定員2名)、埼玉医科大学国際医療センター研究マインド育成自由選択プログラム(定員2名)

研修医の処遇

- 給与 ▶ 34万円/月（基本給25万円、諸手当含む平均額） 賞与別途支給50万円/年
- 諸手当 ▶ 日・当直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当
- 保険 ▶ 健康保険：日本私立学校振興・共済事業団、年金：日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険：加入、労災保険：加入、医師賠償保険：個人加入
- 勤務時間 ▶ 8時30分～17時30分
- 当直 ▶ あり：4回/月（診療科により、多少異なります）
- 休暇 ▶ 9回/月（変形労働時間制）。有給休暇（1年次：10日、2年次：11日）
- 宿舎 ▶ あり
- その他 ▶ 白衣貸与（クリーニングは病院負担）、研修医室あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

【協力型臨床研修病院】

- ・相澤病院
- ・国立病院機構埼玉病院
- ・さいたま市立病院
- ・熊谷総合病院
- ・新久喜総合病院
- ・行田総合病院
- ・西埼玉中央病院
- ・小川赤十字病院
- ・足利赤十字病院
- ・横浜市立市民病院
- ・立川総合病院



当院の魅力

専門研修に連動した初期研修

◆症例の質・量ともに抜群の研修環境

埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病、脳卒中に対する高度専門医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供しています。埼玉西部地区の地域医療の最後の砦を目指していますので、大学病院でありながら地域医療も担っています。このため豊富な症例を経験することができます。

◆国内屈指のスペシャリスト集団による指導が初期研修から受けられる

臨床能力の優れた医師が多数在籍しているため、初期研修のうちから一流の診療に携わることができます。また、7領域(内科、外科、麻酔科、脳神経外科、放射線科、病理、救急)で専門研修基幹施設認定を受けており、初期研修から専門医取得を見越して研修することができます。

2019年9月には本邦で初めて低侵襲手術ロボットシステム「センハンス・デジタル・ラパロスコピー・システム」を導入いたしました。

◆すべての救急を短時間で効率よく診ることができる

当院は三次救急施設の認定を受けておりますが、すべての救急搬送を受け入れ、24時間体制で治療にあたっています。

内科系、外科系共に国内屈指の症例数があり、世界に引けを取らない最先端医療が整っていることが最大のポイントです！



研修責任者から



研修管理委員長
林 健

当院は、がん、心臓病、脳卒中を含む救命救急の診療に特に力を入れており、全国屈指の症例数と高度医療の提供を行っております。ICU/HCUが96床あることからわかるように、重症患者が多く、初期研修で特に重要な重症患者の全身管理を学ぶのに適した環境にあります。また、救急の応需率はほぼ100%でして、断らない救急を経験して力をつけるのにぴったりです。

高度な医療を経験するとともに、多くの施設と協力してcommon diseaseを経験する場も十分確保しています。病院全体が研修医を育てて行こうという空気に満ちています。

国際水準の高度医療を提供する、いわば「世界を知る病院」です。若い時からこのような施設で研修することは、そのキャリアに必ず役に立つと思います。専門医取得からその先、さらに海外留学等まで見据えて育てていきます。当院に是非いらしてください。

高度な医療を経験するとともに、多くの施設と協力してcommon diseaseを経験する場も十分確保しています。病院全体が研修医を育てて行こうという空気に満ちています。

先輩研修医から



研修医1年目
赤津 堯之

学生の頃、カンファレンスや手術等に参加し、熱心に優しく指導していただき、この先生方の下で研修したいと思い当院を選びました。

専門性の高い症例が学べることはもちろん、救命救急センターで1次から3次救急まで幅広く経験することができます。重症患者を多く経験することで、軽症～中等症の患者さんに対しても余裕をもって対応できるようになりました。また、入院患者の多くは複数の基礎疾患を持っており、common diseaseに触れる機会も多いです。

臨床研修病院群から自由に診療科を選択できること、大学病院という患者数が多い場所だからこそ、学びたい症例を研修することができます。まずは是非一度病院見学にいらしてください。

がん薬物療法専門医の取得を目指しており、がん治療において多彩な治療を経験できることに魅力を感じ、当院で初期・専門と一貫して研修をおこなっております。当院のがん診療は、がん薬物療法専門医の取得要件である、呼吸器、消化器、血液、原発不明がんの研修ができること、近年注目されている心疾患の合併がん治療後の心疾患についても、随時、当院の循環器内科へ相談できる環境にあることです。また、放射線腫瘍科で根治治療や緩和照射、移植前処置を行っています。さらに、当院は心臓病、脳卒中、救急が研修医に人気で、各科で豊富な症例数と濃厚な研修をすることができます。



専攻医2年目
麻生 智愛



女性医師支援コーナー

当院では、女性医師がキャリアを続けていける制度が充実しています。医師の約1/3を女性が占める時代、その活躍を支援するため、産前・産後並びに育児休暇の取得後、一定の育児期間中は直営の免除や短時間勤務など柔軟に働くことが可能です。また、短時間勤務で正規雇用と同等の処遇で働ける制度もあります。(身分：助教)

院内託児所(定員120名、夜間保育あり)も整備されており、子供を預けながら臨床業務や研究に集中して取り組むことができます。さらに、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で女性医師就業継続支援窓口(医療人育成支援センター内)を設け、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報等の提供を行っています。



連絡先 埼玉医科大学国際医療センター

臨床研修センター

〒350-1298 日高市山根1397-1

TEL 042-984-0079(直通) FAX 042-984-0594(直通)

E-mail imckensh@saitama-med.ac.jp

URL http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/kenshu/

アクセス JR川越線・八高線高麗川駅(路線バス約10分)

東武越生線東毛呂駅(路線バス約15分)



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時可能です。

臨床研修センターのHPより見学申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、見学希望日の2週間前までに臨床研修センターへE-mail(添付)でお申し込みください。見学希望日2週間前を過ぎた場合は、臨床研修センターへ電話してください。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）45名（うち指導医数 13名）
- 研修医数 1年目 5名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・杏林大学・東京医科歯科大学・岐阜大学・大分大学・東北大学・埼玉医科大学・旭川医科大学・福井大学・昭和大学・日本医科大学・産業医科大学・福岡大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 消化器外科 呼吸器内科 腎臓内科 神経内科 リウマチ科 外科 肛門外科 整形外科 脳神経外科 血管外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 小児科 麻酔科 放射線科 病理診断科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 788名 ● 1日平均入院患者数 410名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院、基幹型臨床研修病院、がん診療指定病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院、二次救急指定病院



研修プログラムの特色

埼玉県北部の中核病院の為、症例が集まり、採用する研修医は少人数の為、一人一人が多くの手技を経験できる環境にあります。また、外科系の指導医や専門医が多数在籍しているため多角的な視点で指導を受けられます。

その他、内科系も各専門医が揃っております。「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」"プライマリ・ケア"を経験することができます。

地域医療の基幹病院として、一般診療、救急外来をとおして、プライマリ・ケアを中心に幅広い診療能力を身に付け、チーム医療の一員としての役割を自覚し、医師として必須の人格を涵養することを目指します。



プログラム 例 標準コースプログラム(募集定員5名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科						救急			その他必修科目			
2年目▶	地域医療		選択科目										

※内科研修は、呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・一般内科・腎臓内科をローテーションします。
※産婦人科・精神科は協力病院にて研修を行います。



研修医の処遇

- 給与▶ 1年目：年俸700万円 2年目：年俸750万円
- 諸手当▶ 年俸に含む
- 保険▶ 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 9時00分～18時00分
- 当直▶ あり（4回/月）
- 休暇▶ 日曜日、祝祭日、有給休暇（年10日）、年末年始（4日間）
- 宿舎▶ あり（法人契約で提供、家賃補助有）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・埼玉医科大学国際医療センター
- ・済生会鴻巣病院
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院
- ・西吾妻福祉病院
- ・行田クリニック
- ・ハートフル行田



当院の魅力

働きやすく積極的に手技を学べる環境

当院は地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院の指定を受けています。医局は、大学からの派遣はなく総合医局制度を敷いているため、診療科の横断的なコミュニケーションが可能でやりたい治療を実践できる環境です。

救急は、北部メディカルコントロール（MC）の埼玉県救急搬送困難事案受入病院に指定され、埼玉県北西部・北部の救急搬送の広域を担っているため、受け入れ件数は地域No.1(年間5,000件以上)であり多様な症例を経験することができる病院です。また、地域のかかりつけ医として感冒や各種諸症状の初期診療の体制も充実、ケアミックス型の病院で、急性期から慢性期まで完結型の医療を行っています。



研修責任者から



病院管理者
林 暁

当院は医療過疎地域である埼玉県北部において最大規模を誇る地域の中核を担うケアミックス型の総合病院です。地域からの信頼も厚く、紹介件数や救急搬送件数も年々増加しており、生活習慣病から貴重な手術症例などを広い範囲で経験することができます。また、「どれだけ手技を多く経験できるか?」という点については、他の研修病院と比較しても抜きん出ています。「順番がまわってこない・・・」ということもありません。あらゆる現場に積極的に参加してください。研修中以外の診療科からも勉強になる症例・検査が発生した場合にはコールされることがあり、医局・職員全体で指導を行う体制が整っています。地域の健やかな暮らしを守るための診療能力を身につけようと考えている医学生のご応募をお待ちしております。

先輩研修医から



研修医1年目
橋本 鴻太郎

行田総合病院では指導医の先生と円滑にコミュニケーションをとり、比較的自由に研修プログラムを組むことができる為、初期研修医生活を自分の望む形で送ることができます。回っている診療科以外でも、勉強になる症例や手技があれば積極的に呼ばれ、空き時間に興味のある診療科に参加することもできます。

また、指導医の先生だけでなく、各々の分野に精通しているコメディカルスタッフからも日々多くのことを学ばせていただいています。

当院は指導医の先生とマンツーマンで診療に携われ、手厚い指導を受けることができ、手技を経験できるチャンスも多いです。コメディカルスタッフとの関係も良好で、チーム医療を行う上で働きやすい環境です。

また、救急車受け入れ台数が近隣医療圏随一で、たくさんの症例を経験することができ、年間を通じ、ファーストタッチから検査、診断、ICまでを周りのサポートを受けながら、行うことができます。

研修医を温かく見守る雰囲気を実感しに、是非見学にお越しください！



研修医1年目
清元 志保



女性医師支援コーナー

保育室完備。

定員は、30名で基本的には3歳までのお子さんをお預かりしています。

ほかに学童や幼稚園帰りのお子さんもお預かりしています。学童保育は要望があれば6年生まで預かります。365日休まず、夜間保育も希望のある日におおむね月に14日くらい運営。何か事情があるときに単発でもお預かりしています。

子どもを預けられれば働けます、というご要望があれば、お預かりいたします。

男性医師で奥様の都合が悪い時や体調の悪い時などにも臨時でお預かりします。



連絡先 **社会医療法人 壮幸会 行田総合病院**

医師担当課

〒361-0056 行田市持田376

TEL 048-552-1111(代表・直通) FAX 048-552-1116

E-mail pub_info@gyoda-hp.or.jp

URL http://gyoda-ho.or.jp

アクセス JR高崎線行田駅から徒歩20分またはバス5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・ 病院見学は随時可能です。お気軽にお電話、メールにてお問い合わせください。救急センター、内視鏡室、手術室といった実際の診療現場を見学することができます。
- ・ 研修医や指導医と面談していただき、研修の中身について理解を深めていただきたいと思います。
- ・ 交通費や宿泊費補助もあります。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）56名（うち指導医数 11名）
- 研修医数 1年目 4名 2年目 2名
- 研修医の主な出身大学 山形大学・滋賀医科大学・昭和大学・京都大学・広島大学・新潟大学・熊本大学・琉球大学 など
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 外科 消化器外科 心臓血管外科 小児科 産婦人科 整形外科 脳神経外科 麻酔科 皮膚科 泌尿器科 漢方内科 眼科 救急科 歯科口腔外科 病理診断科 放射線診断科 放射線治療科 リハビリテーション科 耳鼻咽喉科 呼吸器外科 呼吸器内科 臨床検査科 心理療法室 鍼灸室 血液内科 神経内科
- 1日平均外来患者数 687名 ● 1日平均入院患者数 253名
- 主な認定施設 救急告知、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院 など



研修プログラムの特色

高い倫理観と豊かな人間性、また常に科学的な妥当性や探究能力、それに社会発展に貢献する使命感と責任感を持った「全人的な医師」を育成することを研修の理念としています。研修プログラムは内科や救急、地域医療の必修科目以外にも外科や小児科、産婦人科、麻酔科、精神科等を研修するスーパーローテート方式となっており、救急科の研修はローテート科と並行して2年間継続して行うことで診療能力が格段に向上します。また、画一的なものでなく、個人の希望や特性に応じて柔軟に対応するためにオプションの研修科・期間を多めにとっています。

プログラム例 羽生総合病院初期臨床研修プログラム(募集定員4名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科			外科			麻酔科	救急科			小児科	
2年目▶	内科(総合診療科)	内科系選択		産婦人科	精神科	へき地・離島		選択科				

- ・ 救急科 12週必修、自由選択28週(整形外科、脳神経外科、循環器内科等)
- ・ その他 総合診療科プログラム(募集定員2人)・・・



研修医の処遇

- 給 与▶ 約34万円/月
- 諸 手 当▶ 当直手当、休日手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、家族手当等多数
- 保 険▶ 公的医療保険：協会けんぽ、公的年金保険：厚生年金、労働者災害補償保険法の適用：あり、雇用保険：あり
- 勤務時間▶ 8時30分～17時00分（当直：別途確認下さい）
- 当 直▶ あり（3～4回/月）
- 休 暇▶ 有給休暇（年10日）
- 宿 舎▶ 病院契約にてあり
- そ の 他▶ 賞与420,000円/1年次 賞与720,000円/2年次

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- ・ 徳洲会グループ病院
（僻地離島：地域医療研修にて）
- ・ 埼玉県済生会鴻巣病院
（精神科）



当院の魅力

臨床医としての哲学を形成していく

羽生総合病院の研修プログラムは臨床医としての哲学形成をしてゆく事を目的としています。狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的知識・考え方・手技を身に付けることを重点に置き、さらに患者および他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを図ります。研修は、救急医療とプライマリケアを基盤としたスーパーローテーション方式にて行います。このプログラムでは内科（24週間）、救急（12週間）、地域医療研修（8週間）の基本研修を44週間、選択必修である外科、産婦人科、小児科、精神科を各4週間研修し、その他期間36週間を希望選択科で研修します。



研修責任者から



プログラム責任者/
救急科部長
姜 昌林

研修病院としての当院の魅力は、確たる研修制度がなくて自由度が高いこと、研修医の数が少ないことです。だからこそ、細かなところまで指導医の目が届きます。また、必要とされるところで逃げないという覚悟を研修医時代に身につけて頂きたいです。そして、初心を忘れないこと。専門性を持ちつつ、基本的な診療能力を身につけた医者になってほしいです。口で言うのは簡単です。是非、一度病院見学に来て指導医ではなく研修医を見て下さい。

先輩研修医から



研修医1年目
千 鷲

入職前は徳洲会というだけあって厳しく、雰囲気ガシガシしているところがあるのかなという印象がありました。ですが、実際働いてみると必要以上に研修医へのプレッシャーがかからないように配慮がされており、職場も思っていた以上に和やかで働きやすいと思いました。もちろん徳洲会というだけあって、初期研修のうちからたくさんの経験も積むことが可能です。是非一度見学に来てみて下さい。

当院の魅力は、専門領域の知識を得るのではなく、臨床医に必要な基本的な知識・考え方、いわゆるプライマリ・ケアを担う力を身につけられることにあります。

専門に進む前に、初期研修の二年間で基本的なことを身につけ動けるようになりたく当院を選びました。少人数制で且つ指導医の先生方も大変教育熱心なので、研修医一人一人が医師としての自覚を持って取り組んでいます。



研修医1年目
玉田 啓太



女性医師支援コーナー

産前産後休暇・育児休暇は勿論のこと、職場復帰後の短時間勤務・当直免除制度があります。また病院より車で5～6分の所に職員専用の保育所の利用も可能ですので、安心して勤務していただける環境が整っています。ライフワークに合わせた勤務形態が相談可能となっておりますので、ぜひ一度ご連絡下さい。



連絡先 **埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院**

臨床研修担当 川口/永澤

〒348-8505 羽生市下岩瀬446番地

TEL 048-562-3003 (直通) FAX 048-563-2170

E-mail resident_doctor@fureaihosp.or.jp

URL <http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/>

アクセス 東武伊勢崎線羽生駅から徒歩18分・バス5～6分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。
(交通費・宿泊費は当院負担にて相談可)
まずはお気軽に担当者まで電話かメールにてお問い合わせ下さい。



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）58名（うち指導医数 29名）
- 研修医数 1年目 4名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 香川大学・群馬大学・埼玉医科大学・千葉大学・筑波大学・東京女子医科大学・帝京大学・東北大学・獨協医科大学・弘前大学・三重大学・山形大学・名古屋大学・信州大学 など
- 診療科 内科 循環器科 神経内科 腎臓内科 呼吸器内科 消化器内科 血液内科 糖尿病内科 漢方内科 小児科 外科 呼吸器外科 乳腺外科 内視鏡外科 心臓血管外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 整形外科 形成外科 麻酔科 救急科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 664名 ● 1日平均入院患者数 299名
- 主な認定施設 災害派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本麻酔科学会認定病院、内科専門研修基幹施設 など



研修プログラムの特色



初期研修の2年間は、臨床医としての実力をつけるうえで、とても重要な時期で、ここでスタートダッシュできるかどうかは今後の医師人生に大きな影響を与えたいと思います。その意味で、当院は、常勤医師が若手から中堅、ベテランまでバランスよく存在し、東京女子医大をはじめとした各大学の医局から、後期研修医やスタッフの派遣が定期的にあるため、活気あふれた環境で、質の高い研修ができると思います。経験できる症例も非常に豊富で多岐に渡り、かつ研修の早い時期から様々な手技を経験することができます。救急疾患も多く、救急専門医も在籍しているため、専門的な技能を習得することも可能です。

また、女性医師が多いのも特徴で、子育てと仕事の両立をされており、将来のロールモデルになるのではないのでしょうか。2022年度には、病院も新しくなる予定ですので、是非当院で臨床研修をしてみませんか。医師一同お待ちしております。

プログラム 例 済生会栗橋病院臨床研修プログラム(募集定員4名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科									外科	麻酔科	救急科	
2年目▶	小児科	救急科	精神科	産婦人科	地域医療	選択科							

- 【1年次】①内科研修(循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内科、神経内科、血液内科の中から)3週以上必修
②外科研修(外科・脳神経外科・泌尿器科・整形外科の中から)8週以上必修
③救急・麻酔科研修(救急外来・夜間救急・集中治療室・麻酔科(手術室)において)8週以上必修
- 【2年次】①救急科研修4週以上必修 ②小児科研修8週以上必修 ③精神科研修(協力型病院において)4週以上必修
④産婦人科研修(協力型病院において)4週以上必修 ⑤地域医療研修(協力施設において)4週以上必修
⑥選択科研修(当院診療科の中から)2週以上の自由選択研修
- なお、希望により1年次、2年次の研修科入れ替えも可能です。(研修科による)



研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1年次(税込)約540万円/年 2年次(税込)約630万円/年
※賞与・当直手当を含むものとする。
- 諸 手 当 ▶ 住宅手当、時間外手当、通勤手当など
- 保 険 ▶ 組合健保(組合名:埼玉県医師会健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険あり、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 勤務時間 ▶ 9時00分~17時30分
- 当 直 ▶ あり(3~4回程度/月)
- 休 暇 ▶ 土曜日・日曜日・祝日、年末年始(12/29~1/3)、開院記念日(7/1)
有給休暇1年次10日間(夏季休暇含む) 2年次17日間(夏季休暇含む)
- 宿 舎 ▶ あり 単身用ワンルームを有償貸与(光熱水費当院負担)
- そ の 他 ▶ 職員用駐車場あり

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- ・久喜すずのき病院
- ・済生会鴻巣病院
- ・東京女子医科大学病院
- ・済生会川口総合病院
- ・岩手県済生会岩泉病院
- ・済生会今治病院
- ・浅川医院
- ・相沢内科医院
- ・中田病院
- ・ふたば在宅クリニック



当院の魅力

多彩な症例と多彩な手技が経験できる当院では

当院は、埼玉県の北東部にある病院です。埼玉県は人口当たりの医師数が日本一少なく、その医師数の少ない埼玉県のなかでも、更に少ないのがこの埼玉県北東部です。そのため、プライマリで頻回に遭遇する「common disease」を豊富に経験できるのはもちろんのこと、大都会では経験することが難しい「手つかずの希少な疾患を最初に診断する機会」も得られるなど、幅広い患者の診療経験が可能であり、臨床医のスタートの地として、大変恵まれた環境に位置しています。「教科書でしか見たことのない疾患を、自分で診断した時の興奮」と、「自分で処方した薬や、関わった手術で、患者が見違えるほど元気になって退院する喜び」は、忘れられない経験になります。

採血や静脈確保、書類の下書き、患者家族との面談時間の打ち合わせなど、他職種へのタスクシフトが非常に進んでおり、医師の業務に集中しやすい環境にあります。指導医の先生方そしてメディカルスタッフの方々が本当に優しいので、人間関係で悩むことはありません。診療に集中でき、自主的に勉強する時間も十分確保され、医局内や職種間の垣根が低く、些細な相談や質問が気軽に出来る点も魅力です。



研修責任者から



プログラム責任者
臨床研修管理委員長
杉浦 秀和

充実した内科研修に加え、選択診療科では、各種専門診療科はもちろんのこと、興味があれば在宅診療にも関わることができます。当院にない診療科は、大学病院や協力病院と連携を組んで、充実した研修プログラムとなっています。

更に、院外の活動を積極的に行いたい研修医に対しては、研修医自身が行う学会での発表や講演活動についても、サポート体制が整っています。一般医師向けの内容から専門領域先端のことまで、当院医師が主催や演者を行う医療講演会が当地域で多数行われ、指導医とともに講演会に参加することで、院内では得られない知識や経験も得ることができます。

先輩研修医から



研修医2年目
宇津野 瞳

当院で研修していて感じることは、研修医を大切にしてくれる病院だということです。決して一人で放置されることはなく、上級医の先生のご指導の下、手技を豊富に経験できます。できる限り研修医の学びたい要望に応えてくださり、何かあったら気軽に相談できる環境が整っています。また、オンオフもしっかりしており、当直明けや休日はプライベートを充実させることができます。初めは慣れない環境での研修に不安を感じる方もいらっしゃると思いますが、当院は他職種の方との垣根も低く、アットホームな雰囲気でのびのびと研修することができるのでおすすめです。



研修医1年目
伊勢 義仁

当院の魅力は、研修医が4人と少人数であり、指導医の手厚いフォローの下に実践的な臨床手技を経験できる点です。今年から新たに研修医と指導医が一体となって、研修内容を改善しています。例えば、内科外来での研修内容、地域医療研修についてなど、研修医の意見を盛り込んだ内容となりました。当院は新病院への移転も間近であり、若い医師が活躍できるような病院にしたいという指導医の熱意があるのです。既存の研修プログラムとは異なり我々研修医と指導医が一緒になってより実践的なプログラムを作り上げている点は、他の研修病院にはない特徴といえます。単に与えられた課題をこなす研修ではなく、自ら考え様々な要望に柔軟に対応してくれる研修に非常に満足しています。



女性医師支援コーナー

当院女性医師の声～当院で働くメリット～

- ①嘱託医でも、専門外来を受け持つことができます。
「当院には、嘱託勤務制度があり、一般の医師より少ない勤務日数で働くことが可能で、当直等も免除されます。専門医を取得し、子育てと仕事をうまく両立しています」
- ②院内保育所を完備しており、病児保育も利用できます。
「当院には、院内保育所があり、病気の時でも子どもを預かってくれるので、安心して働けます」
- ③転勤がないため、同じ患者を長期にわたって継続して診ることができます。
「糖尿病のような慢性疾患は、長期間、継続して診ることに意味があると思うので、中断されずに担当できます」



連絡先 埼玉県済生会栗橋病院

臨床研修センター 事務局

〒349-1105 久喜市小右衛門714-6

TEL 0480-52-3611(代表) FAX 0480-52-0954

E-mail rinken@saikuri.org

URL https://www.saikuri.org/

アクセス 東武日光線南栗橋駅東口から徒歩で約5分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っています。
まずは電話やメールで、お気軽にお問い合わせください。



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）67名（うち指導医数 13名）
- 研修医数 1年目 8名 2年目 7名
- 研修医の主な出身大学 産業医科大学・福島県立医科大学・秋田大学・埼玉医科大学・筑波大学・新潟大学・旭川医科大学・群馬大学・帝京大学・山梨大学・金沢大学・長崎大学・東京女子医科大学・千葉大学・島根大学・福岡大学・岐阜大学・金沢医科大学
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 代謝・糖尿病内科 腎臓内科 神経内科 外科 消化器外科 肛門外科 心臓血管外科 呼吸器外科 整形外科 脳神経外科 乳腺外科 形成外科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 416.2名 ● 1日平均入院患者数 314.6名
- 主な認定施設 救急告示病院、地域医療支援病院、埼玉県がん診療指定病院、埼玉県がんセンター医療連携施設、災害拠点病院、埼玉県DMAT指定医療機関



研修プログラムの特色

当院の研修医は雑用ではなく医師としての仕事を行います。プライマリケアの基本的診療能力を習得し、よくある疾患の中から見逃してはいけない疾患を見分ける力がつくよう多くの症例を経験します。また、2年間の経験で1人で診療を行い対応できる能力を身に付け、ジェネラルの対応を求められる場面でも初期診療を行える医師を目指して頂きます。選択科目の期間に研修医の希望によって専門の診療科での研修も行える環境で、内科・外科においては新専門医制度の基幹施設となっており、3年目以降を見据えた研修も可能です。よりよい研修となるよう、研修医個人の希望や特性に応じることができるようプログラムや研修スケジュールを毎回振り返り、見直しや調整も行っています。



プログラム 例 新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム(募集定員8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目▶	内科				救命科			病院必修		外科	麻酔科	精神科
2年目▶	内科		地域医療	産婦人科	小児科	病院必修		選択科目				

必修:内科24週、救急科12週、外科4週、麻酔科4週、精神科4週、地域医療4週、産婦人科4週、小児科4週(病院必修については1年次は8週、2年次は4週)
 選択:新久喜総合病院もしくは協力病院・協力施設にて手技の習得や専門科の経験を目的とし研修医が選択する。



研修医の処遇

- 給 与▶ 約46万円/月
- 諸 手 当▶ 当直手当別途支給
- 保 険▶ 組合健保(巨樹の会健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険あり、確定拠出年金あり、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 勤務時間▶ 8時30分~17時30分
- 当 直▶ あり(6回/月)
- 休 暇▶ 有給休暇(年10日)、他リフレッシュ休暇あり
- 宿 舎▶ あり
- そ の 他▶ 学会参加について病院補助あり

主な臨床研修
協力病院・協力施設

- ・久喜すずのき病院
- ・土屋小児病院
- ・所沢明生病院
- ・鴻巣病院
- ・熊谷総合病院
- ・羽生総合病院
- ・深谷赤十字病院
- ・丸山記念総合病院
- ・芳賀赤十字病院
- ・東京品川病院
- 他、関連病院等



当院の魅力

実践の医療を経験し実力がつく研修

当院では研修医自ら前面で基本的な手技や診察を行い、それを上級医・指導医が後方から指導します。研修医が自ら経験できる環境です。多くの症例に接し、各専門診療科での研修では3年目以降の進路に沿った専門的な指導も行っています。朝のカンファレンスでは研修医が対応した救急症例を振り返り、幅広いcommon diseaseに対応できる力を身に付けます。2年間で自分自身の力で診療する能力を身に付けます。

- ・初期研修に力を入れており、教育熱心な指導医のもと実践の医療を経験できます。
- ・一般的な症例から専門領域まで研修医の希望や特性に沿った研修を行います。
- ・初期研修医の裁量も大きく、経験を積みたい研修医が様々な大学から集まります。
- ・上級医、指導医と日々のコミュニケーションがとれているため相談しやすい環境です。
- ・症例数も豊富で積極的に手技が学べます。

研修責任者から

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、generalistとして、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、様々な患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。

当院の指導医は、specialistとして、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、generalistとして活躍できる素養を持っています。研修医の皆さんとともに治療にあたり、様々な臨床現場での判断を指導、サポートします。研修医の皆さんは、研修期間が終わる頃には多くの様々な救急症例を経験し、救急現場で、ある程度判断、治療できる力がつくようになります。

埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療をともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていきます。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえないメンバーです。



プログラム責任者
信太 薫

先輩研修医から

学生時代から興味があった病院で3週間実習も受入れてもらいました。その時にじっくりと研修内容や病院での診療も経験し、この病院であれば成長できると感じ決めました。一般的な症例も多く、また研修医であっても専門の経験が積み、とてもよい研修です。やりたい手技も熱心に指導して頂ける環境に満足しています。研修医は全国の様々な大学出身で楽しく研修に取り組んでいます。お互いに支え合ったり、切磋琢磨しながら一緒に成長できる環境です。

やりたい手技をさせてもらえ、日々の成長を実感できる研修です。研修医の裁量も大きく、指導医・上級医の先生方に教えてもらいながら、common diseaseはもちろん、専門科での研修にも取り組みます。他の病院よりも、自分自身で経験できることが多い研修だと思います。



研修医1年目
山口 佳奈美



研修医2年目
宮田 貴司



女性医師支援コーナー

院内保育所を設置しています。
女性専用の当直室あり。他、産休等。

連絡先 新久喜総合病院

臨床研修担当 松永

〒346-8530 久喜市上早見418-1

TEL 0480-26-0033 (代表) FAX 0480-44-8026

E-mail kukijinji@shinkuki-hp.jp

URL http://www.shinkuki-hp.jp

アクセス 久喜駅からバスで約10分

i 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学随時受付中】

- ・申込みは当院HPの初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくはE-mailから申込み下さい。
- ・交通費支給(上限あり)

【インターンシップ受付中】

- ・申込みは当院HPの初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくはE-mailから申込み下さい。
- ・実践型インターンシップ ・宿舎利用可能



病院の概要



- 医師数（研修医を除く）42名（うち指導医数 22名）
- 研修医数 1年目 6名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 筑波大学・金沢大学・埼玉医科大学・山口大学・獨協医科大学・日本大学・群馬大学・昭和大学・長崎大学・山形大学
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 腎臓内科 神経内科 総合診療科 外科 整形外科 脳神経外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 耳鼻咽喉科 形成外科 眼科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 496名 ● 1日平均入院患者数 251名
- 主な認定施設 日本内科学会 認定医制度教育関連病院、日本消化器内視鏡学会 認定指導施設、日本外科学会 外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会 専門医認定施設、日本麻酔科学会 麻酔科認定施設、日本がん治療認定医機構 認定研修施設



研修プログラムの特色

あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画すると共に、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。また、医師としての基盤形成の時期である初期研修時期において、患者さんを全人的に診ることができる基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を涵養することを目的としています。



プログラム例 熊谷総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員6名）

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
1年目▶	内科						救急部門		外科		小児科		産婦人科 精神科	
2年目▶	地域医療		選択科目											

※協力病院・施設での研修もあります。

○選択科目：内科、救急部門、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、放射線科、皮膚科、耳鼻咽喉科、精神科、地域医療、保健・医療行政



研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：42万5千円/月 2年次：45万円/月 ※医員特殊手当を含む賞与（1年次：約80万円/年 2年次：約90万円/年）※業績により支給
- 諸手当▶ 通勤手当、家族手当、時間外手当、日当直手当
- 保険▶ 健康保険（埼玉県医師会健康保険組合）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 8時30分～17時30分
- 当直▶ あり（4回程度/月）
- 休暇▶ 土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）、リフレッシュ休暇2日（通年）
- 宿舎▶ あり（医師住宅：家賃半額補助上限6万円まで）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・深谷赤十字病院
- ・上尾中央総合病院
- ・新久喜総合病院
- ・埼玉医科大学病院
- ・行田総合病院
- ・羽生総合病院
- ・西熊谷病院
- ・松本医院
- ・石川クリニック
- ・福祉医療センター 太陽の園
- ・熊谷保健所 他



当院の魅力

研修しやすい環境づくりを目指しています

当院の魅力はなんといっても研修医が①積極的に治療に関わり②手技の研修が豊富で③伸び伸び研修できる環境にあることでしょう。

①では救急は全科当直のスタイルをとっており、適切な指導医のフォローアップの下、全て研修医がファーストタッチを行います。各科カンファレンスでは自由に発言でき、研修医も積極的に治療方針に関して意見を述べる事が出来ます。

②では内科系では1年目4月の朝の採血実習から始まりルート確保、血液ガス分析、血液培養、心・腹部エコー、cv挿入など、外科系では腰椎穿刺、cvポート設置、小手術、開腹手術や腹腔鏡手術まで執刀する機会があります。当院では研修医全員が必要な手技をもれなく適切に学べるよう、システム化された教育体制を整え、主に4月～5月の間に多くの講義や実習を行うスケジュールを組んでいます。

③ではそれぞれの体力や知識量にあったスケジュールを設定し、メリハリをもって勤務にあたる事が出来ます。また一人一人の個性や適性に合わせた研修を上級医の先生方や病院スタッフが考えて下さり、学会発表なども地方会から海外まで、筆頭演者で発表する機会もあります。

もしこの文章を読んで「ここで研修しよう!」と思った方は是非、見学に来て下さい。大歓迎します。



研修責任者から

当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリー・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。希望とやる気があれば、より専門的な診療への参加も可能です。大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっております。また、他のメディカルスタッフとの人間関係も良好で、研修医の先生が働きやすい環境が備わっていると思います。ご連絡をお待ちしております。



プログラム責任者
齋藤 雅彦

先輩研修医から

熊谷総合病院は指導医の先生方を始め、他のメディカルスタッフの方々とも距離が近く、非常に良い雰囲気の中で研修ができます。またcommon diseaseを中心に様々な疾患を経験できるのでメリハリのある研修を求めている方にはぴったりの研修病院だと思います。積極的に治療に関わることができるので、手技を経験できる機会も多く、日々やりがいを感じています。



研修医2年目
石倉 智枝里

当院は埼玉県北部地域の中核病院であり、バラエティに富んだ症例が多くあります。少人数体制の研修ですので、一人ひとりが豊富な臨床経験を積むことができます。

また、メディカルスタッフやベテラン指導医が親身になって接してくれるので、病棟や外来、当直での疑問点を相談しやすく、風通しの良い職場であることも魅力です。

2020年9月にグランドオープンしたばかりで病院がますますきれいになりました。

是非、当院で研修生活を始めてみませんか。



研修医1年目
下山 龍慈



女性医師支援コーナー

保育所は近隣にあり、平屋のゆったりした造りで遊戯室が2部屋あります。保育士は常勤職員なので、継続した保育を行うことができ、預けている職員にとっても安心できる運営になります。男性職員も利用することができ、ご夫婦で働いている方で預けている方もいます。定員は20人ほどで、生後8週から3歳までお預かりしています。24時間保育も行っており、臨時でも引き受けます。忙しくて遅くなる時や研修、勉強会の時でもお預かりします。病児保育は行っていませんが、少しの熱であればお預かりできます。当院には小児科があるため、直ぐに受診が出来ますので、職員には安心して働いてもらえる環境が整っています。

連絡先 社会医療法人 熊谷総合病院

総務課 医局秘書

〒360-8567 熊谷市中西4-5-1

TEL 048-521-0065(代表) FAX 048-523-5928

E-mail kumasou@kumasou.or.jp

URL http://www.kumasou.or.jp/

アクセス JR高崎線・上越新幹線・秩父線熊谷駅北口から徒歩15分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学は随時受け付けておりますので、メール・電話にてご連絡ください。
- ・レジナビフェアにも参加予定ですので、是非お立ち寄り下さい。

36 深谷赤十字病院

病院の概要

- 医師数（研修医を除く）73名（うち指導医数 33名）
- 研修医数 1年目 8名 2年目 8名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・千葉大学・秋田大学・岩手医科大学・関西医科大学・金沢大学・日本医科大学・大分大学・福島県立医科大学・帝京大学・東京女子医科大学
- 診療科 内科 血液内科 腎臓内科 精神科 脳神経内科 循環器科 消化器科 小児科 外科 緩和ケア外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 泌尿器科 産婦人科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 歯科口腔外科 放射線治療科 放射線診断科 病理診断科 救急診療科
- 1日平均外来患者数 771.1名 ● 1日平均入院患者数 362.4名
- 主な認定施設 救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、第二種感染症指定病院



研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は、埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。当院の研修プログラムの特徴は、第一に「病院規模に対して研修医定員枠が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や指導医（上級医）が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起りません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。

第二に「研修医の要望に応じ融通性のある研修スケジュール・科目を組むことができる（＝自由度が高い）こと」です。2年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にはとても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。



プログラム 例 深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム（募集定員8名）

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年目▶	内科						外科		非必修ローテ	小児科	麻酔科	救急診療科	
2年目▶	産婦人科	自由選択科			精神科	自由選択科		地域医療	自由選択科				

○必修科目
 内科：一般内科（8週）、循環器科、消化器科、腎臓内科、血液内科（各4週） 救急：救急（12週）※2年間の救急外来当直で4週分相当含む
 外科：8週、小児科：4週、産婦人科：4週、精神科：4週、地域医療：研修協力施設（4週）

研修医の処遇

- 給与 ▶ 1年次:35万円/月(賞与10万円/年) 2年次40万円/月(賞与30万円/年)
- 諸手当 ▶ 宿直勤務手当:1.8万円/回(1年次10月から支給し、9月までは半額を支給)、住居手当:最高2.85万円/月
- 保険 ▶ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 勤務時間 ▶ 8時30分~17時00分
- 当直 ▶ あり(4~5回/月)
- 休暇 ▶ 土曜・日曜・祝日・創立記念日(11月1日)・年末年始(12月29日~1月3日)・年次有給休暇(1年次13日・2年次14日)
※その他の休暇は病院囑託・臨時職員就業規則の定めによる
- 宿舍 ▶ なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・小川赤十字病院(比企郡小川町)
- ・原町赤十字病院(群馬県吾妻郡)
- ・佐々木病院(深谷市)
- ・内田ハートクリニック(深谷市)
- ・井上こどもクリニック(深谷市)
- ・おおしまクリニック(深谷市)
- ・皆成病院(深谷市)
- ・埼玉よりい病院(大里郡寄居町)
- ・秩父病院(秩父市)
- ・秩父市立病院(秩父市)



当院の魅力

充実した指導環境

①多様な症例を経験できる環境。

第三次救命救急センターがある当院の病床数は474床、研修医募集定員数8名。同規模の臨床研修病院と比較しても研修医数は少ないです。そのため多くの症例を学べて、且つ研修医一人一人に対して指導が行き届く環境です。

②英文抄読会を月1回研修医が持ち回りで行う。

市中病院において英語論文を読む機会は少ないため、日時を決めて研修プログラム責任者と研修医で英文抄読会を行っています。

③研修医同士の仲が良い。

国公立・私立など全国の大学から集まるため、すぐに仲良くなります。研修医室の雰囲気也非常に良いです。

このように、研修医一人一人が自ら考え、学び、主体的に行うことで基本的な臨床能力と態度・習慣が身につきます。



研修責任者から



院長（プログラム責任者）

伊藤 博

当院は地域の基幹病院として高い専門性と一般性を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験を積むことができます。

初期臨床研修は、将来何科に進むにせよ、診療の基本的知識・技能と臨床医として必要な態度・習慣を学ぶ大切な期間であります。

当院では、研修医に実践してもらおうのを原則にしていますので、技術的SKILL UPが体感できると共に、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば温かみのある研修環境を目指しています。

初期臨床研修は単なる専門医への前段階でなく、臨床医としての心構えを形成する大事な期間です。当院での研修を通じ、患者さんを中心にコメディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。

先輩研修医から



研修医2年目

藤谷 誠

当院の研修プログラムは自由度がとても高く、研修医一人ひとりの意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長で、2年目に希望選択科を多く選ぶことができるため、将来希望する診療科が定まっている人も、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人も融通を利かせられるプログラムであることが特長です。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！



研修医2年目

浅野 りえ

当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少なめなので、研修医一人あたりが経験できる症例や手技が豊富にあります。また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医がファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができるため、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接して下さり、アットホームな雰囲気の中で研修をできるのも魅力の一つなので、是非一度見学に来てみてください！



女性医師支援コーナー

当院は、女性職員への支援制度として以下の特別有給休暇制度を就業規則で定めています。

- ・産前産後休暇(母子保健法の定めによる勤務免除含む)
- ・育児休業(育児短時間勤務含む)
- ・院内保育園
- ・生理休暇
- ・子の看護のための休暇

※院内保育園(利用対象は、生後2ヶ月から満3歳を迎えた年の年度末まで)があり、

職員であれば、どなたでも利用可能なため、子育て中の職員が安心して仕事に専念できます。その他の福利厚生については、お問い合わせください。



連絡先

深谷赤十字病院

人事課

〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1

TEL 048-571-1511(代表)

FAX 048-573-5351

E-mail jinji@fukaya.jrc.or.jp

URL http://www.fukaya.jrc.or.jp/

アクセス 高崎線深谷駅からバス8分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付中ですので、お気軽にお問い合わせください。(HPから申込みができます)。

プログラム責任者が直接・丁寧に当院の研修プログラムの特徴をお伝えします。